

在外事業に必要な経費

京都支部

1. 京都支部

海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. クアラルンプール日本文化センター
9. シドニー日本文化センター
10. トロント日本文化センター
11. サンパウロ日本文化センター
12. マニラ事務所
13. ニューデリー事務所
14. ニューヨーク事務所
15. ロサンゼルス事務所
16. メキシコ事務所
17. ロンドン事務所
18. ブダペスト事務所
19. カイロ事務所

1. 京都支部	(1)主催・共催事業
---------	------------

合計額 7,201,114円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	沈壽官家歴代展：日本陶芸の源流をもとめて	財団法人京都伝統工芸産業支援センター、沈壽官展実行委員会	京都伝統工芸館	京都市	05.04.24～ 05.05.08	本展では、約400年前の豊臣秀吉の時代に、朝鮮半島から日本に渡来した陶工のなかで、現存する6窯のうち最も著名な窯の一つである沈壽官家歴代の作品を紹介することを通じて、日本陶芸の源流を探る事を目的とした
【公演】						
1	国際交流のタペー能と狂言の会	国際交流基金関西国際センター、京都新聞社	京都観世会館	京都市	04.10.27～ 04.10.27	関西地方在住外国人、国際交流関係者および関西センターの研修生等を招待して、日本の伝統芸能を鑑賞する機会を提供した
【講演・シンポジウム】						
1	日文研フォーラム	国際日本文化研究センター	アーバネックス御池ビル東館2階	京都市	04.04.01～ 05.03.31	国際研究協力および国際交流活動を目的とした日文研フォーラムを月1回(8月休会)国際日本文化研究センターと共催で開催
2	日独仏シンポジウム「教育の未来」－文化のグローバル化、あるいは国別の教育システムか？－	関西日仏学館、京都ドイツ文化センター	京都ドイツ文化センター、関西日仏学館	京都市	04.06.11～ 04.06.12	日独仏の教育機関の専門家が経験や情報を交換し合い、産業国家の将来を決める教育の分野において共通点や独自性がどこにあるのかを知り、解決の糸口を探ることを目的とし、日独仏の高校生が、教育問題の当事者として発言
3	2004年度京都国際文化協会エッセーコンテスト<私の見た日本>	財団法人京都国際文化協会	京大会館101号室	京都市	04.10.21～ 04.10.21	日本の社会、政治、経済、文化、日本人の日常生活などを外国人の新鮮な視点から捉えたエッセーを募集し、優秀作品を表彰。エッセー、発表ともに用語は英語または日本語
4	藝際公開講座～「花習塾」	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	アーバネックス御池ビル東館2階、アーバネックス御池ビル東館2階、Art forum JAFRO	京都市	04.11.05～ 05.09.30	古典芸能に親しむことを目的に、「能」の基礎知識を全6回に渡り実演とワークショップを交え一般市民向けに開催

京都支部

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
5	シンポジウム 「ものづくりの 美・ひとづくり の美－教育の未 来を求めて」	京都大学大学院 教育学研究科、 京都新聞社	京都新聞文化 ホール	京都市	05.03.06～ 05.03.07	人間の生成や変容、形成を対象とする実践学、臨床学としての教育学本来の側面を重視しつつ、今一度生活の基本である「ものづくり」、コミュニティ・国家の基本である「ひとづくり」を、ドイツとの比較のなかでとらえ直すことを目的に実施
【図書館運営】						
1	国際交流情報 コーナー（図書 室）			京都市	04.04.01～ 05.03.31	外国語による日本研究所ならびに基金刊行物を中心に収集、提供。所蔵資料数は、図書資料約6,200、購読雑誌60、日本文化紹介等16ミリ映画フィルム115、日本文化紹介ビデオ109
【出版・広報】						
1	近代日伊文化交流史関連文献資料作成事業	日本イタリア文化交流史研究会		京都市	05.02.01～ 05.03.31	二国間関係における文化交流が、相互理解・友好親善面で果たす役割については、今日高い評価がなされているが、歴史を原点まで遡り、かつ分野に偏せず、原資料にあった研究成果は必ずしも多くない。交流の規模、資料の存在などの面から、イタリアの場合を例に、幕末以降の明治期に絞り、原資料調査を行い、最終的に二国間の文化交流研究の理論的枠組みを提示することを目標とした
【その他】						
1	トラディショナル・シアター・トレーニング 2004発表会	京都芸術センター	大江能楽堂	京都市	04.08.06～ 04.08.06	大蔵流狂言師茂山あきら、龍谷大学教授ジョナ・サルズが主宰となり、1984年から伝統芸能集中講座として開催してきた。海外の舞台芸術家参加による夏期集中ワークショップの試みは、20年を経て、日本伝統芸能の持つメソッドと西洋現代劇との融合に大きく寄与してきた。2002年より京都芸術センター主催事業となり、さらに幅広い参加者を得ている、伝統芸能を通じた国際的な文化交流事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	フィールド・トリップ	財団法人京都府国際センター	鞍馬寺および貴船神社	京都市	05.03.12～ 05.03.12	京都に暮らす外国の人たちが京都の歴史や文化について理解を深めるための1日ツアー。今年度は鞍馬寺と貴船神社を訪ね、鞍馬寺信楽貫主、貴船神社三木禰宜に御講話を頂き、鞍馬寺では国宝 木彫毘沙門天立像、木彫吉祥天立像等拝見しながらそれぞれの説明を受けた

1. 京都支部 (2) 助成・協力事業

合計額 0円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【後援事業】				
1	東西の超克～モノクロームの世界	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.04.10～ 04.05.02	卵テンペラの技法を用いて祖国ボリヴィアの遺跡を描き続けるフェルナンド・モンテスは、法隆寺から受けた東洋精神の啓示に西洋画家の立場から作品を通して東西芸術融合の架橋をこころみる仕事を一貫して続けてきた芸術家の1人である。氏の作品展を通して東洋芸術の真髄についての再考・検証をすると共に、人類の共生について芸術を通して考えることを目的とした
2	在関西5大学芸術系連合展 第4回ヤンガーアーティスト+1展	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.05.04～ 04.05.16	関西の5大学芸術系の学生が集まり、テーマを決め、各個人の作品を展示、発表する企画展。今回はその第4回展となり、コミュニケーションをテーマに各々の感性で表現。台湾と大韓民国からの留学生を含む23名のグループ展
3	日・仏国際交流の午後	関西詩人協会	04.05.22～ 04.05.22	関西詩人協会が設立10周年を迎えること、及び日・仏対訳詩集『言葉の花火』が完成した事を記念し開催。日本の伝統芸能である能楽観世流仕舞の鑑賞会、仏文学の講演会、シャンソンのコンサート、会員による詩の朗読会等を実施
4	書と非書の際 (キワ) Part:2	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.08.28～ 04.09.12	「書とは何なのか」「書と文字はどう関わるのか」「書と絵画の線は、どう違うのか」等、現代の書芸術を「藝際」の視角から検証しようとする3回連続シリーズ企画展覧会の第2回目
5	田島征彦～型染作家40周年の歩み～展	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.09.18～ 04.10.11	絵本『じごくのそうべい』のベストセラー作家として長年地歩を築いてきた型染作家田島征彦の作家生活40年を記念して京都で初めて開催される一大回顧展。京都市立芸術大学～成安短期大学～大阪芸術大学と教員生活、作家生活を経験後、淡路町へ移住。晴耕雨染の生活の中で生まれた最近作までの回顧展
6	八橋聖美～染色個展～Out of the Blue～	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.10.15～ 04.10.31	日系アメリカ人作家の八橋聖美は、京都市立芸術大学大学院を卒業後、京都に滞在を続けながら、ロウケツ染の製作活動が続いている新進の作家である。来日以来初個展となる本展では、アメリカ生まれ・アメリカ育ちの日本人という特性をどれだけ生かした作品になったかを、本場京都で問う展覧会

	事業名	協力対象団体	期間	内容
7	国際文化フォーラム	財団法人京都府国際センター	04.10.23～ 04.10.23	京都府とロシア・レニングラード州友好提携10周年を記念し、ロシアとのこれまでの文化交流の歴史を振り返りながら、芸術や文化の蓄積を生かした今後の交流のあり方や進め方について考えるフォーラム。元NHKモスクワ支局長の小林和男（新作学院大学教授）、イリーナ・メリニコワ（同志社大学教授）、木村崇（京都大学教授）の鼎談他
8	京都市国際交流会館2004年度「外国人のための日本語弁論大会」	京都市総務局国際化推進室	04.11.23～ 04.11.23	世界文化自由都市宣言を行った京都市が、その理想実現のための具体的施策として、1987年以来毎年行っている事業。本年度で18回目。今回は「日本での経験を生かすため」をテーマに相互理解と国際親善の更なる促進を目的に開催
9	「きょうと北部21世紀セミナー」（タウンミーティング「外交の窓」）	財団法人京都府国際センター	04.11.27～ 04.11.27	京都府における国際理解促進セミナーとして、府北部地域において開催。京丹後市の発足を記念して、外務省の専門家による講演会、ならびに京都府で活躍する有識者との対談を開催することにより、地域の国際理解の増進を図った。21世紀を迎え、めまぐるしく変化する世界の中で、日本はどのような位置にあるのか、日本人がどう理解されているのか、アジアにおける環日本海地域の動きと、地域住民が認識しておかなければならない課題について、新市民とともに考えた
10	まちづくりシンポジウム「世界に開かれた京都府に向けて」	京都府国際課	04.12.04～ 04.12.04	地域の活性化のために、海外からの人材を積極的に活用することが重要であるが、そのために必要な受入環境の整備や人材活用を円滑に進めるためのシステムづくりについての具体的な方策をテーマに、有識者の基調講演およびパネルディスカッションを実施
11	第5回LAMP展～富者の万灯より貧者の一灯～アフガン難民支援企画	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.12.06～ 04.12.25	2000年12月よりアフガン難民支援企画事業展として開催されたLAMP展の第5回目にあたる。内外作家28名の出品により今回は四国高松と同時開催。 平面・立体・ミックスメディアetc.ジャンルを問わず、各作家に「精神的、物理的光源となる様なもの」という共通テーマで製作された作品を展示

1. ローマ日本文化会館 (1)主催・共催事業

合計額 27,232,850円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	超近代の宿る伝統展	「超近代の宿る伝統」展プロジェクト実行委員会	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	04.03.26～ 04.05.07	織物美術家龍村光峯の現代織物作品40点を紹介する展覧会を開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	新世代アーティスト展		ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	04.05.24～ 04.06.30	90年代以降活躍する若手アーティストによる、絵画、彫刻、写真、ビデオ、インスタレーションによる展覧会を開催
3	私たちの見た日本～イタリアの子供たちによる作品展		ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	04.09.18	ローマ市主催「ローマの白夜」の一環として、ローマ市内のこどもたちの想像する日本のイメージを絵画、工作等で表現した作品の展示会を開催
4	「日本の書」ローマ展	全国書美術振興会	ローマ日本文化会館	ローマ	04.10.06～ 04.11.24	伝統美を大切にしつつ、新たな表現を追求する日本有数の現代書家による66作品を展示
5	凧・独楽展		ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	04.12.03～ 05.01.21	日本の伝統的な子供の遊び道具であるにとどまらず、その地方や時代の特徴を反映した民芸品でもある凧、独楽計51点を展示
6	日伊の四季「鳥羽郁世展」	イタリアトヨタ、イタリア三井物産、日本航空インターナショナル、オーロラ、伊藤謝恩育成財団、トキワ印刷	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.02.17～ 05.03.25	日本とイタリアの自然や風物を描きつづけてきたイタリア在住40年の画家鳥羽郁世氏による展覧会を開催
7	日本現代写真展			ローマ	05.03.25～ 05.03.31	2005年4月から開催予定の日本現代写真展out of ordinary・extraordinary展の準備を行なった
【公演】						
1	G.Scelsi現代音楽コンサート公演	イザベッラシェルシ財団	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.21	イタリアを代表する現代音楽作曲家ジャチント・シェルシ作品演奏の第一人者平山美智子(声楽)、高橋アキ(ピアノ)によるコンサートを開催
2	JAZZ from Japanコンサート公演		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.28	若手人気ジャズミュージシャン塩谷哲(ピアノ)、大儀見元(パーカッション)によるデュオコンサートを開催
3	尺八・琴コンサート公演		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.27	田嶋忠士(尺八)、菊知恵美子(琴)による、古典楽曲、現代楽曲を取り混ぜた邦楽コンサートを開催
4	Mama! Milkコンサート公演		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.11.04	生駒祐子(アコーディオン)、清水恒輔(コントラバス)によるデュオ「mama! Milk!」によるコンサートを開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
5	マリンバコンサート公演		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.11.15	ダリオ・サヴロン、ファビアン・ペレス・テデスコ両氏によるマリンバコンサートを開催し、日本の作曲家である一柳慧、安部圭子等の作品を紹介
6	日伊室内楽コンサート公演			ローマ	05.02.01～ 05.03.31	2005年4月に開催予定の室内楽コンサートの準備を行なった
7	歌舞伎舞踊公演	ラヴェンナ・フェスティバル	アウデトリウムサラ・シノーポリ/アリギエリ劇場	ローマ、ラヴェンナ	05.03.21～ 05.03.23	五條雅之助、中村京蔵の公演と若柳吉優亮によるレクチャーにより、歌舞伎舞踊を紹介
【講演・シンポジウム】						
1	関根勝講演会		ローマ日本文化会館大広間	ローマ	04.04.05	ローマ大学客員教授としてローマ滞在中の関根勝早稲田大教授による日本の能についてのレクチャーを開催
2	G.Scelsiラウンドテーブル	イザベッラシェルシ財団	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.20	イタリアの現代音楽作曲家ジャチント・シェルシ演奏の第一人者平山美智子、高橋アキにシェルシ研究者ダニエラ・トルトラ（ローマ大学）を交えたシンポジウムを開催
3	俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.27	イタリア俳句友の会と協力し、第18回俳句文学賞の授賞式を開催した
4	日本の公共政策専門家招聘	イタリア日本研究学会	ミラノ国立大学	ローマ	04.09.17～ 04.09.19	イタリア日本研究学会総会開催記念ラウンドテーブルに工藤裕子（早稲田大学助教授）を派遣した
5	渡辺保「日本の舞踊」講演会		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.05	演劇評論家渡辺保による日本の舞踊に関する講演会を開催。「松風」「藤娘」「竹生島」などの映像資料をもとに、能、歌舞伎、上方舞踊など、日本の主要な舞踊芸能について、レクチャーを開催
6	日伊美術交流史講演会		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.14	「ヴェネツィアと日本 19世紀後半の文化交流研究」（国立考古学・美術史研究所刊）の著者である石井元章（大阪芸術大学助教授）による、「ローマにおける日本美術」と題する。ローマにおける20世紀前半の日本美術の受容についての講演会を開催
7	BUTO講演会	LAB: ORATORY ENGINES	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.29	「舞踊ジェネレーション3 新身体地理」プロジェクトの一環として、シンポジウム「パフォーマンスアクト」と題し、シンポジウムを開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
8	平田オリザ演劇講演会		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.12.10	劇団青年団を主宰する劇作家・演出家平田オリザによる、日本の近代演劇史を振り返りつつ、日本社会の変容をたどる講演会を開催
9	日本研究フェロー・シンポジウム		ローマ日本文化会館大広間	ローマ	05.02.26～ 05.03.03	2004～2005年度に国際交流基金の招へいで日本を訪問した6名の研究者による日本滞在の報告会を開催し、その概要をまとめた小冊子を作成した
10	吉田喜重監督ラウンドテーブル			ローマ	05.03.01～ 05.03.31	2005年に開催予定の吉田喜重監督特集にあわせて開催する同監督を交えてのラウンドテーブルの準備を行った
11	日本の現代建築シンポジウム・ワークショップ		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.03.08～ 05.03.10	陣内秀信（法政大学教授）による東京の建築に関する講演会の他、若手建築家による自作の解説発表会を開催
【映画】						
1	若手監督特集			ローマ	04.04.01～ 04.05.15	2004年冬に開催した若手映画監督特集の終了に際し、フィルムの返送等を行なった
2	アニメーション特集		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.07～ 04.06.07	永井豪「ゲッターロボ」、手塚治虫「リボンの騎士」。りんたろう「銀河鉄道999」、高畑勲「ほたるの墓」など、戦後日本の主要なアニメーション作品を通観する特集を開催
3	若手監督第2回特集		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.12～ 04.11.30	昨シーズンに続き、現代日本の若手監督作品の映画特集を開催し、三池崇史、黒沢清、阪本順治らの作品を上映
4	吉田喜重監督映画特集			ローマ	05.01.08～ 05.03.31	2005年度事業実施予定の吉田喜重監督映画特集の開催に向け、上映作品の選定等の準備を行なった
5	新着イタリア語字幕映画特集		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.01.18～ 05.03.29	新たにローマ日本文化会館フィルムライブラリーに所蔵されることになった、山田洋次「たそがれ清兵衛」、相米慎二「風花」、三谷幸喜「みんなのいえ」などイタリア語字幕つき新作映画作品を上映

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【日本語教育】						
1	日本語講座運営		ローマ日本文化会館	ローマ	04.04.01～ 05.03.31	通年コース「初級1」「初級2」「中級1」「中級2」および「会話」の各クラスの運営と上級向けとして「通訳」「新聞読解」の各コースの運営を行なった
【図書館運営】						
1	図書館運営			ローマ	04.04.01～ 05.03.31	日本に関する所蔵図書約30,000冊の一般閲覧・貸し出しを行ない、日本文化にかかわることがらに関するインクワイアリーサービスを実施
【出版・広報】						
1	月例案内発行			ローマ	04.04.01～ 05.01.31	事業広報パンフレットを隔月で発行し、希望者に送付するなど、会館事業の広報に努めた
2	ホームページ			ローマ	04.04.01～ 05.03.31	ローマ日本文化会館の概要および毎月の行事・活動を紹介するホームページの運営を行なった
3	年報発行			ローマ	05.01.15～ 05.03.31	2003年度のローマ日本文化会館事業を総括する年報「Notizario 2003」の編集・発行を行なった
【その他】						
1	ローマの白夜	ローマ市	ローマ日本文化会館	ローマ	04.09.13	ローマ市の開催する「ローマの白夜」企画に参加し、折り紙ワークショップ、映画上映を行なった

1. ローマ日本文化会館	(2)助成・協力
--------------	----------

合計額 824,686円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	トリノ大学「ダンテと大江健三郎」	トリノ大学	04.05.17～ 04.05.18	トリノ大学で開催されたダンテ学会において、岩倉具忠京都大学名誉教授による「大江健三郎とダンテ」と題した講演会に対し協力を行なった
2	現代文学フェスティバル	ZETEMA	04.06.03	文学フェスティバルへのよしもとばななの招へいに対して協力を行なった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
3	Ragusa Otama 講演会	ローマ国立先史民族美術館「ルイジ・ピゴリーニ」	05.02.10	イタリア・シチリアの画家と結婚し、イタリアに渡った日本人の女流画家清原お玉についての講演会に対して協力を行なった
【後援事業】				
1	後援名義付与		04.04.01～05.03.31	イタリアにおける日本関連文化事業8件に対し、後援名義付与を行なった
【講演・シンポジウム】				
1	アンジェイ・ワイダ・プロジェクト講演会	ポーランドアカデミー		ポーランドアカデミーが、日本にゆかりの深い映画監督アンジェイ・ワイダの日本滞在中のデッサン展と坂東玉三郎氏主演の映画の上映会を催すにあたり、協力を行なった
2	AIDLG日本語・日本語教育学会	イタリア日本語教師会	05.03.18～05.03.20	イタリア日本語教師会による研究発表会に対して協力を行なった
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
1	文化備品・視聴覚資料貸出		04.04.01～05.03.31	イタリアにおける日本関連文化事業に対し、写真パネルや映画の貸し出し等を行なった

2. ケルン日本文化会館 (1)主催・共催事業

合計額 20,825,241円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	out of the ordinary, extraordinary 展		ケルン日本文化会館	ケルン	04.05.07～04.07.30	本部の新規巡回展「out of the ordinary, extraordinary」展を、初めての会場として実施。東京都現代美術館の笠原美智子を選んだ11名の写真作家（石内都、岡田裕子、オノデラユキ、澤田知子、杉浦邦恵、鷹野隆大、秦如美、菱刈俊作、元田敬三、横溝静、米田知子）の展覧会
2	対話展 戸川英夫・Inge Schmidt		ケルン日本文化会館	ケルン	04.09.10～04.10.29	1990年からデュッセルドルフで活躍している画家・戸川英夫と、ケルン在住の彫刻家・インゲ・シュミットによる二人展。鮮やかな色使いの平面的な絵画と、アルテ・ポーベラを思わせる彫刻の組み合わせが、不思議なほど調和した展覧会

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	対話展 豊嶋康子・An Seebach		ケルン日本文化会館	ケルン	04.11.05～ 04.12.19	豊嶋康子とAn Seebachは、Puddlesというアーティスト・イニシアティヴを通じて2001年に知り合ってから、共同展を開催したりEメールによる交流を深めてきた日独の芸術家。二人がEメールの交換で創ってきたストーリーをベースにした作品は、文字通りの「対話」展となった
4	Gerd Knaepper・星野美津子展		ケルン日本文化会館	ケルン	05.01.14～ 05.03.24	35年前から栃木県益子を創作活動の拠点とし、世界的な名声を得ているドイツ出身の工芸美術家Gerd Knaepperと、英国で活躍する若手の画家・星野美津子による展覧会
5	日本の玩具展	フランクフルト日本語普及センター	ケルン日本文化会館	ケルン	05.01.30～ 05.04.30	会館所蔵の「日本の玩具－伝統と現代」展を開催。ギムナジウム生徒のグループ、独日協会、日本文化愛好家のグループ等から特別見学の申し入れを受け、期間中に4回、①展覧会の見学・解説、②独楽のデモンストラーション、③日本文字入門コースを実施した
【公演】						
1	ジャズコンサート	Jazz am Rhein	ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.23～ 04.04.23	ジャズ・ピアニストでオカリーナ奏者の明田川荘之の作曲・編曲による現代ジャズの公演
2	ジャズ・ロックコンサート	Kulturbunker	Kulturbunker	ケルン	04.06.02～ 04.06.02	ジャズとプログレッシヴ・ロックの融合した音楽性をもつグループ「ROVO」が、斬新なビデオ映像とともに、宇宙的な空間を連想させる重層的な音楽を演奏
3	現代音楽公演		ケルン日本文化会館	ケルン	04.09.22～ 04.09.22	1945年以降（第二次世界大戦後）に作曲された作品を演奏すること、そして、現在活動中の作曲家の創作と直接関わることを目的として活動している、「東京シンフォニエッタ」の演奏会
4	邦楽コンサート	西部ドイツ放送	ケルン日本文化会館	ケルン	04.09.27～ 04.09.27	吉村七重（箏、歌）、三橋貴風（尺八）、山田由紀（箏、地歌三味線）による邦楽の古典と現代曲を紹介する演奏会

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
5	淡路人形浄瑠璃公演	ケルン独日協会、兵庫県国際交流協会、兵庫県	ケルン日本文化会館	ケルン	04.10.07～ 04.10.07	日本列島誕生の神話の中で一番最初に生まれた島とされる淡路島で、神に捧げる行事として、また民衆の娯楽として、500年にわたり伝承され、1976年には重要無形民俗文化財に指定されている「淡路人形浄瑠璃」の公演
6	日本・スイス現代音楽コンサート	ケルン新音楽協会、在デュッセルドルフ総領事館、在デュッセルドルフスイス総領事館、ケルン音楽大学	ケルン日本文化会館	ケルン	05.01.25～ 05.01.25	欧州、米国、アジアなど広範囲に活躍している、フルート奏者(Verena BOSSHART)と2人の打楽器奏者(Eduardo LEANDRO、Ricardo BOLOGNA)のトリオ「Trio BOSSHART - LEANDRO - BOLOGNA」とゲストの打楽器奏者Jean-Marie Paraireによる、現代音楽の公演
7	笙コンサート	文化庁	ケルン日本文化会館	ケルン	05.02.16～ 05.02.16	雅楽の合奏の中でしかその存在を知られていなかった「笙」、そのリサイタルを1983年から行い、古典雅楽の演奏はもとより、現代音楽の演奏、オーケストラとの共演などにより、東洋の伝統楽器「笙」の多彩な可能性を積極的に追求し国際的に広めた宮田まゆみと、ヴァイオリンの本場俱子をゲストに迎えての演奏会
【講演・シンポジウム】						
1	講演会 長寿の恵み		ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.30～ 04.04.30	デュースブルク大学で現代日本の文化と言語を講じているFlorian Coulmas教授(2004年7月から在東京ドイツ-日本研究所所長)が現代日本社会を紐解くキーワードとして「少子高齢化問題」をテーマに講演
2	伝統木版画実演		ケルン日本文化会館	ケルン	04.06.03～ 04.06.03	300年前の江戸庶民が手にしていた、かつて「錦絵」と呼ばれたほど鮮やかで美しい発色を一色ずつ丹念に摺り上げていく、伝統木版画について、刷りの実演にあわせ、浮世絵一般、製作工程を説明
3	岐阜の工芸	ケルン市東アジア美術館、「川が育んだ日本の伝統文化展」実行委員会、岐阜県、岐阜県商工会連合会	ケルン日本文化会館	ケルン	04.09.29～ 04.10.27	岐阜県の染織家・所鳳弘がケルン市東アジア美術館で主宰する「組紐ワークショップ」の25周年を記念し、同氏の在住する岐阜県に因んだ工芸や風物を紹介する同美術館の企画「川が育んだ日本の伝統文化」の共催事業として、講演会5本と映画会1本を実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	深川雅文 講演会		ケルン日本文化会館	ケルン	04.10.31	「富士山からフジヤマへ」と題した講演で、深川雅文(川崎市市民ミュージアム学芸員主査)は日本の現代写真の展開、なかでも風景写真の80年代から今日までの変化について論じ、独自の「サイト・グラフィックス論」を展開した
5	ゴジラ 講演会		ケルン日本文化会館	ケルン	04.11.24	講演者のJoerg Buttgerreitは、自作の放送劇やドイツ語版ゴジラの子編や貴重な映画ポスター等を披露する傍ら、ゴジラシリーズ全28作の要点や裏話、特にゴジラ誕生の背景には日本の敗戦や原爆・水爆被害、高度成長期の公害・環境破壊があることなども含めて、幅広い観点から解説を行なった
6	翻訳賞		ケルン日本文化会館	ケルン	04.11.26～ 04.11.26	1999年以来、日本語からドイツ語への優れた翻訳作品を対象に「国際交流基金翻訳賞」の授与を行なっている。平成16年度の受賞者は、小川洋子『妊娠カレンダー』を翻訳した、Ursula Graefeと中山ツイーグラ・公子
7	東京の大名庭園講演会		ケルン日本文化会館	ケルン	05.03.04～ 05.03.04	日本の芸術・美術に造詣の深い研究者であるIrmtraud Schaarschmidt-Richterが、東京の「後楽園」「六義園」ならびに「旧芝浜離宮」の歴史的背景、宗教の影響ならびに庭園の構造や意味について講演した
【映画】						
1	清水宏監督特集		ケルン日本文化会館	ケルン	04.03.01～ 04.04.26	『港の日本娘』『風の中の子供』『蜂の巣の子供たち』『小原庄助さん』など、清水宏監督の作品10本を上映
2	早期アニメーション特集	ニッポン・コネクション、プラネット映画資料図書館	ケルン日本文化会館 フランクフルト映画博物館	ケルン、 フランクフルト	04.05.06～ 04.06.21	1924年から1944年までに制作された日本のアニメーション短編映画を、6つのプログラム(草創期の作品/サイレント黄金時代/トーキー時代の夜明け/日本アニメの開花/戦時下の作品/戦時プロパガンダ)にて上映
3	新着映画特集		ケルン日本文化会館	ケルン	04.06.24～ 04.07.29	ケルン日本文化会館FLの新着作品『風花』『ウォーターボーイズ』『アカシアの道』『みんなの家』『たそがれ清兵衛』『軍旗はためく下に』を上映

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	女性監督特集	フランクフルト映画博物館、デュッセルドルフ「恵光」日本文化センター、ミュンヘン・ヴェルクシュタットキノ	ケルン日本文化会館 フランクフルト映画博物館 「恵光」日本文化センター ヴェルクシュタットキノ	ケルン、フランクフルト、デュッセルドルフ、ミュンヘン	04.09.13～ 05.03.02	田中絹代、羽田澄子、河瀬直美の映画の上映。第12回フェミナーレ女性映画祭（ケルン）との共催（田中絹代監督特集として上映）
5	藤原智子監督特集・講演会	デュッセルドルフ「恵光」日本文化センター、ベルリン森鷗外記念館	ケルン日本文化会館 「恵光」日本文化センター 森鷗外記念館	ケルン、デュッセルドルフ、ベルリン	05.03.10～ 05.03.21	記録映画監督の藤原智子を招へいし、ケルン日本文化会館およびデュッセルドルフ、ベルリンの3カ所にて講演会と映画上映を実施。上映作品は、会館FL新作の『ルイズその旅立ち』（1997）
【日本語教育】						
1	日本語講座		ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.01～ 05.03.31	半期制。それぞれ準備コース（2時間4回）、本コース（2時間26回または13回）を実施。準備コースは初心者のみの4クラス、本コースは初心者～上級者9レベル11クラスを開講
2	日本語能力試験		デュッセルドルフ市民大学 シュトゥットガルト市民大学 フンボルト大学	デュッセルドルフ シュトゥットガルト ベルリン	04.12.05	ドイツではデュッセルドルフ、シュトゥットガルト、ベルリンの3都市で実施。受験者数は初めて800人を超えた
【図書館運営】						
1	図書館運営		ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.01～ 05.03.31	図書の貸出、参考調査（867件）、ドイツ語圏日本資料図書館連絡会を開催。収蔵資料数：書籍20,022冊、雑誌243タイトル、視聴覚資料7,073点。入館者数：3,155名。貸出図書冊数：2,538冊
【出版・広報】						
1	ホームページ				04.04.01～ 05.03.31	ドイツ語、日本語の2言語で、基金および会館の紹介や、ケルン日本文化会館事業、日本語講座、図書館等の案内、オンライン書籍注文、その他日本関連情報のリンクなどを掲載
2	会館催し物案内発行		ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.01～ 05.03.31	会館の催し物、日本語講座、図書館、助成・協力事業について、事業案内パンフレットを隔月毎に年5回発行（毎回8,000部）

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【その他】						
1	美術館の長い夜	ケルン市、情報誌 Koelner StadtRevue	ケルン日本文化会館	ケルン	04.11.06～ 04.11.07	ケルン市および情報誌 Koelner StadtRevue の主催で開催され、約40の施設が参加するイベント「第5回ケルン市美術館の長い夜」に参加(4回目)。「豊嶋康子・An Seebach 対話展」とともに、当日の企画として「てんてこ太鼓」の演奏
【本部事業受入】						
1	歌舞伎公演 (在外)		ケルン日本文化会館	ケルン	05.03.18	化粧や女形の説明 (ドイツ語中心) を交えながら、古典的な演目 (「獅子の乱曲」, 「豊後道成寺」) と創作舞踊 (「あなめ」) の公演を実施

2. ケルン日本文化会館	(2)助成・協力事業
--------------	------------

合計額 728,956円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	市民大学向け日本語教科書作成	ドイツ市民大学日本語講師の会	04.04.01～ 05.03.31	ドイツ市民大学日本語教師の会が1999年に出版した日本語教科書『Japanisch Bitte(日本語でどうぞ)第1巻』の続編制作に対する支援
2	第16回ドレスデン映画祭	ドレスデン映画祭	04.04.13～ 04.04.18	アニメと短編映画の国際映画祭。丹下紘希監督他、日本の監督等4名の滞在費、プリント輸送費に対する助成
3	「Pictoplasma conference」	Pictoplasma Conference Thaler & Denicke GbR	04.10.28～ 04.10.30	キャラクターデザインに関する国際会議・ワークショップ。日本からは「Furi Furi」が参加。謝金・旅費・滞在費に対する助成
4	「Pro Tsubo」展	Murata & Friends	04.11.26～ 04.12.19	日本の若手作家9人のグループ展「Pro Tsubo」。会場はミュンヘン近郊のランズフート。謝金と旅費に対する助成
5	日本の木工品展	ミュンヘン建築画廊	04.12.02～ 05.01.20	日本の伝統木工展。Christoph Henrichsen所蔵の木工品や写真パネルの展示。旅費と広報費に対する助成
6	照屋勇賢展	ナッサウ・クンストフェライン・ヴィースバーデン	05.01.15～ 05.02.27	ニューヨークで活動している沖縄出身のアーティスト照屋勇賢の個展。カタログ制作費に対する助成

3. パリ日本文化会館 (1)主催・共催

合計額 35,796,608円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	『Petites Natures?』展 (アーティスト・イン・レジデンス展覧会)		展示ホール	パリ	04.04.09～ 04.07.03	各地の土を採集して色彩と美しさを表現する栗田宏一、写実的な花や植物の美しい木彫作品をインスタレーションする須田悦弘と、自然を素材とする現代作家をパリに招きアーティスト・イン・レジデンスによる作品制作を実施、その成果を紹介する展覧会
2	錦織展	「光峯の織物美術-超近代の宿る伝統」プロジェクト実行委員会	小ホール	パリ	04.05.25～ 04.06.26	千二百年の伝統を持つ京都の手機織物・錦(伝統的先染紋織物)の技術を工房「光峯」の作品を通して紹介。色数1200色の大型作品「五行」や雅子妃殿下のご婚礼用御支度品「雅の松」を含む40数点を展示
3	吉川壽一書道展		玄関ホール	パリ	04.09.25～ 04.10.02	9月24日(金)夜にシャンゼリゼ通りで行なわれた「世界のお巡りさんコンサートinパリ」の関連事業としてエッフェル塔およびルーブル美術館広場で野外揮毫を行なった福井県在住書家・吉川寿一(じゅいち)の作品展示会
4	歌舞伎衣裳展	松竹衣裳株式会社	展示ホール	パリ	04.10.06～ 04.10.16	発祥四百年の節目を昨年迎えた歌舞伎の海外初の本格的な衣裳展。動く錦絵とも呼ばれる歌舞伎美の世界を40点の衣裳展示で見せる。松竹衣裳株式会社による資金および衣裳提供
5	伊万里展(「JIKI - 日本の磁器展 1610-1760」)	ファエンツァ市、ファエンツァ国際陶芸博物館	展示ホール	パリ	04.11.26～ 05.04.02	佐賀県立九州陶磁文化館の大橋康二副館長を監修者として、国際交流基金とファエンツァ国際陶芸博物館(在イタリア)が日本国内から58件66点、欧州から39件47点を集め、ファエンツァ、パリ日本文化会館、ベルギー王立歴史博物館と巡回させる
【公演】						
1	雅楽	天王寺楽所峨亮会	大ホール	パリ	04.04.01	雅楽の起源のひとつである四天王寺雅楽の流れを汲む天王寺楽所峨亮会による雅楽公演。管弦『平調音取』『越天楽』『陪臚』、舞楽『振鉦』『還城楽』『胡徳楽』を上演

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	日仏現代音楽コンサート	日本現代音楽協会、Ensemble 2e2m	大ホール	パリ	04.04.23～ 04.04.24	日仏の戦後世代の作曲家を、室内オーケストラ・コンサート（小鍛冶邦隆指揮、Ensemble2E2M演奏）「室内オーケストラの領域―日仏現代音楽における戦後世代の台頭」と講演会「戦後日本現代音楽の概観、およびピアノリサイタル（マルチヌ・ジョスト演奏）」「1950年以降の日本現代音楽の軌跡―ピアノ音楽に見る武満以降、新世代に至る展開」によって紹介する現代音楽の総合企画
3	松平頼則コンサート	Emsemble Erwartung	大ホール	パリ	04.05.15～ 04.05.15	2001年10月に亡くなった日本を代表する現代音楽作曲家であり、フランスとも縁の深い松平頼則の追悼コンサート。同氏が最後に曲を捧げた在仏声楽家（ソプラノ）の奈良ゆみが、Ensemble Erwartungの演奏とともに、同氏の曲と同氏と関係の深いメシアン、ドビュッシーの曲を上演
4	ジャズ・イン・ジャパン5		大ホール	パリ	04.06.01～ 04.06.05	今回で5回目を迎えるパリ日本文化会館恒例のジャズフェスティバル。第1日目：塩谷哲（ピアノ）&大儀見元（パーカッション）+ジュリアン・ルロ（サクソ）、第2日目：佐藤通弘グループ（津軽三味線）、第3日目：久米大作ユニット、第4、5日目：山下洋輔NYトリオ+仙波清彦（鼓）、天田透（笛）
5	音楽の日コンサート		大ホール	パリ	04.06.21	毎年夏至の日に繰り広げられる、フランス挙げての音楽の祭典。街中に音楽が溢れる。パリ日本文化会館では、日本生まれの若手キーボード奏者ベランジェ・益田氏が率いるフランスの6人編成バンド「Yoshi from Tokyo」によるコンサートを実施
6	Dandy four(ダンディーフォー)コンサート	日本航空株式会社(主催)	大ホール	パリ	04.09.11	日本航空の主催による、ビジネスマン4人によるボーカルカルテットの演奏。招待客ベースの無料コンサート
7	DANCE AND MEDIA		パリ日本文化会館小ホール	パリ	04.10.01～ 04.10.02	ダンスとデジタル・テクノロジーが融合して近年活発になってきた新しい表現形式である「メディア・パフォーマンス」を、ビデオ上映・実演・レクデモ・講演会と総合的に紹介。在パリ外国文化機関による外国文化週間参加企画

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
8	淡路人形浄瑠璃	財団法人兵庫県国際交流協会	大ホール	パリ	04.10.13～ 04.10.14	文楽の起源のひとつとして500年の歴史もあり、国指定重要無形民族文化財でもある淡路人形浄瑠璃の上演。演目は、『傾城阿波鳴門・順礼歌の段』、『えびす舞』、『本朝廿四孝』。また人形の仕組みや遣い方を紹介する人形教室も実施
9	ポーランドの夕べ	ポーランド文化センター	大ホール	パリ	04.11.05	日本の新進の音楽家紹介すべく、ポーランド文化センターとの協力の下、2000年にポーランドの留学生 ショパンコンクールでグランプリを獲得した小早川朗子のピアノ・リサイタルを実施。同氏の研究している19世紀のポーランド人作曲家の作品を演奏。フランスにおけるポーランド年参加企画
10	パリ高等音楽学院留学生コンサート	パリ高等音楽院	大ホール	パリ	04.11.06	日本の新進の音楽家を紹介すべく、パリ高等音楽院（コンセルヴァトワール）との協力の下、同院第3課程在籍・卒業日本人留学生2組によるコンサートを実施。出演者は、橋本晋哉（チューバ）+藤田あき子（ピアノ）、神谷未穂（ヴァイオリン）+宮田理生氏（ピアノ）
11	Jazzy colors	在パリ外国文化機関（スウェーデン、カナダ、リトアニア、ルーマニア、ポーランド、チェコ、スロヴァキア等）	チェコ文化センター	パリ	04.11.18	在パリ外国文化機関有志共催、チェコ文化センター・フィンランド文化センター・ハンガリー文化センターを会場に、各国のミュージシャンが1日2組ずつ演奏する、国際色豊かなジャズ週間企画。昨年度に引き続き2回目。日本からは、在仏日本人ミュージシャンにより結成された Sachi B.が参加
12	J-Dance 04	財団法人横浜市芸術文化振興財団	大ホール	パリ	04.11.19～ 04.11.20	日本の新進ダンサー・振付家を紹介する企画。横浜ダンス・コレクション・ソロ×デュオ・コンペティション・在日フランス大使館賞受賞(2004年度)のジョン・ヨンドゥが、受賞作のデュオ『降りないこと』(Craving for more)と、トリオ『We need time』、新作ソロ『Gently going past someone's shoulder』を上演。韓国文化センター後援

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
13	アフリカの聖 ジュネ - 『女 中達』をめぐる 典礼-	YOSHI & COMPANY	大ホール	パリ	04.12.07～ 04.12.11	在仏演劇人であるヨシ笈田演出で、 英国等で高い評価を得た作品のパリ 初演。黒人男性ダンサー2人が獄中 の舞台に『女中達』を中心としたジャン・ ジュネ作品を、ダンスを通じて 演じる、日本人演出家を中心とした 多文化混成の舞台作品。同時期に国 立ダンスセンター主催で、パリ日本 文化会館にて、演出家・出演者による ワークショップを実施
14	声と琵琶とギ ター	Ensemble 2e2m	大ホール	パリ	04.12.17～ 04.12.18	フランスとオランダの二人のギタリス トと琵琶奏者田原順子による演奏 会。仏作曲家のロラン・マルタンが 2002年に関西日仏会館に滞在して作 曲した『一生懸命』（宮沢賢治と西脇 順三郎の詩の朗読と2台の四分音ギ ターのための作品）を第3部に、第1 部は平家琵琶『敦盛の段』、第2部は ギターの現代曲（成田和子、ほか） を演奏
15	こどもの城コン サート	全日空株式会社 (主催)	大ホール	パリ	05.01.12	日本航空の主催による、ロンドン～ パリ～デュッセルドルフと巡回する 子供向け招待客ベースの無料コン サート
16	トリュフォー往 復書簡	東京日仏学院	大ホール	パリ	05.01.14	フランスの映画監督トリュフォー没 後20年追悼企画。同監督の書簡をも とに、同監督と日本の映画評論家山 田宏一との交流を中心にして、フラ ンス語と日本語による朗読劇とした 作品。日仏俳優3人が出演
17	日本舞踊レク チャー・デモン ストレーション		小ホール	パリ	05.02.16	日本舞踊振興財団の西川箕乃助氏ほ か出演。衣装・かつら付きで踊る古 典舞踊作品『舞扇』と、羽織・袴だ けで踊る古典素踊り作品『雨の五郎』 を上演後、振付や扇子・手拭の使い 方を解説
18	神楽『青の風』	ロワイヨモン財 団	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.03.18～ 05.03.19	日本の伝統芸能である神楽をダンス の視点から見直す企画。在仏アメリ カ人振付家スーザン・バージュ監修、 鳥根県高津神楽社中出演。第1部は、 石見神楽の伝統的曲目『塵輪』。第2 部は、同社中出演、スーザン・バー ジュ演出・振付による現代神楽『青 の風』

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	日仏スピーチコンテスト	Association Generation France-Japon	大ホール	パリ	04.04.03	日本語習得中の高校生・大学生を対象とした日本語によるスピーチ、高校生・大学生・グランゼコールの学生を対象としたフランス語による日本に関するスピーチの決勝大会
2	錦織展関連講演会「LUMIERE DE SOIE (絹の光)」	光峯の織物美術 - 超近代の宿る伝統」プロジェクト実行委員会	大ホール	パリ	04.05.25	錦織展関連の講演会。龍村光峯（織物美術家）、河上繁樹（前京都国立博物館染織室長）、稲賀繁美（国際日本文化研究センター助教授）が、展覧会初日にそれぞれの立場から日本の織物について講演
3	酒セミナー	八壺会	大ホール	パリ	04.06.24	セミナーにて約10軒の代表的蔵元が日本酒の特徴と挑戦を紹介し、日本食との組み合わせのみには留まらない日本酒の広がりを発見するべく、試飲会も実施
4	「日仏都市観の違い」	日仏学生フォーラム	玄関ホール	パリ	04.09.21～ 04.09.23	日仏の大学生が（グランゼコール、東大など）、数カ月に渡って日仏における都市観の違いに関し行なったグループ研究の写真パネルによる発表
5	歌舞伎衣装演出デモンストレーション	松竹衣装株式会社	小ホール	パリ	04.10.06～ 04.10.15	発祥四百年の節目を昨年迎えた歌舞伎の海外初の本格的な衣裳展に合わせた歌舞伎独特の衣裳演出手法のデモンストレーション。引き抜き、ぶっかえり等、歌舞伎独特の衣裳演出を実演
6	文学「作家・平野啓一郎から見た三島由紀夫」講演会		小ホール	パリ	04.12.02	芥川賞作家・平野啓一郎による、三島由紀夫について語る講演会
7	「漫画家・辰巳ヨシヒロとの出会い」講演	アングレーム国際漫画フェスティバル事務局	大ホール	パリ	05.02.03	昭和32年に「劇画」という新しい漫画のジャンルを提唱し、フランスにおいても絶大な人気を博している辰巳ヨシヒロ氏を迎え、司会者を務めるジャーナリストや辰巳ファンとの質疑応答を中心にした交流会
8	伊万里展関連講演会「伊万里磁器」		大ホール	パリ	05.02.05	「伊万里-将軍と欧州王侯の磁器(1610～1760)」展の監修者である大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館副館長）を迎え、伊万里磁器の歴史や鎖国時代の日本の磁器の欧州の王侯貴族への輸出、将軍向け磁器と欧州王侯貴族向け磁器の違い等を講演

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
9	日・EU市民交流年記念シンポジウム「文化における日欧交流－文化の独自性と多様性－」	日仏記者協会 (協力)	大ホール	パリ	05.03.21	小倉和夫（国際交流基金理事長、元フランス大使）、高階秀爾（美術評論家、大原美術館館長）、カトリース・トロットマン（欧州議員、元文化・コミュニケーション大臣）、ジャン＝ロベール・ピット（パリ第4大学学長）が磯村尚徳館長の司会で日欧交流を考察するシンポジウム
10	豊田四郎監督特集関連講演会「文学作品の映画化とその問題『雪国』について」		大ホール	パリ	05.09.25	豊田四郎監督特集上映会での『雪国』上映に合わせ、日本映画を専門とする映画評論家マックス・テシエ氏と、川端康成研究の当国第一人者であるパリ第7大学のセシル・坂井教授が、川端康成の世界、そして映画と文学の関わりについて討論する講演会
【映画】						
1	豊田四郎監督特集		パリ日本文化会館大ホール	パリ	04.09.15～ 04.10.02	文芸作品の映画化として知られる豊田四郎監督の『若い人』、『小島の春』、『雁』、『夫婦善哉』、『猫と庄造と二人のをんな』、『雪国』、『駅前旅館』、『暗夜行路』、『墨東綺譚』、『憂愁平野』、『甘い汁』、『千曲川絶唱』、『恍惚の人』、計13作品を特集上映
2	ドキュメンタリー特集「日本人のアイデンティティ」		パリ日本文化会館大ホール	パリ	04.10.14～ 04.12.12	藤原次郎監督の『在』（2001）、『然』（2003）、『縁』（2004）、『継』（2004）それぞれ藤原次郎監督、奥村恵美子プロデューサー、石丸信明（建築家）のティーチ・インあり。他に、「日本人のアイデンティティ」のテーマに基づいた作品を金・土曜に上映
3	日本アニメ映画特集「日本のアニメの源流を探る・第2部」		パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.02.16～ 05.03.05	『白蛇伝』『少年猿飛佐助』『ひょっこりひょうたん島』『太陽の王子ホルスの大冒険』『長靴をはいた猫』『空飛ぶ幽霊船』『どうぶつ宝島』『機関車イエモンD51の大冒険』『かぐや姫』『鶴の恩返し』等、東映アニメの名作から作家主義の久里洋二までアニメの歴史を俯瞰

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【図書館運営】						
1	図書館		パリ日本文化会館図書館	パリ	04.04.01～ 05.03.31	蔵書冊数 累計 22,780冊 (洋書 9,595 和書 13,185) 取得冊数 1,018冊 (洋書339 和書 679) 視聴覚資料 累計 2,034点 (ビデオ 1,309点 CD 530点 CD・DVD-ROM 195点) 取得点数 52点 (ビデオ26点 CD 14点 CD・DVD-ROM 12点) 来館者数 今年度計 18,118名 視聴覚資料利用者数 計 ビデオ 1,850名 CD-DVD 650名 インターネット 1,001名 年間貸出数 2,622冊
【出版・広報】						
1	日本文化・フランス文化入門講座		パリ日本文化会館教室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	フランス人を対象に日本文化への、そして日本人を対象にフランス文化への理解を深めることを目的とした講座
【教室事業】						
1	書道教室		パリ日本文化会館教室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	フランス在住の書道講師・鈴木祐子(2004年6月まで)、大島妙子、武井真紀子(ともに2004年9月以降)による書道教室。6月19日には作品発表会(地下3階ホワイエに展示)および書道デモンストレーションも実施した
2	生花教室	いけばなインターナショナル	パリ日本文化会館教室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	小原・草月・池坊各流派による Ikebana 指導。定期的にデモンストレーション、玄関ホールにおける展示も行った
3	茶道デモンストレーション	裏千家淡交会 表千家	パリ日本文化会館茶室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	裏千家が担当する茶道デモンストレーション
4	囲碁教室	フランス囲碁連盟 パリ囲碁クラブ	パリ日本文化会館教室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	初心者から上級者までを対象とする囲碁教室

4. ソウル日本文化センター (1)主催・共催事業

合計額 13,791,592円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	第7回アジア漫画展		ソウル日本文化センターイオンホール	ソウル	04.03.31～ 04.04.13	「第7回アジア漫画展」をソウル日本文化センターにおいて開催。アジアの就職難をテーマに、韓国（イ・ホンウ氏）と日本を含むアジア8カ国のカートゥーン作家8人による原画80点で構成
2	韓日グラフィック・デザイナー交流展「ソウル－東京24時」	ソウル・グラフィック・デザイナーズクラブ	ソウル日本文化センターイオンホール	ソウル	04.05.13～ 04.06.02	日韓の中堅デザイナー30人による作品60点で構成されるグラフィック・デザイン展。グラフィックを通して両国の文化の多様性を探ることをコンセプトとし、主に両国の政治、経済、文化の中心であるソウルと東京のデザインの現状を、広告・デザイン教育・出版など様々な分野で活躍するデザイナーの作品で表現した
3	浮世絵展		ソウル日本文化センターイオンホール	ソウル	04.08.12～ 04.09.15	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵複製画190点中、65点を展示した。様々な種類の浮世絵を紹介しつつ、浮世絵に対する体系的な理解を促す構成とした。会期中、大学生160名を対象にレクチャーと展示解説を行った
4	福田繁雄ポスター展		ソウル日本文化センターイオンホール	ソウル	05.03.30～ 05.04.27	「田中一光ポスター展」(2003年8月)に続く、日本のグラフィック・デザインを紹介するシリーズの第2弾。福田繁雄（グラフィック・デザイナー）は、視覚のトリックを用いて感覚に働きかけるトリック・アートや環境問題等をユニークにデザインする独特な作品世界を具現した
【公演】						
1	文化庁文化交流使 落語家快樂亭ブラック	文化庁	ソウル日本文化センターイオンホール 韓南大学校文化大学講堂 釜慶大学校映像セミナー室 圓光大学校師範大学教育工学媒体室 光州大学校日本語専攻資料室	ソウル 大田 釜山 益山 光州	04.11.25～ 04.12.08	文化庁との共催により、快樂亭ブラック（落語家）を韓国に招へいし、ソウル日本文化センターおよび5つの地方大学を会場として、中・上級日本語学習者を対象とする落語公演を計7回行った

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【映画】						
1	日本映画の歴史と美学	韓国シネマテーク協議会、文化学校ソウル	ソウルアートシネマ	ソウル	05.02.28～ 05.03.28	韓国語フィルムライブラリー所蔵作品のうち、5作品を選定し、上映会を行うと共に当該作品の映画史的な意味や、監督の制作意図、製作過程等につき、日本映画専門家による講演会を催した
【日本語教育】						
1	日本語講座		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	04.03.02～ 05.06.03	一般学習者向けコース10クラス、週2コマ(総コマ数20)を実施した
2	日本語教育研究講座		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	04.03.03～ 04.06.09 04.09.01～ 04.12.15	2004年度前期：週1回、全13回(総26時間)実施。2004年度後期：週1回、全14回(総28時間)実施。現職中学日本語教師を対象とした「中学校日本語教師研修コース」「現職高校日本語教師を対象とした「高校日本語教師研修コース」現職中高教師を対象とした「日本語能力向上コース」の3コースを実施
3	ニューズレター作成・発行			ソウル	04.07.01～ 05.03.31	韓国の日本語学習者を対象とし、インターネット上で配信するニューズレター『カチの声』を発行
4	夏季日本語教師日本語能力向上コース		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	04.07.26～ 04.08.06	夏休みを利用した10日間の集中講座、総30時間実施。現役中学・高校日本語教師を対象とし、「話す、聞く、読む、書く」の4技能を総合的に高めるとともに、運用面での正確さの向上および現代日本語事情に関する理解の深化を目標とした
5	夏季日本語教師集中研修		ソウル日本文化センター講義室 在釜山総領事館講義室	ソウル 釜山	04.08.02～ 04.08.20	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施
6	国立慶尚大学校師範大学2004年度中等日本語資格研修	国立慶尚大学校師範大学	国立慶尚大学校師範大学	慶尚南道晋州市	04.08.11～ 04.08.11	日本語教師資格取得のための5週間の研修中における特別講義として、国際交流基金の活動概要、とりわけ日本語教師支援事業を紹介
7	青年日本語教師訪問授業		三角山中学校 九雲中学校 霊通中学校 論山大建高校	ソウル ソウル ソウル 忠南	04.09.16～ 05.03.16	ソウル日本文化センター派遣青年日本語教師が、韓国側教育機関の求めによりソウル市内および水原市内の中学校を訪問し、会話授業の補助や日本文化紹介を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
8	「韓国人日本語教師と日本語ネイティブ教師によるチーム・ティーチング授業事例集」制作			ソウル	04.10.01～ 05.03.31	2003年度に青年日本語教師がソウル市内の高校を訪問し、韓国人日本語教師とチーム・ティーチングを行なった際の授業の事例とチーム・ティーチング実施の際の留意点などをまとめた事例集を300部を作成・印刷した
9	日本語教育支援事業諮問委員会		ソウル日本文化センターイヨンホール	ソウル	04.11.25～ 04.11.25	ソウル日本文化センターの日本語教育関連事業に関する計画立案、評価等につき協力を得るため、諮問委員会を開催した。諮問委員会は教育行政関係者、言語教育関係者、教師会関係者等6名で構成
10	冬季日本語教師集中研修		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	05.01.17～ 05.01.21	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。日本文化体験として、裏千家ソウル出張所にて茶道体験実習も組み込んだ
11	冬季日本語教師日本語能力向上コース		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	05.01.17～ 05.01.28	冬休みを利用した10日間の集中講座、総30時間実施。現役中学・高校日本語教師を対象とし、「話す、聞く、読む、書く」の4技能を総合的に高めるとともに、運用面での正確さの向上および現代日本語事情に関する理解の深化を目標とした
12	日本語能力試験		ソウル日本文化センター	ソウル	05.12.05～ 05.12.05	2004年度日本語能力試験障害者受験会場としてソウル日本文化センターを使用した

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【図書館運営】						
1	図書館運営				04.04.01～ 05.03.31	ソウル日本文化センター図書館の運営。蔵書タイトル数：図書9,136冊、視聴覚資料2,962個
【出版・広報】						
1	ホームページ運営				04.04.01～ 05.03.31	ホームページは、団体プロフィール、各種事業案内、特集記事や連載企画等で構成される。使用言語は韓国語で、一部ページは日本語および英語版にても掲載
【本部事業受入】						
1	李秀賢氏記念韓国青少年招聘事業	社団法人韓日協会（募集作業のみ）	1次試験 ソウル日本文化センター 2次試験 ソウル日本文化センター 訪日研修	ソウル	04.12.12～ 05.02.24	関西国際センター主催の標記事業における参加者募集および選考業務。募集業務は共催者（韓日協会）とともに行ない、選考はソウル日本文化センターが単独で実施

4. ソウル日本文化センター (2)助成・協力

合計額 6,109,972円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	日本語教育支援助成－2004年度（ソウル市教育庁指定「教育資料開発研究員」日本語チーム）	2004年度ソウル市教育庁指定「教育資料開発研究員」日本語チーム	04.03.09～ 04.12.03	ソウル市教育庁教育科学研究院が主催する「2004年度教育資料開発研究事業」のひとつに指定され、上記研究院の予算交付を受けて、高等学校で使用する日本語の教授・学習用CD-ROM教材を開発・作成する事業。推進者は現役の日本語教師有志グループである。 ソウル日本文化センターは本助成金による支援の他、日本語教育派遣専門家による助言提供およびスキット吹き込み協力も行なった
2	企画開発事業－韓国北方学会国際学術大会	韓国北方学会	04.05.05～ 04.05.07	韓国の国際政治学の専門家や大学生等が対馬に集まって、現在の日韓関係、朝鮮半島問題、および国際安全保障問題等について議論を行なった
3	セミナー「小さい村白馬村はいかに長野オリンピックを成功させたのか」	韓日社会文化フォーラム	04.05.29～ 04.05.29	筑波大学社会科学部の黄順姫助教授を招へいし、小さい村がオリンピックを成功させるまでの政策・システム・実践方法等について講演会を実施し、参加者たちと討論を行なった。実施会場はソウル文化センターイオンホールを提供

	事業名	協力対象団体	期間	内容
4	セミナー「建築史と人類学：東南アジアの民家調査を通じソウルのアパートを読み解く」	韓日社会文化フォーラム（共同主催：韓国建築歴史学会）	04.06.19～ 04.06.19	大阪民族学博物館の佐藤浩司助教授を招へいし、「建築史と人類学：東南アジアの民家調査を通じてソウルのアパートを読み解く」というテーマで講演会を実施、韓国の学者たちと討論を行なった。実施会場は延世大学校工学院内講堂
5	セミナー「インターネット、コミュニケーション、日本語教育」	韓日社会文化フォーラム	04.07.02～ 04.07.02	PCおよびインターネット技術を活用した日本語教育に関する計4名による基調講演、事例報告および討論。当センター助成金は太田徳夫ヨーク大学教授（基調講演者）の招へい経費を対象とした
6	東アジアンメロウ映画展	韓国映像資料院	04.07.05～ 04.07.10	日本、韓国、香港の1950～1960年代の代表的なメロドラマの映画上映およびシンポジウムを通じ、同時代の東アジアにおける映画史的な意味を考察するとともに韓国の映画愛好家に海外の傑作を紹介する行事を行なった。日本側の出品作品は次の通り。『君の名は』（第1-3部作）、『晩菊』、『洲崎パラダイスー赤信号』（ソウル日本文化センター所蔵作品）、『山の音』、『女は二度生まれる』計7作品
7	セミナー「日本国内の韓国大衆文化コンテンツの流通現況と波及効果」	韓日社会文化フォーラム	04.07.15～ 04.07.15	日韓の研究者、文化産業関連業者、およびマスコミ関係者等がソウルに集まり、日本と韓国の大衆文化交流の現況、特に日本における韓国文化ブームについて発表・討論し、その問題点および解決方法について議論を行なった
8	韓日親善ジュニアコンサート	財団法人世宗文化会館	04.08.14～ 04.08.14	韓国には、川端康成の小説『雪国』の背景としてよく知られている新潟のジュニア合唱団を世宗文化会館が招へいし、ソウル市立少年少女合唱団との合同公演を行なった。第1部（We are friends 2004）：新潟ジュニア合唱団とソウル市立少年少女合唱団との合同公演、第2部：ソウル市立少年少女合唱団の公演、第3部：新潟ジュニア合唱団の公演（伴奏：ソウル市青少年交響楽団）
9	日本語教育支援－紙芝居公演－	培花女子大学 日語通翻訳課	04.09.06～ 04.09.12	中平順子（子ども文化研究家）による「紙芝居」（現代の「教育紙芝居」）作品の公演。日本語教育・学習に応用可能なツールとして日本の紙芝居を紹介するとともに、観客参加型の紙芝居自体を鑑賞する・演じる楽しみを共有した
10	「海と日傘」公演	Labo C.J.K	04.09.09～ 04.09.26	日本の現代戯曲のうち、韓国語に翻訳・出版され、既に韓国に知られている作品（『海と日傘』松田正隆作）を演劇に翻案し、韓国の俳優により演じる公演を行なった。また、公演期間中、スペシャルイベントとして作家と日本のプロデューサーを招へいし日本の文学および現代演劇について観客とのトークも行なった
11	韓日子供シンポジウム2004	釜山韓日文化交流協会	04.10.10～ 04.10.10	釜山と福岡の子供たちが、前年度の福岡での実施に続いて、今回釜山でシンポジウムを行なった。事前学習会、合同キャンプ、ホームステイ等を行ない、その成果をシンポジウムで発表した
12	企画開発事業－第12次国家戦略フォーラム	世宗研究所	04.10.14～ 04.10.14	韓国最大の民間シンクタンクである世宗研究所が、毎年開催している「国家戦略フォーラム」シリーズの一環として行なった会議である。日韓両国の学者、政治家がソウルに集まって、日本の東アジア戦略、およびそれに対する日韓両国の協力方法について議論した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
13	DP2004デザイン祭Designers PT Room	Designers Planet	04.10.20～ 04.10.25	今年で2回目を迎える「Designers Planet」は、デザイン・美術、さらに領域を広げ、社会・文化的な分野において新しい多様性を追求することにより、創作の基盤を広げようとする韓国若手デザイナーたちによるデザイン・ムーブメントである。出品作家によるメイン展示とともに、特別展の海外デザイナー招待展、PT Room等、会期中は様々なイベントが行なわれた。ソウル日本文化センターは、PT Roomのパネルとして参加したデザイナー（早川泰ほか1名）に対して協力した
14	日本語教育支援－「第6回韓国日語教育学会教員研修会」	韓国日語教育学会	04.10.21～ 04.11.21	「ICTを活用した日本語教育」と題し、学会員を主な対象として、日韓両国におけるPCやインターネットといった情報通信技術を利用した日本語教育の最新動向に関する情報交換を行なう研修会を行なった。ソウル文化センターは招へい日本人講師にかかる旅費・謝金および予稿集印刷経費に対して助成するとともに会場を提供した
15	セミナー「インターネット時代世論主導 市場の変化」	韓日社会文化フォーラム	04.10.28～ 04.10.28	韓国の代表的なインターネット新聞「オーマイニュース」の代表者がインターネット時代の「市民ジャーナリズム」について講演を行ない、韓国の日本人特派員等と討論を行なった
16	インディドキュフェスティバル2004	社団法人韓国独立映画協会	04.10.28～ 04.11.03	韓国および海外で制作されたドキュメンタリー映画を紹介し、優れた作品を発掘するため、毎年定期的で開催される韓国内の代表的なドキュメンタリー映画祭である。今回の映画祭には、海外招請作の「海女のリャンさん」を制作した原村正樹監督と山形国際ドキュメンタリー映画祭のプログラマー等を招へいし、「独立ドキュメンタリー映画に対する公的な支援システムの必要性」についてフォーラムも行なった
17	第16回韓日ダンスフェスティバル	韓日ダンスフェスティバル推進委員会	04.11.01～ 04.11.06	韓日ダンスフェスティバルは1993年の第1回開催を皮切りに10年以上韓国と日本で交互に開催されているコンテンポラリーダンスのフェスティバルであり、両国の若手ダンサーの発掘・育成に一定の成果を挙げると共に両国のコンテンポラリーダンス界における交流の草分け的役割を担ってきた。韓国側主催者はシアター・ゼロであり、日本側主催者は青山劇場である。今回は日本から5チーム、韓国から6チームの計11チームの新人および中堅ダンサーが参加した
18	日本語教育支援助成－2004年度国際学術シンポジウム	韓国日語日文学会	04.11.15～ 04.12.11	「グローバル・ジャパンにおける日本語教育の新しい在り方」と題し、日本より尾崎明人日本語学会（旧：国語学会）会長を講演者として迎える国際シンポジウムにより、日本の「国語・国文学界」の近年の動向に見られる日本語教育の環境変化を紹介するとともに今後の展望を得た
19	企画開発事業－児童権利のための韓日国家人権政策の課題	韓国児童権利学会	04.11.19～ 04.11.19	日本の専門家による日本における児童権利の現状と政策についての発表の後に、日韓両国の学者、NGO関係者、および児童関連学科の学生が児童権利の増進のための日韓間の協力の可能性について討論を行なった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
20	企画開発事業－東北亜の平和と21世紀韓日関係の再構築	韓日社会文化フォーラム	04.12.09～ 04.12.09	世代交代により、両国の国会議員の関係に大きな変化が起きている中で、両国の国会議員と学者、マスコミ関係者等が集まって、現在の北東アジア情勢と日韓関係を分析し、新しい形の日韓関係を構築するための方法についての議論と具体的な代案の模索を行なった
21	第3回ソウル国際メディアアート・ビエンナーレ（メディアシティーソウル2004）	ソウル市立美術館	04.12.15～ 05.02.06	「メディアシティー・ソウル」はIT産業に力を入れる韓国を代表するメディアアートの国際展であり、本展示には世界的に著名なメディア・アーティスト40名が参加した。このうちヤノベ・ケンジをはじめとする日本の作家を招いて当センターにて開催されたのがイベント「日本作家との対話」である。本イベントは5名の日本人作家より視覚メディアを活用し、各作家の作品に関するプレゼンテーションが行なわれた。当日は本展ディレクターであるリズ・ヒューズ氏をはじめ、各国の出品作家が多数参加した
22	セミナー「韓日文化交流の現住所」	韓日社会文化フォーラム	05.01.08～ 05.01.08	韓国文化観光政策研究院の研究員による基調講演の後、日韓両国の学者、マスコミ関係者、政府関係者、および文化産業関係者等が討論を行なった
23	企画開発事業-韓日シンポジウム（今後の韓日青少年交流における課題と展望）	東アジア文化交流協会	05.03.13～ 05.03.13	日本の学者が日韓関係の現状と両国青少年交流の課題について研究結果を発表し、韓国の学者と討論を行なった。また、会場には両国の青少年も多数参加して両国の青少年間の交流について活発な意見交換を行なった
24	国際音楽祭MUSIC TODAY SEOUL 2005	21世紀楽会	05.03.21～ 05.03.24	第3回目を迎える「国際音楽祭MUSIC TODAY,SEOUL 2005」の期間中に特別イベントとして現代音楽を代表する著名な音楽家を審査委員として招へいし「ソウル国際作曲コンクール」を開催した。コンクール期間中には審査委員による様々な学術セミナーも開かれた
25	富田勉のイラストレーション展・セミナー	デザインネット	05.03.25～ 05.03.31	当地におけるデザイン界の有力雑誌である「デザインネット」が企画した海外クリエイター招待展として「富田勉の立体造形イラストレーション展」を開催した。特別イベントとして富田勉氏が出席し、セミナー（「ジャンルとメディアの境界を超越する日本のイラストレーター」）も開かれた
【会場提供】				
1	芸術製本展	RECTOVERSO（芸術製本工房）	04.06.08～ 04.06.18	芸術製本の重要性・必要性を知ってもらうために韓国の芸術製本の専門家を中心に専門教育を受けている受講生が制作した芸術製本の作品展示を行なった。今回は日本の芸術製本の専門工房であるリーブルの作品と、同工房の協力により韓国国内では入手することの難しい製本材料等も展示し、約200点の作品が紹介された
2	日本研究事業推進関連日本研究者会議「日本型システムとグローバル化」	国民大学校日本学研究所	04.09.18～ 04.09.18	国民大学校日本学研究所を中心とした全国各大学の研究者20名による2カ年計画の共同研究プロジェクト「日本型システムとグローバル化」の推進のための参加研究者間の会議場として当センターの施設を提供

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【その他】			
1	日本語教育教材 配布協力	韓国日本語教育 研究会、財団法人 国際文化 フォーラム	04.05.07	財団法人国際文化フォーラムが開発・作成した写真パネル教材「であい」を韓国日本語教育研究会のネットワークを通じ韓国の高校に寄贈するために同教材100セットを輸入。海外・国内輸送の手配・経費負担は財団法人国際文化フォーラムが行ない、ソウル日本文化センターは無関税輸入の手続と保税倉庫での一時保管料を負担する協力を行なった
2	地方中等日本語 教師支援事業 (忠南日本語教 科研究会セミ ナー)	忠南日本語教科 研究会	04.06.26～ 04.06.26	地方高校日本語教師等支援事業として年2回開催している忠南日本語教科研究会セミナーへ出講。忠南日本語教科研究会会長挨拶および活動報告(研究会役員)。第1セッション:「グループ別日本文化教授・学習方法について(ディスカッション)」(建陽大学中国日本学部講師) 第2セッション:「中等教育の教科書に採用されている日本文化項目と言語学習とを結びつけた授業の方法を考えるー相撲を例にー」、ソウル日本文化センターより日本語教育派遣専門家が2名参加
3	地方中等日本語 教師支援事業 (韓国日本語教 育研究会)	韓国日本語教育 研究会	04.08.16～ 04.08.18	韓国日本語教育研究会(中等日本語教師会の全国連合)主催による年1回の全国大会で、授業研究発表から構成。所長による来賓出席および挨拶、青年日本語教師による授業研究発表会における「多様なリソースを活用した日本語授業」と題する発表
4	地方中等日本語 教師支援事業 (江原道日本語 教育研究会)	江原道日本語教 育研究会	04.11.20～ 04.11.21	ソウル日本文化センターで実施した夏季集中研修で担当した内容を、本研修向けに手直しして行なった。具体的には、「日本の食文化」をテーマに、第7次教育課程に沿って「日本語の授業に文化を取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」を目標とした
5	地方中等日本語 教師支援事業 (済州島日本語 教科研究会)	済州島日本語教 科研究会	04.12.02～ 04.12.03	ソウル日本文化センターで実施した夏季集中研修で担当した内容を、本研修向けに手直しして行なった。具体的には、「日本の食文化」をテーマに、第7次教育課程に沿って「日本語の授業に文化を取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」を目標とした
6	地方中等日本語 教師支援事業 (忠南日本語教 科教育研究会)	忠南日本語教科 教育研究会	04.12.11～ 04.12.11	忠南日本語教科教育研究会主催による大会。テーマ:「文化と言語活動を結びつけた教室活動を考える」、「日本語の授業に文化を日本語教育専門家が取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」を目標に、100分の講義を行なった

5. 北京日本文化センター (1)主催・共催事業

合計額 5,263,575円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	第1回大山子国際芸術祭	北京大山子芸術組織委員会	北京大山子芸術区	北京市	04.04.23～ 04.05.23	北京市郊外にある大山子芸術区を会場に、中国および日本を含む海外の現代芸術アーティストを集め行なわれた。展覧会のほか、映画上映やダンス公演など様々な催しが行なわれた
2	北京日本文化センター所蔵ポスター展	中国国際文化交流中心	武漢科技大学 寧波伝播与芸術学院 山東芸術学院	武漢 寧波 済南	04.05.17～ 04.06.14	武漢、寧波、済南の3都市で北京日本文化センター所蔵の日本のポスター作品の展覧会を実施。30名弱の作家の作品160点余りで構成
3	広東国際写真ビエンナーレ	広東美術館	広東美術館	広州市	05.01.17～ 05.01.19	「城市・重視-Re【-】Viewing the City」をテーマに、広州市の広東美術館が主催。参加アーティストは、日本、中国のほかイスラエル、フランス、オーストリア、スロヴァキア等で構成
4	貴州大学日本文化祭	貴州大学外国語学院日語系	貴州大学	貴州省貴陽市	05.03.18～ 05.03.20	北京日本文化センター所蔵のポスターを貸与し、「日本ポスター展」を開催
5	北京玉淵潭公園観桜会	玉淵潭公園管理处、北京日本人会、日本大使館広報文化部、ほか	玉淵潭公園	北京市	05.03.26～ 05.04.25	北京玉淵潭公園観桜会において、日本の風景写真を展示用に提供した
【公演】						
1	中央戯劇学院共同制作「蛛網」	中央戯劇学院、日本大学芸術学部	中央戯劇実験劇院「逸夫劇場」	北京市	05.03.12～ 05.03.31	中央戯劇学院の開催する現代舞踊公演「蛛網」（振付、演出は日本大学芸術学部が担当する日中共同制作公演）への協力
2	日本FANS新年交歓会	日本音楽情報センター (JAMIC)	北京王府井大飯店陽光俱樂部	北京市	05.03.20～ 05.03.20	日本の音楽に関心のある中国の若者を対象にしたイベント。音楽ビデオクリップ上映、ゲーム、音楽バンドの演奏、抽選会、ほか

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	日中韓NPOセミナー報告会・報告書作成	中国NPOネットワーク	北京日本文化センター多目的ホール	北京市	04.04.01～04.12.14	3に実施した日中韓NPOセミナー韓国開催の報告会を6月25日に北京事務所で実施した。中国のNPOのリーダーら約30名が参加。報告のあと活発な討論となった。その後NPOネットワークの編集により報告書中国語版を作成し関係機関に配布した
2	「日本と東アジア文化」	清華東アジア文化講座実行委員会	清華大学図書館報告庁 北京日本文化センター多目的ホール	北京市	05.03.29～05.04.01	清華東アジア文化講座実行委員会との共催により、評論家の加藤周一氏を招へいし、「日本と東アジア文化」を総合テーマとした講演会を開催した
【日本語教育】						
1	JAMIC日本語教室	日本音楽情報センター(JAMIC)	日本音楽情報センター	北京市	04.04.01～05.03.31	日本音楽情報センターにて、日本の音楽を素材とする日本語教室を毎週土・日の各2時間程度、開催する
【図書館運営】						
1	図書館運営		北京日本文化センター	北京市	04.04.01～05.03.31	日本語図書約7,200冊、中国語図書約1,500冊、日本語教材約1,750点、日本語教材用ビデオ約250本、一般視聴用ビデオ約140本を所蔵。会員数は約6,300名。入場者数は月平均約700名
【出版・広報】						
1	ホームページ			北京市	04.04.01～05.03.31	2003年10月より、内容全般にわたるリニューアルを実施した。内容を刷新すると共に、適時適切に情報の更新を行えるように体制を改めた。さらに、9月に、ロゴの改定と合わせて、全面的な改定を行ない、随時の情報発信機能を強化した。今年度の年間アクセス件数は約99,000件
2	ニュースレター			北京市	04.04.01～05.03.31	ニュースレターを発行。各号3,000部印刷。事業の広報や報告、日本語教育情報などを掲載。NO.11 2004年夏号を7月に、またNO.12 2005年冬号を2月に発行

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【その他】						
1	フェロー懇談会		賽特飯店	北京市	05.03.05～ 05.03.05	基金事業のフェローとして過去に訪日経験を有する中国全土の学者・研究者を招いての懇親会
2	日本研究・知的交流企画開発事業（実地調査）			西安市、 南京市	05.03.21～ 05.03.24	北京日本文化センター職員が西安、南京のNGO機関（陝西婦女理論婚姻家庭研究会、西安慧靈、紅楓林の家、愛徳基金会、江蘇省緑色の友）を訪問し、来年度以降のNPO交流事業の可能性を調査した

5. 北京日本文化センター	(2)助成・協力事業
---------------	------------

合計額 651,430円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	国際連合食糧農業機関アジア地域大会・非政府組織協商会	中国国際民間組織合作促進会	04.05.15～ 04.05.16	国際連合食糧農業機関アジア地域大会の前に非政府組織による協商会議を開催。22名の参加者により食糧主権と安全問題、農業調査およびコミュニティー活動における農業モデル改善など幅広いテーマについて討論した
2	北京外国語大学第8回日本文化芸術祭	北京外国語大学日本語学部	04.05.17～ 04.05.23	北京外国語大学日本語学部の学生による日本文化紹介の催し。第8回目を迎える今回は、茶会、日本音楽の紹介、日本映画の鑑賞会、日本料理試食会、日本人留学生による中国語スピーチコンテストなどを行なった
3	日本経済現状の好転と将来の中日経済関係の発展	全国日本経済学会、中国社会科学院世界経済与政治研究所	04.05.24	社会科学院世界経済・政治研究所と全国日本経済学会の共催により、標記テーマのシンポジウムを開催。野尻武敏教授（日本経済政策学会会長）の基調講演の後、今後の中日経済関係発展について討論を行なった。社会科学院の同研究所および日本研究所のほか、外交学院、国際関係学院、首都経済貿易大学、天津現代日本研究所などの40名を超える研究者が参加した
4	翻訳・通訳の研究	首都師範大学外国語学院	04.07.01～ 04.03.31	日中文化交流における言語文化の個性について、言語、文学、社会文化の面からの研究会を実施した
5	中日経済論壇会議	商務部国際貿易経済合作研究院	04.07.19	商務部国際貿易合作研究院主催により、日中経済関係をテーマに日中の関係者によるシリーズのフォーラムを開催。第5回は毛利良一（福祉大学教授）ほか日本より数名、姜教授（外交部国際問題研究所）など約20名が参加した。「中国市場経済への改革および評価」をテーマに発表、討論が行なわれた。それまでに開催された第1～4回の概要と第5回の報告書を作成し、会議参加以外の研究者にも配布した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
6	北京連合学院「日本文化教室」オープニングセレモニーおよび日本文化教育と応用型日本語教育に関するセミナー	北京連合学院旅遊学院日本語旅遊文化部	04.11.10	北京連合大学旅遊学院に「日本文化教室」がオープンし、その開幕式に続いて池坊専門家による華道講座、大使館公使による日本文化特別講義を開催。翌日は日本語・日本文化教育に関わる学術セミナーが開かれた。北京市内の主要な日本語教育・日本文化関係者が参加した
7	清華大学学生中日友好交流週	清華大学人文社会科学学院外国言語系日本語学科02クラス	04.11.25～ 04.12.01	演劇大会、日本文化に対する講演、日本料理試食会、ダンスパーティの各事業を通して、日本文化を紹介し、日中友好を図った
8	日本における社会福祉教育および中日福祉事業の比較研究講演会	北京農学院政法系	05.03.04～ 05.03.14	島根大学の西信高教授を招へいし、日本における社会福祉教育および中日福祉事業の比較研究をテーマに特別講義を行なった。北京日本文化センターでも特別講演会を開催。また北京市の福祉関係機関を訪問し交流を行なった

6.ジャカルタ日本文化センター (1)主催・共催事業

合計額 14,865,613円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	五月人形展	アントン・ノビアント氏	ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	04.05.05～ 04.05.19	端午の節句にあわせ、日本人形収集家のアントン・ノビアント氏のコレクションより選んだ五月人形展を図書館前のギャラリーミニにて実施
2	第1回ネオ・ピオン トミー・タンガラ氏展覧会		ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	04.05.24～ 04.06.09	インドネシア若手芸術家支援プロジェクトであるネオ・ピオン第1弾。インドネシア芸術大学ジョグジャカルタ校出身のトミー・タンガラ氏が「形の進化」というテーマで制作した作品群を展示
3	第2回ネオ・ピオン フェリー・アプリアント氏展覧会		ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	04.08.20～ 04.09.02	インドネシアの若手芸術家支援プロジェクトであるネオ・ピオン第二弾。フェリー氏はバンドン工科大学を1998年に卒業。蠟燭を使った芸術を専攻し、蠟燭芸術の学校も設立。芸術表現の素材としての蠟燭を使った彼の作品を展示

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
4	第9回日本・インドネシア児童画展	ジャカルタ日本人学校 ジャカルタ・ジャパン・クラブ	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	04.11.25～ 04.12.01	ジャカルタ日本人学校およびジャカルタ・ジャパン・クラブの協力のもと、インドネシア人と日本人の児童の絵画作品の展覧会を実施。そのほか、ダウン症のインドネシア人児童の作品も展示した。インドネシア人児童の優秀作品に対し表彰も行なった
5	琉球玩具展覧会		ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	04.11.26～ 04.12.17	琉球張子作家の豊永盛人氏の作品展覧会をジャカルタ日本文化センター図書館前ミニギャラリーで開催。豊永は国際交流基金本部のフェロシップを受けて1カ月間ジョグジャカルタに滞在したが、沖縄から持ち込んだ作品に加え、ジョグジャカルタ滞在中に制作した作品展示も同時に行なった
6	第7回アジア漫画展		ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.01.10～ 05.01.28	インドネシア・日本・韓国・中国・タイ・インド・フィリピン・マレーシアの八カ国の漫画家が「アジアの就職事情」というテーマで描いた作品約100点を展示。各国の就職事情を風刺漫画を通じて表現している。会期中は来館者約600名
【公演】						
1	テアトル・ルアン公演“Z”		ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	04.07.01～ 04.07.01	2003年11月に東京にて開催された「フィジカル・シアター・フェスティバル」に参加、日本で公演を行なったソロ拠点の劇団「テアトル・ルアン」の帰国公演。公演内容は日本公演と同様の「Z」で、セリフを使わず光で表現する内容の舞台
2	テアトル・タナ・アイル公演		ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	04.07.15～ 04.07.15	詩人でもあり演出家、古本屋経営者であるホセ・リザル・マヌア氏が主催する子ども劇団テアトル・タナ・アイルの公演。2004年8月に日本の富山で開催されたアジア太平洋子ども演劇祭への参加が決定していたため、出発前に当センターでの公演を実施
3	乙女文楽レクチャー・デモンストレーション		ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	04.10.02～ 04.10.02	人形遣い桐竹繭紗也氏による「乙女文楽」のレクチャー・デモンストレーションを実施。演目は「鶯娘」。当日はリザール・プルバヤによるワヤン・ゴレッのレクチャーデモンストレーションおよびダルシマによる文楽に関するレクチャーも同時に開催

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	スラバヤ国立大学における日本研究セミナー	スラバヤ国立大学	スラバヤ国立大学	スラバヤ	04.05.28～ 04.05.28	インドネシア国内の日本研究機関間のネットワーク形成を目的に、日本文学研究者として翻訳出版などが続き活躍中のバンバン・ウィパワルタ（インドネシア大学大学院日本地域研究科教員）による講演会を企画。スラバヤ国立大学からは、ジョジョック教授ら合計3名も研究発表を行なった
2	田中明彦教授講演会	戦略国際問題研究所（CSIS）	CSIS講堂	ジャカルタ	04.08.12～ 04.08.12	日本を代表する国際政治学、国際関係論の研究者として知られる田中明彦（東京大学東洋文化研究所所長）がジャカルタ訪問する機会をとらえ、当国の民間シンクタンク、CSISと共催し"ASEAN-Japan Relations in an East Asian Community Building"と題した講演会を実施
3	日本研究・知的交流企画開発事業 ワンデー・セミナー		ホテル・サリパンパシフィック	ジャカルタ	05.01.15～ 05.01.15	インドネシアの日本研究に関わる研究者、研究機関間のネットワーク強化を目指し、一日セミナーを開催するとともに、日本近代史の専門家、三輪公忠（上智大学）を招へいし、日本の近代思想について基調講演をお願いし、参加研究者の知的関心を喚起する機会も提供
4	日本研究・知的交流企画開発事業 地方での日本研究講演会	パジャジャラン大学日本文学学科、日本語研究センター	パジャジャラン大学日本語研究センター	バンドン	05.03.07～ 05.03.07	インドネシア大学大学院日本地域研究科へ客員教授として派遣されていた森谷裕美子（九州国際大学）と、シニア客員教授派遣プログラムにてアル・アザール大学に派遣されていた田村貞雄（元静岡県立大学教授）が、インドネシアにおける日本語教育のひとつの拠点であるパジャジャラン大学で学生向けに講演を実施
【映画】						
1	ブキティンギにおけるシネマ・キャラバン	パダンパンジャン芸術大学	パダンパンジャン芸術大学 ブキティンギ市庁舎	ブキティンギ	04.04.23～ 04.04.24	日本文化紹介事業が行なわれることが少ない地域を主な対象として行なうシネマ・キャラバンをブキティンギで開催した。パダンパンジャン芸術大学では『しこふんじゃった』および『青森ねぶた祭り』を、ブキティンギ市庁舎では『しこふんじゃった』および『学校の怪談4』の上映会を実施

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
2	エリアナ、エリ アナ上映会	ジャカルタ新聞 BII Lezad (レスト ラン) パパイヤ	ジャカルタ日本 文化センター ホール ジャカルタ日本 文化センター ホール	ジャカル タ	04.06.17～ 04.06.24	昨年12月に国際交流基金が東京にて 実施した「東南アジア映画祭」への インドネシアからの参加作品、『エ リアナ、エリアナ』の日本語字幕付 ビデオを、ジャカルタ在住邦人向け に上映。邦字紙のジャカルタ新聞が 共催、現地銀行のBIIなどが協力
3	映画監督トゥ グ・カルヤの作 品展	シネマテークイ ンドネシア デワン・クスニ アン・ジャカル タ ヤヤサン・テア トル・ポピュラ -	ジャカルタ日本 文化センター ホール・ギャラ リーミニ	ジャカル タ	04.08.09～ 04.08.13	インドネシア映画界を代表する巨匠 のひとりで、3年前に亡くなったトゥ グカルヤ監督の回顧展を実施。8月 10日より13日までジャカルタ日本文 化センターホールにて代表作4本の 上映、および9日から13日まではギャ ラリー・ミニにて映画撮影の様子、 シーン等の写真展示を行なう。映画 上映前には、シネマテーク館長より 作品解説を行なった
【日本語教育】						
1	青年日本語教師 関係諸経費		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.05.04～ 04.12.20	インドネシア各地に派遣されている 6名の青年日本語教師がジャカルタ に集まり、青年日本語教師会議では 各地域における中等教育レベルの日 本語教育事情に関する報告会、およ びセンターの青年日本語教師業務方 針に関する討議を実施
2	派遣専門家関係 諸経費		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.10.11～ 05.01.24	インドネシアの高等教育機関に派遣 されている4名およびジャカルタ日 本文化センターの3名の日本語教育 派遣専門家がジャカルタに集まり、 各地域における高等教育レベルの日 本語教育事情に関する報告会、およ びセンターの専門家業務方針に関す る討議を実施
3	専門高校 (SMK)用日本 語教科書作成プ ロジェクト	インドネシア国 家教育省専門中 等教育局		ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	2001年のシラバス作成から始まった 専門高校観光サービス業務専攻用日 本語教科書が最終段階に入り、作成 会議を5回実施。完成版を作成作業 を実施した
4	「教科書を作ろ う」増刷			ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	日本語国際センターで出版した「教 科書で作ろう」のインドネシア版増 刷
5	大学教師向け研 修会		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.04.24～ 04.11.27	中級教授法セミナーおよび日本語教 員文法一日セミナーを行なった。前 者はジャカルタ首都圏の大学教員の み、後者は民間日本語学校の教員も 対象にした

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
6	普通高校・宗教 高校日本語教師 研修会	インドネシア国 家教育省語学教 員研修所	バリ州教育研修 所 インドネシア国 家教育省語学教 員研修所	デンパ サール、 ジャカル タ	04.05.15～ 05.03.05	普通高校・宗教高校の日本語教師を 対象にした研修会を3回実施した
7	高校日本語教師 通信教育プログ ラム	インドネシア国 家教育省通信教 育センター		西ジャワ 州および バリ州	04.06.07～ 04.12.01	高校の日本語教師で、国際交流基金 や教育省などが実施する研修に参加 できない遠隔地に住んでいる者を対 象にした、日本語通信教育プログラ ムをインドネシア国家教育省通信教 育センターと共催で実施した
8	日本語弁論大会 実施(一般の部)	元日本留学生協 会、在インドネ シア大使館、 ジャカルタ・ ジャパン・クラ ブ、インドネシ ア日本友好協会 他	サヒッドジャヤ ホテル	ジャカル タ	04.07.03	第33回全インドネシア日本語弁論大 会を、ジャカルタ市内のサヒッド ジャヤホテルにて、元日本留学生協 会と共催で実施した。日本大使館の 後援のほかに、インドネシア日本友 好協会、日本航空、PT. Panasonic Manufacturing Indonesiaの協賛
9	日本語弁論大会 実施(高校生向 け)	高校日本語教師 会		ジャカル タ	05.01.01～ 05.03.31	2005年4月9日にジャカルタ日本文化 センターで実施される高校日本語弁 論大会全国大会のための広報・準備 を行なった
10	インドネシア日 本語教育学会支 援(スマトラ支 部日本語教育 ワークショップ)	インドネシア日 本語教育学会ス マトラ支部	ブンハッタ大学	パダン	05.01.14～ 05.01.15	インドネシア日本語教育学会スマト ラ支部と日本語教育ワークショップ を実施した
11	インドネシア日 本語教育学会支 援(支部長会議)	インドネシア日 本語教育学会	ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	05.01.25	インドネシア日本語教育学会の本部 役員および支部長全員を召集して会 議を実施した。各支部の活動内容の 紹介と今後の活動方針、学会本部の 活動などについて話し合った
12	インドネシア日 本語教育学会支 援(北スラウェ シ支部初級教授 法セミナー)	インドネシア日 本語教育学会北 スラウェシ支部	マナド国立大学	北スラ ウェシ州 トンダノ	05.02.11～ 05.02.12	インドネシア日本語教育学会スラ ウェシ支部との共催により、マナド 国立大学にて、初級教授法研修を行 なった。マナド国立大学を含め5機 関より30名の参加があった
13	インドネシア日 本語教育学会支 援		スラバヤ国立大 学	スラバヤ	05.02.16～ 05.02.17	インドネシア内の日本語教育学会支 部の中で活動が停滞している東ジャ ワ支部の今後の活動方針などについ て話し合った

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
14	高校生日本語普及事業	在インドネシア大使館、JASSO	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.02.17～ 05.03.18	2月は普通高校語学系の生徒向けに、日本留学・奨学金に関する説明が行なわれたほか、大学関係者により日本での留学経験が語られた。3月は専門高校観光サービス業専攻高校生向けに、ジャカルタの旅行会社の方を招き、旅行会社での仕事や日本人の客に対して気を付けなければならない点などについての説明を実施
【図書館運営】						
1	図書館運営		ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	04.04.01～ 05.03.31	年間来訪者24,570名、蔵書数29,526冊（日本語17,031冊、英語7,362冊、インドネシア語4,863冊）、会員数は4,484名であり、その他ビデオ、CDなどAV資料もそろえた図書館を運営
【出版・広報】						
1	公募プログラム案内				04.04.01～ 05.03.31	基金の公募プログラムがより広く当国で広まるように、プログラムガイドラインうち、インドネシアに関連するプログラムをインドネシア語に翻訳し申請希望者に配布
2	NUANSA、EGAOの発行及びウェブサイト運営		ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	04.04.01～ 05.03.31	ニュースレターNUANSAを2カ月ごとに7,500部発行すると共に、四半期に一度EGAOを1,500部を発行し関係者に配布。また、ウェブサイトはセンターの事業紹介、過去の講演記録などを掲載し、年間にのべ34,654のアクセス数があった
3	日本研究・知的交流企画開発事業 日本研究ジャーナル発行	インドネシア大学内「ジャーナルMANABU」事務局			04.04.01～ 05.03.31	平成17年度第前半に発行予定の、インドネシアにおける日本研究者が英語で執筆した研究発表を掲載するジャーナル「MANABU」の出版準備に対し、協力を行なった
4	劇団風の子 インドネシア・ティモール公演ビデオ制作	バルー県政府 在東ティモール大使館	ロメイ劇場 ホテル・ティモール	アタンブア デイリ	05.03.16～ 05.03.27	「元紛争地の子供たちの心のケア」を目的として行なった「劇団風の子 インドネシア・東ティモール公演」に際し、国際交流基金の活動をより詳しく紹介するためにビデオを制作するもの。一行が現地で公演を行なう姿のほか、現地の人々との温かい交流を撮影

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【教室事業】						
1	一般日本語講座 運営		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	(1) 2004年2月3日-5月21日開講後 期講座、中級1(22名)、中級2(19名)、 上級1(16名)、上級2(12名)の4ク ラス開講 (2) 2004年8月10日-12月 17日開講前期講座、2005年2月1日-5 月20日開講後期講座、中級(22名)、 上級1(18名)、上級2(13名)の3ク ラス開講
2	囲碁教室		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	毎週金曜日16時より初心者も含めた ジャカルタ在住の囲碁愛好家が集ま る囲碁サロンを開催。若年層を中心 に毎回20名程度の囲碁愛好家が参加
3	グループピジッ ト		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	広く一般に日本文化紹介を行なうた めの事業で、主に小学生から高校生 の社会見学ルートの一つとしてセン ター訪問をする際、日本映画の上映 のほか、折り紙教室、図書館見学、 日本文化に関する質疑応答等全体で 2時間程度の催しを実施。平成16年 度は25件総勢1,582名のグループピ ジットを受入
4	書道教室および 作品展示	目黒雅夫	ジャカルタ日本 文化センター ジャカルタ日本 文化センターミ ニギャラリー	ジャカル タ	04.04.13～ 04.06.30	4月13日～6月15日までの毎週火曜日 にジャカルタ在住の書道家である目 黒雅夫の書道教室を開講し、のべ40 名が受講。最後の授業で書いた作品 を、6月16日～6月30日までミニギャ ラリーで展示
5	生け花教室及び 作品展示	草月流インドネ シア支部	ジャカルタ日本 文化センター ジャカルタ日本 文化センターミ ニギャラリー	ジャカル タ	04.06.18～ 04.10.01	本年度は草月流に講師を依頼し生け 花教室を開講。場所の都合もあり受 講生は例年と同じく25名で、教室の 最後には受講生の成果を展示
6	子供向け七夕イ ベント		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.07.07～ 04.07.07	七夕の7月7日にあわせ、インドネシ ア人の子供を主な対象として、七夕 にちなんだ笹の飾りつけ、折り紙教 室、歌・演劇による七夕伝説の紹介 などを実施。会場は200名以上の子 供で満員となった
7	中級日本語研修		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.07.22～ 05.03.31	ジャボタベック地区の大学および民 間日本語学校の日本語教師を対象に した研修。コース1は2004年7月22日 ～11月25日開講、25名が参加。コ ース2は2005年1月27日～5月12日開講、 26名が参加

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【その他】						
1	日本研究・知的交流企画開発事業 ニーズ調査・評価				04.04.01～ 05.03.31	次年度の案件発掘および助成事業を評価するためにバンドン、スラバヤなどの地方都市で、普段は顔をあわす機会が少ない日本研究・知的交流関係者と意見交換を実施
2	第2回じゃかるた新聞杯4カ国対抗囲碁大会	じゃかるた新聞 ジャカルタ囲碁将棋クラブ 日本棋院	ジャカルタ日本文化センター ホール	ジャカルタ	04.12.19～ 04.12.19	インドネシア、日本、中国および韓国がそれぞれ各代表チームを編成し、4カ国総当りの囲碁大会を開催。ジャカルタに来訪された日本棋院の佃亜紀子4段に審査員を依頼した。自由対戦が可能なスペースも設けたため会場には約100名程度の来場者があった
【本部事業受入】						
1	普通高校新カリキュラム準拠教材開発プロジェクト	インドネシア国家教育省普通中等教育局		ジャカルタ、西ジャワ州、東ジャワ州、中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別地区、バリ州、北スラウェシ州	04.04.01～ 05.03.31	2004年の新学期より導入される新カリキュラム（基本能力重視カリキュラム）に準拠した普通高校・宗教高校用日本語教科書作成プロジェクトを、インドネシア国家教育省初等中等教育総局普通中等教育局との共催で開始
2	高校生日本語学習奨励研修	高校日本語教師会		ジャカルタ、メダン、パダン、バンドン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、バリ、マナド	04.04.24～ 04.04.24	関西国際センターで実施する「高校生日本語学習奨励研修」の参加者を選抜するため、インドネシア国内の高校日本語教師会8団体と協力を得て、インドネシア国内で一斉に選抜試験を実施した

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
3	成績優秀者研修	インドネシア日本語教育学会、在マカッサル総領事館、在メダン総領事館		ジャカルタ、メダン、バンドン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、マカッサル、マナド	04.05.22～ 04.05.23	関西国際センターで実施する「成績優秀者研修」への参加者を選抜するため、各地に派遣されている日本語教育専門家、日本語教育学会支部、日本総領事館の支援を得て、インドネシア国内で一斉に選抜試験を実施した
4	侍映画祭		タマン・イスマイル・マルズキテアトル・クチール	ジャカルタ	05.03.04～ 05.03.10	「侍」の生き様をテーマに据えた映画を、1940年代から2000年代まで年代別の作品を基金所蔵のフィルムライブラリーより集めて1週間上映した。本件は本部事業ではあるが、事務所予算にて主に広報費を支出
5	日本文学 奥泉光氏講演会	インドネシア文学研究者協会 インドネシア大学文学部 QBブックストア	インドネシア大学文学部 QBブックストア	ジャカルタ	05.03.31～ 05.03.31	芥川賞作家である奥泉光のフルート演奏付講演会を、同日に2回開催。1回目はインドネシア大学文学部講堂にて、主に学生向けに行ない多くの学生が集まった。また、同日夕方に2回目の作家、文学者向けの講演を、QBブックストアカフェにて実施

6. ジャカルタ日本文化センター (2)助成・協力事業

合計額 3,030,976円

	事業名	助成対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	高校日本語教師会支援助成（西ジャワ）	西ジャワ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	西ジャワ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
2	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模出版助成	ヤヤサン・プランギ	04.04.01～ 05.03.31	インドネシア大学国際関係研究センター所長のシャムスル・ハディ氏が執筆した論文の出版経費を助成。内容はインドネシアおよびマレーシアにおける産業発展と日本の投資活動について、スハルトの政策マハティールの政策の違いを比較したもの
3	高校日本語教師会支援助成（北スマトラ）	北スマトラ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	北スマトラ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の日本語教育専門家が勉強会のアドバイスを行なった

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
4	高校日本語教師会支援助成（中部ジャワ）	中部ジャワ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	中部ジャワ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
5	高校日本語教師会支援助成（東ジャワ）	東ジャワ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	東ジャワ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
6	高校日本語教師会支援助成（バリ）	バリ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	バリ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
7	高校日本語教師会支援助成（北スラウェシ）	北スラウェシ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	北スラウェシ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
8	高校日本語教師会支援助成（ジャボタベック）	ジャボタベック高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	ジャボタベック高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
9	インドネシア日本語教育学会支援（スマトラ支部一日セミナー）	インドネシア日本語教育学会スマトラ支部	04.05.08	インドネシア日本語教育学会スマトラ支部が実施した一日セミナーに助成した。5人の日本語教育関係者による発表とパネルディスカッションが実施された
10	日本語弁論大会助成（一般の部・東ジャワ大会）	在スラバヤ総領事館、元日本留学生協会東部ジャワ支部	04.05.09	7月3日にジャカルタで行なわれる全国大会の地方予選をスラバヤにて実施した
11	日本語弁論大会助成（一般の部・バリ大会）	ウダヤナ大学	04.05.15	7月3日にジャカルタで行なわれる全国大会の地方予選をデンパサールにて実施した
12	日本語弁論大会助成（一般の部・スラウェシ大会）	マナド国立大学	04.05.15	7月3日にジャカルタで行なわれる全国大会の地方予選をマナドにて実施した
13	中等教育機関主催日本語事業助成（普通高校）	ジャボタベック高校日本語教師会	04.05.26	高校生の日本語学習者の学習意欲を刺激するため、ジャボタベック高校日本語教師会が日本文化祭を実施。スピーチコンテスト、習字コンテスト、カラオケコンテストの3種目に、ジャボタベック地域の高校生が多数参加した
14	高等教育機関主催日本語事業支援助成（パジャジャラン）	パジャジャラン大学	04.05.27～ 04.05.29	西ジャワ州の日本語学科をもつ大学が合同で実施する日本文化祭をパジャジャラン大学にて実施。各種イベントのなかで日本語弁論大会も実施し、上位2名がジャカルタでの全国大会に出場

	事業名	助成対象団体	期間	内容
15	高等教育機関主催日本語事業支援助成（リア）	リア外国語大学	04.06.04～ 04.06.05	ジャカルタの中でも日本語教育で有名なリア外国語大学が日本文化祭を実施。折り紙、書道、和紙人形等のデモンストレーション、盆踊りの披露、お化け屋敷、パン食い競争、綱引き、書道コンテスト、クイズ、日本語での演劇など、多数の日本文化イベントが実施された
16	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 スラバヤ国立大学セミナー	スラバヤ国立大学	04.06.24～ 04.06.24	東ジャワの日本語教育、日本研究の拠点機関であるスラバヤ国立大学が主催し、パジャジャラン大学、インドネシア教育大学から研究者が参加して、日本語教育学を中心とした日本研究の発展に関してセミナーを実施スラバヤ国立大学の教員、大学院生、学生を中心し、100名ほどが参加
17	バンテンの子供ミュージカル「スワラ・アナック・カンブン」	The South Banten Community Development	04.07.07～ 04.07.07	The South Banten Community Developmentは、ジャワ島西部に位置するバンテンにて、芸術を通じてコミュニティの発展を促すという活動を行なっている。その事業の一環として、同財団が実施した伝統音楽を交えた子供ミュージカル「スワラ・アナック・カンブン」の上演に対し経費を助成した
18	インドネシア・ダンス・フェスティバル	インドネシア・ダンス・フェスティバル事務局	04.07.14～ 04.07.20	当地の現代舞踊において若手の登竜門とすべく92年に開始した「インドネシア・ダンス・フェスティバル」は9回目を数えるが、同フェスティバルの広報費を助成
19	アズユマルデイ・アズラ講演会	国立イスラム大学	04.08.04～ 04.08.04	国際交流基金が実施するレクチャー・シリーズ第三弾として、インドネシアを代表するイスラム知識人、アズユマルデイ・アズラの講演会を実施。同氏は、米国コロンビア大学にて博士号を取得、1998年よりイスラム国立大学の学長。『Islam Substantif』を初め、著作多数。この3月に訪日経験があるため、その経験をもとに「イスラムと日本」をテーマについて講演した
20	アートサミット・インドネシア2004 「伊藤キム+輝く未来」及び劇団「DA・M」	アート・サミット・インドネシア2004	04.08.10～ 04.09.10	インドネシアにおける最大の芸術祭であるアートサミットは、今回で4度目の開催となるが、劇団「DA・M」および「伊藤キム+輝く未来」に対して受入協力を実施。2グループ共にメディア、観客に高い評価を受けた
21	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 国際文化交流セミナー	インドネシア教育大学	04.08.12～ 04.08.12	異文化間交流をテーマに、インドネシア教育大学が国際会議を主催。インドネシア国内の日本語を含む外国語教育に携わる研究者、日本からインドネシア来訪中の水野（大阪市議員）が発表
22	グスマアデイ・スイッド追悼公演	ジャカルタ・アーツ・カウンスル グマラン・サクティ・カンパニー	04.08.20～ 04.08.21	ミナンカバウの伝統舞踊を基礎に、現代舞踊を創作、高い評価を得た振付家のグスマアティ・スイッド没後1000日目に追悼を行なうジャワの伝統に倣い、彼女の芸術家としての実績を称え、追悼を行なうために行なった公演に対し助成

	事業名	助成対象団体	期間	内容
23	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 ナショナル大学 日本研究センター	ナショナル大学 日本研究センター	04.08.30～ 04.08.30	ナショナル大学と大学間協定を持つ羽衣国際大学が共催で、「芸術と文学を通じて日本人の価値観と勤労精神を理解する」と題したセミナーをナショナル大学講堂にて実施
24	在外公館主催日本語事業助成	第3回漢字カップ実行委員会	04.10.10	日本語学習者が漢字学習に親しんでもらうことを目的に、在スラバヤ総領事館が中心となって「第3回漢字カップ」を実施。東ジャワ州以外の日本語学習者も参加して、前回より規模が大きくなった
25	バンドン工科大学における久野利博氏のワークショップ	バンドン工科大学	04.10.24～ 04.11.02	名古屋芸術大学教授であり現代美術家である久野利博を招へいし、「家」と題したワークショップを主に学生向けに開催すると共に、そのワークショップの成果を見せるべく作品展示をバンドン工科大学が開催。その経費の一部を助成した
26	ネクスト・ウェーブ（インドネシア・コレオグラファー・アワード）	ジャカルタ芸術評議会	04.11.22～ 04.11.27	「ネクスト・ウェーブ」はジャカルタ芸術評議会が開催した若手振付家を発掘する事業で、それぞれの地区の予選を勝ち抜いた7名の振付家が最終選考会に参加したが、その開催経費の一部を助成
27	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 アル・アザール大学	アル・アザール大学	05.01.26～ 05.01.26	インドネシア各地でプサントレン（イスラム寄宿塾）を運営するアル・アザール・グループの高等教育機関として、2000年に開設されたアル・アザール大学にて、『21世紀の日イ友好関係の礎としての教育、科学技術分野での協力』をテーマとし、同大学学長ズハルの講演会を実施
28	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 インドネシア大学国際関係センター	インドネシア大学国際関係センター	05.02.16～ 05.02.16	インドネシア大学の国際関係論学科が設立した国際関係研究センター（CIRES）が主催し、同センターの所長シャムスル・ハデイのほか、タイ、マレーシアから、それぞれ両国を代表する日本研究者であるメディ・クロンカウ（前タマサート大学日本研究センター所長）、およびステファン・レオン（マレーシアISIS日本研究センター所長）が参加し、タイ、マレーシアのケースと比較しながら、インドネシアにおける経済危機と、それに対するIMFと日本の役割についての一斉セミナーと、非公開のグループ・ディスカッションを実施。セミナーには学生を中心に300名近くが参加
29	中等教育機関主催日本語事業助成（専門高校）	ジャボタベック専門高校日本語教師会	05.02.26	高校生の日本語学習者の学習意欲を刺激するため、ジャボタベック専門高校日本語教師会が日本文化祭を実施。ロールプレイ大会やクイズ大会、日本の歌大会を実施し、多くの高校生が参加した
30	ダンス・エモーション	タリ・インドネシア	05.03.10～ 05.03.13	ダンスをテーマとして制作されたショートフィルムを世界各国から集めそれらをジャカルタ芸術劇場で上映するとともに、世界各国からの集まった制作者によるセミナーを行なった、ダンスフィルムの国際フェスティバル「ダンス・エモーション」に対し助成を行なった
31	日本語弁論大会助成（高校生向け・北スラウェシ大会）	北スラウェシ高校日本語教師会	05.03.12	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をマナドで行なった

	事業名	助成対象団体	期間	内容
32	日本語弁論大会 助成（高校生向け・東ジャワ大会）	東ジャワ高校日本語教師会	05.03.13	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をスラバヤで行なった
33	日本語弁論大会 助成（高校生向け・バリ大会）	バリ高校日本語教師会	05.03.14	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をデンパサールで行なった
34	日本語弁論大会 助成（高校生向け・北スマトラ大会）	北スマトラ高校日本語教師会	05.03.19	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をメダンで行なった
35	日本語弁論大会 助成（高校生向け・西スマトラ大会）	西スマトラ高校日本語教師会	05.03.20	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をプギットティンギで行なった
36	日本語弁論大会 助成（高校生向け・西ジャワ大会）	西ジャワ高校日本語教師会	05.03.22	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をバンドンで行なった
37	日本語弁論大会 助成（高校生向け・ジャボタベック大会）	ジャカルタ高校日本語教師会	05.03.23	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をジャカルタで行なった
38	日本語弁論大会 助成（高校生向け・中部ジャワ大会）	中部ジャワ高校日本語教師会	05.03.26	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をジョグジャカルタで行なった
39	ジャパンカルタ・ジョグジャパン	インドネシア国立芸術大学大学院	05.03.31～ 05.04.21	インドネシア国立芸術大学大学院が主催するジョグジャカルタ在住の日本人作家が中心に行なった展覧会に対し、事前準備費、カタログ作成費の助成を行なった
【会場提供】				
1	劇団ほたるの樹 公演	劇団ほたるの樹	04.12.02～ 04.12.02	ジャカルタ在住の日本人を中心に活動している『劇団ほたるの樹』の公演。『雪女』と『耳なし芳一』の怪談2本を上演した。150名の観客が来場し客席は満員となった

7. バンコク日本文化センター (1)主催・共催

合計額 20,872,315円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	90年代の絵画展	ナショナル・ギャラリー、チェンマイ大学、ウボンラーチャターニー職業学校	ナショナル・ギャラリー チェンマイ大学美術館 ウボンラーチャターニー職業学校	バンコク チェンマイ ウボンラーチャターニー	03.06.06～ 03.08.25	1960年代に生まれた日本の9人の若手画家の作品を展示。芸術的表現としての絵画が、ともすれば排他的に、狭い世界で発展してきた傾向があるなかで、情報とモノがあふれた大量消費社会で育ってきた若手アーティストの、絵画と見る者との新しい形のコミュニケーションをとろうとする試みを伝えることが主眼
2	猪鼻秀一展	アリアンセ・フランセーズ・バンコク	バンコク日本文化センターアートスペース	バンコク	04.06.14～ 04.07.02	新進芸術家の猪鼻秀一による現代美術展。タイトルは「Japan Animism Now」。内容は古墳、岩、樹木など古から日本人が聖なるところととらえ信仰の対象としてきた場所を撮影した写真10点あまりを会場壁面にかざり、中央に数年前に岡本太郎賞を受賞した襖をモチーフにした高さ2mあまりのメイン作品
3	俳句コンテスト	日本航空	クイーンズパークホテル（授賞式） バンコク日本文化センターアートスペース	バンコク	04.06.26～ 04.09.13	バンコク日本文化センターと日本航空が例年共催しているタイ語俳句コンテスト。今年は「水」をテーマに作品を募集し、6月26日にソムサワリ王女殿下を迎えて授賞式が行われた。また、9月3日から13日まで、バンコク日本文化センターアートスペースにおいて、受賞作品50点の展示を行なった
4	アジア漫画展	コンケン大学	バンコク日本文化センターアートスペース コンケン大学	バンコク コンケン	04.07.12～ 04.08.13	1995年以降、漫画という親しみやすい表現を通してアジアの社会・文化や人々の暮らしなどを多面的に紹介することを目的として毎年開催してきた1コマ漫画展「アジア漫画展」の第7回展示
5	Fly With Me to Another World	Navin Rawanchaikul	チェンマイ ランプーン バンコク日本文化センターアートスペース	チェンマイ ランプーン バンコク	04.08.02～ 05.02.17	タイの国際的なアーティストであるナヴィン・ラワンチャイクンによる、アートとコミュニティをつなげようと試みる1年間のプロジェクト（2月～2005年3月まで開催）

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
6	アジア・クラフト・フェア	タイ国家文化委員会	タイ文化センター（展示場）	バンコク	04.08.07～ 04.08.16	王妃72歳慶祝年・王妃誕生日を記念したタイ文化省主催の催し物。タイおよび日本を含むアジア8カ国の伝統工芸品の実演・展示を行ない、参加国の工芸専門家とタイの人々との交流、および各国専門家の間の交流を図った
7	レオナルド・ペレガッタ展	在バンコクイタリア商工会議所 イタリア大使館	バンコク日本文化センターアートスペース	バンコク	04.10.04～ 04.10.14	東京在住のイタリア人写真家レオナルド・ペレガッタの東京についての写真展。在バンコクイタリア商工会議所、イタリア大使館の協力を得た
8	凧・独楽展	子ども博物館 チェンマイ国立博物館	子ども博物館 チェンマイ国立博物館	バンコク チェンマイ	04.12.23～ 05.01.14	日本の伝統工芸であり玩具である凧・独楽を、同様の文化を持つタイで紹介し、日タイの伝統文化の比較を通してタイ人観客の日本理解深化の一助となることを目指した
9	ポスター展（バンコク日本文化センター30周年記念事業）		バンコク日本文化センターアートスペース	バンコク	05.01.25～ 05.03.25	開設30周年を迎えたのを機に、その間バンコク日本文化センターがタイで実施してきた各種イベントのポスターをプラスチックパネルにして計80枚展示した。内容は舞台芸術や造形美術、映画などが主だが、スポーツや日本語能力試験までも含め幅広く紹介した
【公演】						
1	Refined Colors	パトラヴァディ劇場	パトラヴァディ劇場	バンコク	04.07.31～ 04.08.01	R(ed)、G(reen)、B(lue)の発光ダイオードで、約1,670万色のカラーバリエーションを作り出す新しい照明器具「LEDライト」とデジタル技術を駆使し、行く先々の光景を舞台表現に取り込んでいく実験的ダンスパフォーマンス
2	コーネリアス「FIVE POINT ONE」公演	SOI Music Festival Office	RCA house（音楽ライブショー） アバウト・カフェ（音の展示）	バンコク	04.09.10～ 04.09.15	世界中の若者世代に圧倒的なカリスマ的人気を誇る日本人アーティストのコーネリアスをメインゲストに迎え、タイのインディー系音楽グループをまじえ、二日間（9月10日・11日）のコンサートを行なった
3	津軽三味線公演		タイ文化センター（小ホール）	バンコク	04.10.29～ 04.10.30	シリキット王妃72歳慶祝行事の一環として実施。新田弘志、新田昌弘の父子が出演。津軽三味線をメインとした邦楽公演および現地ミュージシャンとの共演

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	フェロー懇談会 (バンコク日本文化センター30周年記念事業)		シェラトン・グランデ・スクム ヴィット・ホテル	バンコク	04.12.14～ 04.12.14	タイ外務省情報部長による基調講演、芸術交流分野はMs. Patravadi Meejudhon (パトラワディー劇場主・芸術監督)、日本研究・知的交流分野はKitti Prasirtsuk (タマサート大学日本研究学科講師)、日本語教育分野はVoravudhi Jirasombutti (チュラロンコン大学日本語学科助教授) を呼び、各分野における日タイ文化交流の状況や国際交流基金の果たすべき役割等を論じるセミナーを開催した
2	現代日本文学講演会	タイ書籍出版・販売者協会	シリキット・コンベンションセンター	バンコク	05.03.27～ 05.03.27	芥川賞受賞作家の奥泉光による現代日本文学の状況についての講演およびフルート演奏を実施
【映画】						
1	ウィークエンドシアター		バンコク日本文化センター・ホール	バンコク	04.04.02～ 05.03.25	毎月テーマを定め(たとえば「友情」「親子」など)、毎週金曜日18:30から定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映
2	日本映画祭	映画雑誌「パルプ」	Major Cineplex Central World Plaza	バンコク	04.11.19～ 04.11.25	タイでまだ紹介されていない比較的制作年が新しい9本の作品を上映。黒沢清、SABUなどの新世代の映画監督(7監督)特集。映画専門雑誌「パルプ」と共催
【日本語教育】						
1	北部タイ中等日本語教師金曜研修会	タイ国教育省 ユパラートウイ タヤライ校	ユパラートウイ タヤライ校	チェンマイ	04.04.01～ 04.03.31	北部地域に在住するタイ人日本語教師を対象とした日本語研修会。毎週金曜日に実施
2	東北部タイ中等日本語教師金曜研修会	タイ教育省 ヴィジットラー ピタヤー校	ヴィジットラー ピタヤー校	ウボンラーチャー ターニー	04.04.01～ 05.03.30	東北部地域に在住するタイ人日本語教師を対象とした日本語研修会。毎週金曜日に実施
3	通信教育講座				04.04.01～ 05.03.31	地方に住むタイ人日本語教師を対象とした日本語通信講座。年間20回教材を送付し、添削指導を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
4	日本語テレビ番組制作支援	タイ国教育省学校外教育局		バンコク	04.04.01～ 05.03.31	遠隔地に住む人でもテレビ放送を通じて日本語の学習ができるよう、2003年度に制作した日本語学習番組をテレビ地上波にて放映する。また、視聴者がテレビを見ながら自分で学習するためのテキストの配布を行なった
5	派遣専門家・青年日本語教師定期連絡会議		バンコク日本文化センター	バンコク	04.04.01～ 05.03.31	地方に派遣している専門家や青年日本語教師が一同に会し、活動報告や情報交換、意見交換を行なった
6	「紀要」の発行			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	日本語教育に関する論文、実践報告などを掲載し、年に1回700部を発行。日本語教育機関に対して送付
7	ニュースレター「タウン」の発行			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	バンコク日本文化センター日本語事業に関するニュースレター。タイ国内の日本語教師に対して1800部を年3回発行
8	日本語教師金曜研修会		バンコク日本文化センター教室	バンコク	04.04.01～ 05.03.31	タイ人日本語教師を対象とした日本語講座。日本語運用能力と教授能力の向上を図った。15名を二クラスに分けて実施
9	教材教具助成			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	タイ各地の日本語教育機関に対して、2000パーツを限度の教材寄贈を行なった。寄贈教材は、テーブルコーダーやタイ国内で出版された日本語教材など
10	南部タイ中等日本語教師金曜研修会	タイ国教育ウォラナリーチャラーム校	ウォラナリーチャラーム校	ソンクラー	04.04.01～ 05.03.31	南部地域に在住するタイ人日本語教師を対象とした日本語研修会。毎週金曜日に実施
11	一般講座		バンコク日本文化センター教室	バンコク	04.04.01～ 05.03.31	日本語中上級レベルの学生、一般社会人を対象とした日本語講座。16コース21クラスを開講。受講生はのべ340名
12	日本語教師土曜研修会		バンコク日本文化センター教室	バンコク	04.04.01～ 05.03.31	タイ人日本語教師を対象とした日本語講座。8名の受講生を対象に日本語能力と教授能力の向上を目指した
13	中等現職教員日本語教師新規養成講座事業評価			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	タイ中等現職教員を対象に実施した新規講座の評価を、過去の研修生や所属機関に対するアンケートを元に、総合的に行なった

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
14	日本語教師集中研修会		バンコク日本文化センター教室	バンコク	04.04.19～ 04.10.22	タイ人日本語教員の日本語運用能力および教授能力の向上を目指し、評価の方法、文章表現、表現力の向上、初級指導法などのテーマに沿った集中講義を行なった。日本語能力試験3級および2級合格者を対象
15	邦人日本語教師教授法等研修会	泰日経済技術振興協会	泰日経済技術振興協会	バンコク	04.05.17～ 04.05.21	日本語教授歴1年未満の経験の浅い邦人日本語教師を対象にタイにおける教育や、日本語教育の基礎に関する講義を行なった
16	日本語弁論大会	在タイ大使館 元留学生協会 東北タイ中等教員教師会 北タイ教師会	バンコク ウボンラーチャターニー チェンマイ	バンコク ウボンラーチャターニー チェンマイ	04.09.05～ 05.02.04	バンコクで実施される日本語弁論大会に関する打ち合わせ等の会議を主催し、優勝者の賞品を提供
17	日本語能力試験	タイ元留学生協会 タイ元留学生協会チェンマイ支部 タクシン大学		バンコク チェンマイ ソンクラー	04.12.05～ 04.12.05	日本語能力試験の実施に関する会議を2回行なった。2004(平成16)年度の日本語能力試験は、タイ国元日本留学生協会、北部元日本留学生協会、タクシン大学および国際交流基金の4者で実施委員会を構成し、タイ国内3カ所で開催
18	日本語教育セミナー		バンコク日本文化センター(ホール)	バンコク	05.03.08	「中級から上級への橋渡し-話せるという実感を与えるために-」をテーマに、『J・Bridge』を執筆した小山智助(九州大学教授)と、『初級からの日本語スピーチ』の執筆に関した熊野七絵(派遣専門家)が講演を行なった
【図書館運営】						
1	図書館運営			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	2004年度末蔵書規模は以下の通り。日本語図書13,122冊、英語図書5,571冊、タイ語図書2,379冊、ビデオ1,340本、カセット647セット、CD書籍・音楽CD361枚。タイにおける日本研究学者や日本語教師を初め、広範な利用者の用に供した
【出版・広報】						
1	Japan Letter発行			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	季刊により、年4回毎号1,000部発行。文化交流に関するエッセイやバンコク日本文化センター事業の活動報告を英・タイ2カ国語で伝える

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【その他】						
1	北部タイ文化交流祭（チェンマイ日本文化祭）	チェンマイ総領事館、パヤップ大学	パヤップ大学ソムサワリーホール	チェンマイ	05.02.11～ 05.02.13	当センターが直接関与した事業は、日本映画祭（劇映画4本上映）で、2月12日『ユニコ』『のど自慢』、13日『ジュブナイル』『時雨の記』を上映。さらに12日夕刻、音楽コンサート（フルート松島寛、箏坪井のりこ、ピアノ佐藤良美）を実施
【本部事業受入】						
1	Have We Met? 展（カッティング・エッジ・アジア）調査等・在外事業			バンコク	04.05.21～ 05.03.18	インド、インドネシア、タイ、日本の比較的若いキュレーター一行が事前調査のためタイを訪問。バンコクの代表的なアート施設をほぼ網羅し訪問した。タイからは若い世代の圧倒的な支持を得ているプラープダー・ユン（作家、アーティストほか多彩な活動をしている）がキュレーターとして参加

7. バンコク日本文化センター (2)助成・協力事業

合計額 1,262,428円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	日本語教育機関ネットワーク形成支援	ラチャパットの日本語教育を考える会タイ国日本語教育研究会他	04.04.01～ 05.03.31	7月3日に実施されたラチャパットの日本語教育を考える会セミナーへの助成をはじめ、日本語教育関連セミナーの実施に際し、当センター施設の貸し出しを行なった。また、3月19日に実施されたタイ国日本語教育研究会年次セミナーへの助成、施設貸し出しも実施した
2	文化事業小規模助成・シラパコン大学・多摩美術大学交流展	シラパコン大学	04.04.20～ 04.05.09	タイを代表する芸術大学であるシラパコン大学と多摩美術大学の交流展。3回目となった今回の交流展では、多摩美術大学から木版画の小林敬生を招き、同氏の作品45点を展示した
3	GNH国際会議助成（日研・知的交流企画開発事業）	NSF財団	04.09.01～ 04.10.31	インドシナと南アジア諸国が政府レベルで関係を強化する機運が高まっていることを機に、ブータン国王が提唱する、経済力に代わる国の指標としての「Gross National Happiness」の概念をタイで紹介する。ワークショップにはブータン、タイ、日本、東南アジア諸国から研究者、官僚、NGO関係者などが参加し、GNHを巡って活発な議論が繰り広げられた

海外事務所

	事業名	協力対象団体	期間	内容
4	文化事業小規模助成・河原温展	アバウトカフェ	04.09.22～ 04.10.15	日本を代表する現代アートの旗手、河原温の作品展。欧州の美術館の協力を得て、タイを代表する現代アートスペース「アバウトカフェ」が欧州美術館から所属作品を借り出し展示
5	コンケン大学紛争解決ワークショップ（日研・知的交流企画開発事業）	コンケン大学紛争解決研究所	04.10.04～ 04.10.08	各国の官僚などの実務者を集め、東南アジアの小規模な地域紛争の予防と解決方法について考える研修・ワークショップを開催
6	文化事業小規模助成・元日本国費留学生会美術展	元日本国費留学生会	04.10.08～ 04.10.31	本年が日本国費留学生事業の開始から50周年にあたることから、日本へ国費留学したタイの芸術家および日本の芸術家が、日本政府に敬意を表明し、タイと日本の一層の芸術・文化交流の増進を目的とする美術展を開催
7	文化事業小規模助成・アジア子ども文化祭	シーカーアジア財団	04.10.15～ 04.10.17	タイのキャンプ場で、東南アジア各国および日本の子どもが参加する国際ワークキャンプを実施。レクリエーション、ゲーム、各国文化の紹介等の活動を通じて、子ども達が言葉や文化の壁を越えて友好を育むことを目標とした
8	文化事業小規模助成・劇団道化公演	サーンラックプロジェクト	05.01.10～ 05.01.17	福岡の劇団「劇団道化」のタイ（チェンライ、バンコク）での子ども向け演劇公演
9	文化事業小規模助成・Lantern of the East（ブラパー大学美術展）	ブラパー大学	05.01.14～ 05.01.29	第1回目は1996年に韓国で“Lantern of the World”のタイトルのもとに開催され、諸外国で継続して実施している。今回の第14回Lantern of the East International Art Festivalはタイがホスト国となり、ブラパー大学のArt and Culture Museumの完成を記念して、日・タイの絵画・彫刻部門の芸術家を集めて開催
10	チュラロンコン大学セミナー助成（日研・知的交流企画開発事業）	チュラロンコン大学	05.03.14～ 05.03.14	早稲田大学の西川潤教授による、「東アジア共同体とFTAについての日本の視点」をテーマとした講演を実施
【その他】				
1	文化事業協力		04.04.01～ 05.03.31	タイの機関が開催する催し物での日本文化紹介につき、箏演奏等の協力を行なった

8. クアラルンプール日本文化センター (1)主催・共催事業

合計額 11,558,475円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	巡回展「日本の版画」	Dewan Bahasa dan Pustaka (DBP:国立言語文学研究所)	Dewan Bahasa dan Pustaka (DBP:国立言語文学院)	クアラルンプール	04.07.05～ 04.07.25	国際交流基金所蔵巡回作品（日本の版画（1950-1990））による美術展。関連企画として、マレーシアの版画家Johari Said氏による木版画についてのレクチャー・デモンストレーションを、7/10に会場で実施した
2	アジア漫画展	マレーシア漫画家協会、国立図書館、ペラ州立図書、トレンガヌ州立博物館、サバ州立博物館、在馬日本大使館	トレンガヌ州立博物館 国立図書館 サバ州立美術館 ペラ州立図書館	トレンガヌ クアラルンプール コタキナバル イポー	04.09.04～ 05.02.14	昨年度に国際交流基金で開催された第8回アジア漫画展「生きがい」の巡回展
3	巡回展「90年代の日本絵画」	ギャラリー・ペトロナス	ギャラリー・ペトロナス	クアラルンプール	04.11.27～ 05.01.02	国際交流基金所蔵巡回作品「90年代の日本の絵画（Painting for Joy）」展の実施。奈良美智、村上隆ら、現在の日本を代表する作家達の作品展は、地元マスコミでも多く取り上げられ、会期中1万3千人を越える来館者があった
【公演】						
1	「Rashomon」公演	The Actors Studio	Istana Budaya	クアラルンプール	04.06.18～ 04.06.27	The Actors Studioプロデュースによる、Rashomonの再演。日本の戯曲をベースにした演劇作品の上演であり、衣装デザインに昨年度の本部主催事業「スタッフ塾」のメンバーであった、時広真吾氏が起用された
2	「Refined Colours」公演	Monochrome Circus	MCPA Theatre	クアラルンプール	04.08.21～ 04.08.22	藤本隆行（ダム・タイプ、テクニカルディレクター）、坂本公成（モノクローム・サーカス、振付）を中心としたグループによるコンテンポラリーダンスの公演。マレーシア側からダンサー2名が参加した
【本部事業受入】						
1	狂言レクチャー・デモンストレーション（在外事業費）	在マレーシア大使館	国立言語文学研究所 Cititel Hotel 国立芸術アカデミー	クアラルンプール	04.09.01～ 04.09.03	大蔵流狂言のレクチャー・デモンストレーションをとして、Japan Festival in Malaysiaの中核事業として実施

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【公演】						
1	劇団態変との共同制作	The Actors Studio	市内各所	クアラルンプール	05.02.04～ 05.02.07	平成15年度文化人短期招へい事業にて日本へ招へいされた、The Actors Studioのジョー・ハシヤム、ファリダ・メリカン夫妻の提案から始まった、日本の障害者劇団態変とマレーシアの障害者との交流プロジェクト
2	Theatre Staff Workshop	マレーシア舞台技術者協会	Kuala Lumpur Performing Arts Centre MCPA Theatre	クアラルンプール	05.03.15～ 05.03.19	照明・音響等の舞台スタッフ向けに実施した、平成15年度国際交流基金主催事業「スタッフ塾」が好評であった事を受け、再度実施したもの
3	レニ・バツソ公演		The Actors Studio, Bangsar	クアラルンプール	05.03.25～ 05.03.26	レニ・バツソが平成13年に初演し、世界中を巡回している作品「Finks」の公演
【会場提供】						
1	中等教育日本語教師赴任前研修	マレーシア教育省	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.09.07～ 04.09.09	例年マレーシア教育省が、同省の日本語教師養成プログラムで日本に留学した教師に対して、帰国後、各校に赴任する前に行なう研修
【講演・シンポジウム】						
1	ペンペル教授日本研究講演会	マレーシア日本研究学会 Star新聞社（協力）	Cybertorium, Menara Star Gurney Hotel	クアラルンプール ペナン	04.05.28～ 04.05.29	クアラルンプール日本文化センターとマレーシア日本研究学会との共催、当地大手英字新聞社Star協力による日本研究講演会を開催した
2	日研・知的企画開発事業（ウェルフィールド教授講演会）	マレーシア日本研究学会 Star新聞社、ペナン総領事館、ジョホールバル出張駐在館事務所、各大学	Menara Star マレーシア工科大学 マレーシア科学大学	クアラルンプール ジョホールバル ペナン	04.10.07～ 04.10.11	ジョン・B・ウェルフィールド（国際大学大学院国際関係学研究科教授）を講師に迎え、日本研究講演会「日本の外交政策」を実施した
【映画】						
1	定期映画会	在マレーシア大使館 マレーシア観光センター	マレーシア観光センター ミニ講堂	クアラルンプール	04.04.03～ 05.03.19	東アジアフィルムライブラリー所蔵の16mm作品を上映。原則的に毎月第一、第三土曜日に開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	日本映画祭	Golden Screen Cinemas 在ペナン総領事館	Golden Screen Cinemas Mid Valley Golden Screen Cinemas Gurney Plaza	クアラルンプール ペナン	04.06.15～ 04.06.27	小津安二郎、北野武など日本を代表する8名の映画監督の作品上映。クアラルンプール会場では当地で著名な映画・アニメーション制作者であるHassan Muthalib氏によるトークも実施
3	マレーシア・ビデオアワード	マレーシア・ビデオ・アワード・カウンシル	国立美術館講堂	クアラルンプール	04.09.16～ 04.09.16	木下蓮三、久里洋二など日本を代表するアートアニメーション作家の作品10本を“Japanese Classic Animation”として特集上映。広島国際アニメーションフェスティバルのフェスティバルダイレクターである木下小夜子による、各作家についてや、広島のフェスティバルについての講演も実施
4	日研・知的フェローフォローアップ事業（在外事業費）		Golden Screen Cinema Midvalley	クアラルンプール	05.03.15	平成13年度芸術家フェローとして日本に滞在したナジブがそのフェローシップ期間中に撮影したドキュメンタリー作品『Glass Enclosure ～Tokyo Invisible』（邦題：『ガラスの檻』）の上映会
5	日研・知的フェローフォローアップ事業	モハマド・ナジブ・ラザック氏	Golden Screen Cinema Midvalley	クアラルンプール	05.03.15～ 05.03.15	平成13年度芸術家フェローとして日本に滞在したナジブがそのフェローシップ期間中に撮影したドキュメンタリー作品「Glass Enclosure Tokyo Invisible」(邦題：「ガラスの檻」)の上映会
【その他】						
1	一般コンサルティング				04.04.01～ 05.03.31	国内の日本語教育機関からの各種問い合わせに対応

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【日本語教育】						
1	立ち上げ支援小規模教材寄贈		Sekolah Berasrama Penuh Integrasi Kubang Pasu (中等教育) Sekolah Berasrama Integrasi Mersing (中等教育) Kolej Universiti Kejuruteraan & Teknologi Malaysia	クアンタン、ジョホール、ケダ	04.04.01～ 05.03.31	新規に日本語講座を立ち上げた教育機関に対し、必要最小限の教材確保を支援する目的で小規模の教材寄贈を実施
2	高校生日本語弁論大会	マレーシア教育省、マレーシア日本人商工会議所、クアラルンプール日本人会、在マレーシア大使館	クアラルンプール日本人会講堂	クアラルンプール	04.04.25	高校生を対象とした日本語弁論大会。従来は一般カテゴリーに参加せざるを得ず、不利を被っていた高校生を別カテゴリーとすることで、参加へのインセンティブを高めることを目的として本年度より実施。優勝者はNPO法人エデュケーション・ガーディアンシップ・グループ主催の「海外高校生による日本語スピーチコンテスト」に参加する
3	プロジェクト対応型コンサルティング	マレーシア科学大学 (USM) マレーシア・サバ大学 (UMS)	マレーシア科学大学 マレーシア・サバ大学	ペナン コタキナバル	04.04.26～ 05.03.31	マレーシア科学大学が進めている教科書作成プロジェクトに対する協力。計画の最初期段階からクアラルンプール日本文化センター主任講師が助言をおこなった。また、マレーシア・サバ大学において計画されている口頭能力評価法検討プロジェクトについては、今年度より日本語担当教師による勉強会開催という形で開始
4	講読会第1回		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.05.09	9月から開始する上級日本語通信講座へのスムーズな導入を図るため、論文の購読能力を向上させる目的で実施。同講座を受講予定の8名全員が参加した
5	第1回北部地域日本語教育キャラバン		ペナン日本語協会	ペナン	04.06.12～ 04.06.13	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。全国3カ所で1年間に各2回実施するうちの北部における1回目

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
6	通信講座・スクーリング		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.06.14～ 05.01.31	遠隔地に居住する日本語教師の日本語能力向上を図るための通信講座を実施。日本語能力試験2級程度の日本語力を持つものを対象とし、1級合格を目指す程度の日本語力をつけることを目的とする
7	第1回東海岸・南部地域日本語教育キャラバン		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.06.26～ 04.06.27	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。全国3カ所で1年間に各2回実施するうちの東海岸・南部を対象とした1回目。参加者が集まりやすいクアラルンプールで開催し、人数的に余裕があったため、クアラルンプール近郊の教師も参加した
8	購読会第2回		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.07.04～ 04.07.04	9月から開始する上級日本語通信講座へのスムーズな導入を目的とする購読会の2回目。上級日本語通信講座受講予定者8名のうち5名が参加。2部構成とし、第1セッションは文献から自分が必要とする情報を的確に抽出する能力を向上することを目指したレクチャー、第2セッションでは自らの研究課題・問題意識の発表を行なった
9	第1回東マレーシア地域日本語教育キャラバン		マレーシア・サバ大学	コタキナバル	04.07.17～ 04.07.18	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。全国3カ所で1年間に各2回実施するうちの東マレーシアにおける1回目。参加者は、大学、民間の日本語教育機関で日本語教育に携わるマレーシア人、および、日本人日本語教師で、計10名。ワークショップの形式を取り入れ、参加者が主体的に取り組めるように配慮した
10	日本語弁論大会一般の部	マレーシア日本人商工会議所、クアラルンプール日本人会、在マレーシア大使館、ペナン日本語協会、ペラ馬日友好協会、在ペナン総領事館、在コタキナバル総領事館、他	エクセルシオールホテル ペナン福祉協会 コンプレックス マレーシア・サバ大学 クアラルンプール日本人会講堂	イポー ペナン コタキナバル クアラルンプール	04.08.15～ 04.08.29	オープンカテゴリーの弁論大会。クアラルンプール日本文化センターはクアラルンプール首都圏・南部地区の地方大会および全国大会を共催

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
11	第2回みんなの日本語セミナー	マレーシア日本語協会 在マレーシア大使館 マラヤ大学言語学部	マラヤ大学言語学部	クアラルンプール	04.09.18～ 04.09.19	日本語未習者および初級・中級学習者を対象にした、日本語紹介イベント。延べ350名が参加。2日間で44の授業及び講義を実施したほか、折り紙や生け花などの日本文化紹介も行なわれた
12	日本語弁論大会予備教育の部	マレーシア日本人商工会議所、 クアラルンプール日本人会、 在マレーシア大使館	クアラルンプール日本人会	クアラルンプール	04.10.03	日本留学予備教育課程在学中の学生による弁論大会
13	第2回東マレーシア地域日本語教育キャラバン		ホリデーイン・ホテル	クチン	04.10.16～ 04.10.17	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催した。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した
14	日本語教育研究発表会・浦和教師研修報告会		クラウン・プリンス・ホテル	クアラルンプール	04.10.30	日本語教育関係者に広く研究発表の機会を提供すること、研究や実践の成果を広く共有できるようにすることおよび浦和教師研修の参加者に研修成果を現場に還元する責任を自覚してもらうとともに、研修OB間のネットワークを強化すること、また、研修に参加したことのない教師に研修について知ってもらう機会を提供することを目的に開催
15	評価委員会		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.11.04	クアラルンプール日本文化センターが2004年（暦年）に実施した日本語関連在外事業の評価および提言をおこなう有識者会議。マラヤ大学言語学部のChoi教授を座長とし、教育省、マレーシア科学大学、マレーシア工科大学高専留学予備教育、ペラ馬日友好協会から各1名の代表が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
16	第2回北部地域 日本語教育キャラバン		ペナン日本語協会	ペナン	04.12.18～ 04.12.19	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催した。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した
17	日本語教師ネットワーク形成支援		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.02.05～ 05.02.05	日本語教師ネットワーク形成に関心を示した24名が参加し、今後のマレーシアでのネットワークングのあり方を協議した
18	第2回東海岸・南部地域日本語教育キャラバン		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.02.19～ 05.02.20	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催した。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した
19	中等教育教科書シラバスワークショップ	マレーシア教育省	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.03.01～ 05.03.03	マレーシア教育省では当センターの協力のもと、2004年より中等教育向けの新シラバス作成を開始している。2005年に入り、新シラバスに基づいた新しい教科書の作成が決定したので、具体的な方法を検討するためのワークショップをマレーシア教育省と共催で開催した
20	日本語教育セミナー		マラヤ大学予備教育部 (AAJ)	クアラルンプール	05.03.05～ 05.03.06	マレーシア全土の日本語教師を対象とするセミナー。中等教育機関、高等教育機関、予備教育機関、一般成人を対象とした民間日本語教育機関それぞれから、マレーシア人日本語教師および日本人日本語教師、計88名が参加した。テーマは「日本語教育における文化について考える」
21	上級日本語通信講座・スクーリング		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.05.09～ 05.02.18	マレーシアの日本語教育の中核となる教師の育成を目的として、研究を行ないうる日本語能力の習得をめざす日本語上級レベルの通信講座を実施。原則として日本語能力試験1級程度の日本語力を持ち、今後、マレーシアにおける日本語教育の発展に貢献することが期待されるノン・ネイティブの教師を対象とした

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【図書館運営】						
1	図書教材購入サテライト・リソースセンター(SRC)	ペナン日本語協会 ペラ馬日友好協会	ペナン日本語協会 ペラ馬日友好協会	ペナン イポー	04.04.01～ 05.03.31	クアラルンプール日本文化センター図書館の分館として、ペナンとイポーに「サテライト・リソースセンター」を設置し、最新教材等へのアクセスを付近の日本語教師に提供
2	図書教材購入JFKLリソースセンター		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.04.01～ 05.03.31	クアラルンプール日本文化センター図書館に配架する日本語教材の購入
3	文化事業部ニューズレター発行				04.04.01～ 05.03.31	文化事業部のニューズレター「TEMAN BARU」を年6回発行し、文化事業部の活動紹介を行った。また、JFKLメンバーに対しては「図書館だより」と共に各号を郵送した
【出版・広報】						
1	日本語事業部ニューズレター発行				04.04.01～ 05.03.31	日本語事業のニューズレター、「ブンガラヤ」を年4回発行。日本語関連事業の紹介の他、新刊教材の紹介、学校紹介、教案のヒントなどを掲載
2	ジャパン・フェスティバル参加	在マレーシア大使館 クアラルンプール日本人会 マレーシア日本商工会議所 東方政策留学生同窓会等		マレーシア全域	04.07.01～ 05.01.31	毎年恒例となった、ジャパン・フェスティバル・イン・マレーシア2004の開催。 フェスティバルを日馬共同で開催することにより、マレーシアの人々の日本理解の促進を目的とするもので、今年で第12回目となる
【教室事業】						
1	一般日本語講座		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.04.27～ 05.03.11	一般向けの日本語講座。民間学校では実施されていない中級～上級レベルの3クラスを開講
2	日本語教師養成理論実習講座		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.05.05～ 05.03.16	日本語能力試験1級程度の日本語能力があり、将来日本語教育に携わりたいことを目標としている未経験者あるいは経験の浅い教師（原則マレーシア人）を対象に、初級コースの日本語を教えることができる能力を養成することを目標に開講

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【その他】						
1	お月見茶会	裏千家茶道同好会	クアラルンプール日本文化センター ロビー	クアラルンプール	04.10.08～ 04.10.08	一般の方々を対象としたお茶会。お月見ということで、クアラルンプール日本文化センターのロビーにて立礼式にて行なわれた
【本部事業受入】						
1	KL国際文学祭 (在外事業費分)	Silverfishbooks Sdn. Bhd. オーストラリア 大使館 MACLAS	Renaissance Hotel Malaysia Tourism Centre	クアラルンプール	04.07.29～ 04.08.01	1.作家、小林恭二氏による俳句ワークショップ、ならびに日本の現代文学に関する講演。2.日本の小説を原作とした映画の上映会。作品は、『二十四の瞳』、『細雪』、『金閣寺』、『海と毒薬』の4本

8. クアラルンプール日本文化セン (2)助成・協力事業

合計額 1,305,457円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	事務所小規模助成 ("From Ukiyo-e to Anime")	国立美術館	04.06.11～ 04.07.11	昨年度文化庁が開催した「マンガフォーラム」に参加した3名 (Hassan Muthalib (アニメーター) Zanita Anuar (国立美術館 Director of Research & Development) Salmah Abu Mansor (UTM 教授)) が企画した展覧会。日本における浮世絵から漫画・アニメへの影響と、その日本アニメの、マレーシアのアニメーションに対する影響を考察するもの。 期間中は展示のみでなく森下明彦 (神戸芸術工科大学視覚情報デザイン学科教授) を招いての講演やパネルディスカッションが企画され、来場者のより深い理解を促す試みがなされた
2	The 2nd International Conference on Language, Linguistics and the Real World	マラヤ大学言語学部	04.12.07～ 04.12.09	マラヤ大学言語学部が第2回国際言語会議をPJHiltonで開催。日本から井出祥子 (日本女子大学文学部教授) が招へいされ講演を行なった
3	The 1st International Language Learning Conference 2004	マレーシア科学大学言語翻訳センター	04.12.16～ 04.12.18	日本語教育をはじめとした各国語教育において教授法、教室運営などを中心に議論する。クアラルンプール日本文化センター講師が分科会で発表した

海外事務所

	事業名	協力対象団体	期間	内容
4	日研・知的企画 開発事業（小規模 助成）	マレーシア日本 研究学会	05.02.28～ 05.02.28	5名の日本研究者による、日本の外交政策についてのペーパープレゼンテーションおよび聴衆との質疑・応答
【講演・シンポジウム】				
1	第2回国際言語・言語学会議 （マラヤ大学言語学部）	マラヤ大学言語学部	04.12.07～ 04.12.09	マラヤ大学言語学部との共催で第2回国際言語会議をPJHiltonで開催。日本から井出祥子（日本女子大学文学部教授）を迎え、講演を行なった
2	第1回国際言語教育会議（マレーシア科学大学）	マレーシア科学大学、マレーシア教育省、ペナン州教育局	04.12.16～ 04.12.18	日本語教育をはじめとした各国語教育において教授法、教室運営などを中心に議論する。海外から宮崎聡（早稲田大学院日本語教育研究科教授）が招へいされた
【その他】				
1	RSシラバス会議	マレーシア教育省	04.04.01～ 05.03.31	マレーシア教育省が進めている中等教育用新シラバス作成作業に対する協力。クアラルンプール日本文化センターの日本語教育専門家が全ての作業会議に出席し、助言を行なうとともに、経費の一部を負担した
2	中等教育統一試験への協力	マレーシア教育省	04.07.20～ 05.03.04	マレーシア教育省が実施する、中等教育日本語統一試験への協力。クアラルンプール日本文化センターの日本語教育専門家が会議に出席し、作成委員会メンバーに対して助言を行なった。また、聴解試験のためのテープ録音に当センターの日本語教育専門家及び講師が協力した。試験当日には、専門家がテスト会場に出張し、実施状況を視察した。また採点作業会議の会場を提供した
3	シンガポール教育セミナー	シンガポール日本語教師会	04.11.16～ 04.11.17	シンガポール日本語教師の会主催セミナーへの出講依頼に応じ、クアラルンプール日本文化センター主任講師を派遣した

9. シドニー日本文化センター	(1)主催・共催事業
-----------------	------------

合計額 39,059,093円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	[kyudo] graphy	Parisydneytokyo	シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー		平成17年度事業として2005年4月に実施する予定の標記プロジェクトに対する広報・宣伝
2	筒書き友禅	小林秀明（筒書き友禅作家）	シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー		平成17年度事業として2005年5月に実施する予定の標記プロジェクトに対する広報・宣伝経費および作品輸送

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
3	日本の神話展	池田	シドニー日本文化センター旧ギャラリー	シドニー	04.03.22～ 04.04.30	平成15年度に引き続き、グラフィック・デザインのDVDイメージと音楽により「古事記」の世界を再現した展示会を開催
4	生け花インターナショナル（小原流）	生け花小原流	シドニー日本文化センター旧ギャラリー	シドニー	04.05.24～ 04.05.27	シドニー日本文化センター・ギャラリーにて生け花のデモンストレーションと、展示会を開催した
5	写楽再見		シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー	04.09.09～ 04.10.13	シドニー日本文化センター移転記念事業の一環として、新ギャラリーにて現代を代表する作家が写楽の作品に新しい解釈を加えたグラフィック・デザイン、絵画、オブジェクトからなる巡回展を実施。オープニングでは、琴、韓国太鼓、ディジュリドゥ（オーストラリア先住民の楽器）の日豪の奏者によるコラボレーションで、音楽による写楽の解釈も同時に行なった
6	プロダクションIG「アニメ展」	プロダクションIG MADMAN	シドニー日本文化センター・新ギャラリー バルハラ・シネマ	シドニー	04.11.04～ 04.12.17	オーストラリア大手アニメ配給会社MADMAN（同展示会スポンサー）との共催で、カンヌ映画祭のコンペ部門で日本アニメとしては初めて上映された『イノセンス』を今回の展示イベントの一環として特別プレミア上映会を開催。押井守監督（攻殻機動隊、イノセンスなど）、石川光久氏（プロダクションIG・CEOおよびプロデューサー）を招へいした
7	クレイワーク展		シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー	05.01.28～ 05.02.25	シドニー日本文化センターギャラリーにて、海外巡回展「日本のクレイワーク展」を実施した。オープニングはシドニー在住の陶芸家小路光男氏を招き、現代日本のクレイワークの系譜につ解説を行なった
【公演】						
1	TSUNAMIチャリティコンサート	在シドニー日本関係アーティスト	シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー		平成17年度事業として2005年4月15日に実施する予定の標記プロジェクトに対する広報・宣伝
2	事務所オープニングイベント		シドニー日本文化センター・新ギャラリー チフリー・スクエア サーキュラー・キー	シドニー	04.08.27	U-Stage、ジャグラーPepper Zero、ウクレレ・えいじ、マイム・アキラが前宣伝を兼ねたプレ・イベントを実施。シドニー日本文化センターメンバーおよびVIPを中心に立ち見も含め230名（満席）が出席

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
3	ダーリングハーバー公演 (U-STAGE)		ダーリング・ハーバー・アンフィ・シアター	シドニー	04.08.29	シドニー日本文化センター・グランド・オープニング事業に出演したU-Stageによる野外パフォーマンス
4	ジャパンナイト公演 (U-STAGE)	ビジット・ジャパン シドニー・オペラ・ハウス	シドニー・オペラ・ハウス	シドニー	04.08.29	シドニー日本文化センター・グランド・オープニング事業に出演したU-Stageをシドニー・オペラ・ハウスで行われたジャパン・ナイトに参加させた
5	SCHOOL VISIT (U-STAGE)	デビットソン・ハイ・スクール キラニー・ハイツ・ハイ・スクール	デビットソン・ハイ・スクール キラニー・ハイツ・ハイ・スクール	シドニー	04.08.31	シドニー日本文化センター・グランド・オープニング事業に出演したU-Stageによる学校訪問、ワークショップ
6	日豪会議文化紹介事業	豪州外務通商省、在豪大使館	パーク・ハイアット・ホテル	メルボルン	05.02.10	第3回日豪会議のダウンナー豪州外相主催夕食会の前に、シドニー日本文化センター主催日本文化紹介事業として、琴(小田村さつき)、ディジュリドゥ(マシュー・ドイル)、テナー・サクソ(サンディ・エバンス)による日豪コラボレーションの演奏会を行なった
7	WONDERBUS JAPAN	在豪大使館、ヤング、ウォドンガ、シェパートン、バララット、ウォナンブール、マウント・ガンビア各市政府	キャリントン公園 ウォドンガ小学校 プリンセス公園 他 聖パトリック・カレッジ聖ヨハネ小学校	ヤング ウォドンガ シェパートン バララット ウォナンブール マウント・ガンビア	05.03.07～ 05.03.20	普段日本文化に接する機会の少ない豪州の地方都市(町)において、和太鼓、民謡踊り、空手、茶道、折り紙、書道、日本映画等のパフォーマンス(上映)およびワークショップを、トレーラー付きマイクロバスで巡回しながら実施し、豪州の人々とのフェイス・トゥ・フェイスの交流を図った
【映画】						
1	第3回YOUTH FILM FESTIVAL	日本映画学校 シドニー工科大学 オーストラリア国立映画学校	シドニー日本文化センター 多目的ルーム	シドニー	04.09.17	日本映画学校、シドニー工科大学、オーストラリア国立映画学校との共催で、日豪の学生が制作した卒業作品の映画を上映。今年度よりコンペティションを採用し、最優秀作品の監督には35ミリフィルムが贈呈された

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
2	第8回豪州巡回 日本映画祭	在全豪公館他	National Gallery of Australia ACMI Cinemas Alexander Library Building Theatre South Bank 5 Cinemas	キャンベ ラ メルボル ン パース ブリスベ ン	04.10.13～ 04.11.26	第8回目を迎えた巡回日本映画祭は、2004年10月13日よりキャンベラを皮切りに、オーストラリアの5都市で開催。各都市ともほぼ90%以上の入場者を記録し、全豪で約6,500人の動員があった
【日本語教育】						
1	ニューズレター 発行 (Dear Sensei)			シドニー	04.04.01～ 04.09.30	ニューズレター Dear Senseiの発行。第46号、第47号、各2,500部を発行した
2	日本語教育補助 教材制作および 補助	NSW州美術館			04.04.01～ 05.03.31	これまでシドニー日本文化センターで開発してきたActivity ResourceをCD-ROMにまとめ、また同センターのHP上の掲載した。 また、今年度からNSW州Art Galleryと共催で、「日本の美術」をテーマにした、初・中等教育用の日本語教材の開発に着手した（完成は2006年度）
3	日本語教育研修 会支援	各州教育省、各 州私立学校教 会、各州日本語 教師会		オースト ラリア内 各都市	04.04.01～ 05.03.31	各州で主催される日本語教育研修会に、シドニー日本文化センターの講師3名が出張し、セッションなどを行なった。本年度はニューサウスウェールズ州、タスマニア州、NZに各2回、首都特別地域、南オーストラリア州、クィーンズランド州、西オーストラリア州、ピクトリア州各1回と計11回の出張を実施した
4	日本語教育研修 会支援 (ニュー ジーランドセミ ナー出講)	NZ教員養成校 協議会 (ACENZ)	市内研修施設、 ホテル	ハンマー スプリン グス、ロ トルア	04.04.21～ 04.04.24	ACENZに派遣されている国際交流基金専門家が中心になってニュージーランドの2都市で合宿形式の教師研修を企画し、これにシドニー日本文化センターから専任講師と派遣専門家が出講した。初等、中等教育課程教師約35名が参加し、発音に関する授業とシドニー日本文化センターが制作した大型絵本教材Big Bookの使い方をテーマにしたセッションが行なわれた

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
5	日本語教育研修会支援 (NSW州ノースコースト地区セミナー出講)		サザンクロス高校	バリナ	04.05.15	研修機会の少ないノースコースト地区の日本語教師を対象に、1日の研修会を実施。今回は中等教育課程教師10人を対象に、「インターネットと日本語」というテーマでセッションを行なった。シドニー日本文化センターからは主任講師が出講した
6	日本語教育研修会支援 (NSW州ハンター・セントラルコースト地区セミナー出講)		市内研修施設、ホテル	メイトランド、ゴスフォード	04.05.25～ 04.05.26	研修機会の少ないハンターおよびセントラルコースト地区の日本語教師を対象に、放課後の研修会を実施。今回は中等教育課程教師を対象に、シドニー日本文化センター制作教材「でかでかゲームシート」の紹介と「アニメで日本語」と題するセッションを行なった。参加者はハンター地区23人、セントラルコースト地区8人、シドニー日本文化センターからは主任講師と専任講師が出講した
7	日本語教育研修会支援 (南オーストラリア州セミナー出講)	南オーストラリア州日本語教師会 (JLTASA)	Education Development Centre	アデレード	04.06.18～ 04.06.19	南オーストラリア州日本語教師会による、小・中・高等学校の日本語講師を対象とした研修会に、シドニー日本文化センターより主任講師と専任講師が出講した。参加者は、約140名
8	日本語教育研修会支援 (西オーストラリア州兵庫交流センターセミナー出講)	西オーストラリア州兵庫交流センター (主催) 西オーストラリア州教育省 (協力)	西オーストラリア州兵庫交流センター	パース	04.06.21	同州内の初中等課程日本語教師40名を対象に、日本語運用力の向上を主な目的とした1日の研修会を実施した。西オーストラリア州教育省派遣専門家を中心となって協力し、シドニー日本文化センターからも派遣専門家が出講した
9	対ニュージーランド事業 (NZセミナー出講、学会出席)	NZ言語教師会、NZ日本語教師会		オークランド、クライストチャーチ	04.07.03～ 04.07.07	クライストチャーチで開催されるNZ言語教師会Biennial International Conferenceにシドニー日本文化センターの主任講師が出講し、「Authentic resources for the Japanese classroom」と「Authentic Resources and Task Design」という2セッションを行なった
10	情報交流 (学会出席、日本語教育学会)		日本語教育国際研究大会 (昭和女子大) 日本語国際センター	東京、さいたま	04.08.04～ 04.08.14	オーストラリア国内だけでなく、世界の日本語教育事情の情報収集を図るべく、シドニー日本文化センターの主任講師が日本で行なわれた日本語教育国際研究大会に出席。また、日本語国際センターにおいて、情報交換を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
11	情報交流（学会出席、TAS州MLTAT）	Modern Language Teachers Association of Tasmania	Ulverstone Civic Centre	Ulverstone	04.08.20～ 04.08.21	MLTLT主催の年次大会にシドニー日本文化センターの派遣講師が出講し、セッションを行なった。なお、本大会はModern Languageの教師が集まる大会であるので、日本語以外の言語のセッションも行なわれた
12	NSW日本語弁論大会	在シドニー総領事館、アシックス、キャノン、JALパック、紀伊国屋書店、ソニー	シドニー日本文化センター	シドニー	04.09.05～ 04.09.05	今回で35回を迎えた州レベルの弁論大会。NSW州の高校、大学生36名がシニア、オープン・ビギナー、オープン、バックグラウンド・スピーカーの4部門で競い合った
13	日本語教育短期研修会		シドニー日本文化センター	シドニー	04.09.28～ 04.10.01	シドニー日本文化センターが主催している日本語教育研修会。全豪各州から14名、ニュージーランドから6名の計20名が参加
14	全豪日本語弁論大会	在豪大使館、豪日交流基金、JAL、JR東海、キャノン、アシックス、ソニー、紀伊国屋書店	シドニー日本文化センター	シドニー	04.10.17～ 04.10.17	国内各州の大会を勝ち抜いた18名の代表が、4部門（高校シニア、オープン・ビギナー、オープン、バックラウンド・スピーカー）で競い合う全豪決勝大会。35回目を迎えた
15	日本語教育フォーラム	在シドニー総領事館、NSW州教育省	シドニー日本文化センター	シドニー	04.11.20～ 04.11.20	NSW州の幼児、小・中学生が日頃の日本語学習の成果をそれぞれの創意工夫で発表する会。寸劇や歌が中心ではあるが、ビデオエントリーも可。学習成果を絵画・工作などで表現する展示部門を併設している。今回で日本語発表会は8回目、アート展示会は5回目を迎えた
16	評価委員会開催	各州教育省、私立学校協会	シドニー日本文化センター	シドニー	04.11.26～ 04.11.26	各州教育省、私立学校協会からの代表者を招き、各州の日本語教育の現状を聞き、同時にシドニー日本文化センターの日本語教育事業に関する協議や意見交換を行なった
17	日本語教育通信講座				05.01.01～ 05.03.31	日本語を母語としない教師が自分の時間に日本語運用力の向上を図れるよう、オンラインによる日本語講座を開発予定（完成は平成17年度中）。このオンライン講座により、特に、初級の学習事項を身につけていない教師が、日本語を体系的に整理し、その基礎を身につけ、教室で日本語をある程度自信をもって教えられるようになることを目指した

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
18	日本語教育短期研修会（1月）		シドニー日本文化センター	シドニー	05.01.10～ 05.01.14	シドニー日本文化センター Language Sectionが主催する最大規模の日本語教育研修会。全豪各州から18名、ニュージーランドから6名の計24名が参加
19	日本語教育研修会支援（TAS出講）		Letitia House Mt Nelson	ホバート	05.01.26～ 05.01.28	昨年秋に行なった、インテンシブセミナーに参加できなかったTAS州の日本語教師向けに、シドニー日本文化センターの専任講師が出講して、2日間の研修会を行なった。参加者はTAS州内の初等課程を中心とした日本語教師8名
20	日本語教師研修会支援（AISQ出席）	Brisbane Catholic Education	Father Bernard O'Shea Centre	ブリスベン	05.02.17～ 05.02.19	QLD州カトリック・私立系の小・中・高等学校の日本語教師約50名を対象に行なわれた3日間の日本語セミナーに、シドニー日本文化センターの講師2名を派遣
21	発音セミナー		シドニー日本文化センター	シドニー	05.03.08～ 05.03.08	シドニー市内の日本語教師を対象とした放課後の発音セミナー。約20名の参加があり、日本語発音練習方法やイントネーションの実際などについて、シドニー日本文化センターの派遣専門家が講義を担当
22	日本語教師研修会支援（AFMLT出席）	ビクトリア州日本語教師会（JLTAV）	Hemisphere Conference Centre	メルボルン	05.03.18～ 05.03.19	VIC州の日本語教師会（JLTAV）の州大会にシドニー日本文化センターの主任講師を派遣し、セッションを行なう。セッションのテーマは、シドニー日本文化センターで制作したActivity Resourceである『でかかゲームシート』の使い方、この内容にそって、Middle Years（Year5～9）とSenior Secondary（Year11～12）に合わせて、二セッションをワークショップ形式で行なった
【図書館運営】						
1	図書館運営費		シドニー日本文化センター図書館	シドニー	04.04.01～ 05.03.31	2004/4/1～5/31まではノース・シドニー・オフィス、2004/6/1～10/11までは移転業務のため閉館、2004/10/12より移転先にて新図書館開館。年間入場者数5,555人、年間アクセス件数5,908人、年間開館日数152日、今年度新規会員数538名、資料総点数15,544点、年間貸出総点数3,882点

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【出版・広報】						
1	ホームページ			シドニー	03.10.01～ 03.12.31	イベント紹介・映画上映会プログラム・グラントプログラム申請案内・ニュースレター（Across the sea）紹介・図書館情報・メンバーシップ案内・在豪日本人芸術家ディレクターなど
2	ニュースレター 発行（おむすび）				04.04.01～ 05.03.31	文化セクション季刊誌「Across the Sea」第52、53号（4,000部）、日本語セクション季刊誌「Dear Sensei」（4,000部）第46、47号をそれぞれ発行後、両誌を統合しシドニー日本文化センター新季刊誌「OMUSUBI」（5,000部）を10月に創刊。第2号まで発行
3	ニュースレター 発行（ACROSS THE SEA）				04.04.01～ 05.03.31	文化セクション季刊誌「Across the Sea」第52、53号（4,000部）、日本語セクション季刊誌「Dear Sensei」（4,000部）第46、47号をそれぞれ発行後、両誌を統合しシドニー日本文化センター新季刊誌「OMUSUBI」（5,000部）を10月に創刊。第2号まで発行
【教室事業】						
1	書道教室		シドニー日本文化センター・多目的ルーム	シドニー	04.11.06	シドニー日本文化センターメンバー向け日本文化教室の一環として書道教室を実施した
【その他】						
1	JSAA	豪州日本研究学会	シドニー日本文化センター多目的ルーム	シドニー	04.03.21	第14回豪州日本研究学会総会（通称JSAA、平成17年7月実施予定）に向けての予備会議をシドニー日本文化センター多目的ルームにて開催

9. シドニー日本文化センター (2)助成・協力事業

合計額 2,498,206円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	Australian Network for Japanese Law	オーストラリア日本法ネットワーク	04.02.01	オーストラリア日本法研究ネットワーク（通称ANJeL。オーストラリア国立大学、シドニー大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学の各法学部の日本法研究者による横断的組織）の主催する日本法に関するセミナーに対する助成を実施
2	日本語教育セミナー助成	Northern Territory School of Languages	04.03.12～ 04.03.12	“Strategies of Success in the Teaching of Japanese”と題する研修会に対して、参加者の旅費および代替教師雇用費を中心に助成。シドニー日本文化センターからは派遣専門家も出講。参加者は12名で、うち日本人が9名。教授技能の向上を目的とした授業のほか、インターネットを使った日本語教育を紹介するハンズオンのセッションやアイデアシェアリングを実施
3	日本語教育セミナー助成	タスマニア州教育省	04.05.14～ 04.05.14	「ちょっとチャットキャンベル」という研修会に対して、地方参加者の交通費並びに会場借料の一部を助成。同セミナーは中等教育後期の教師の日本語力の向上と新しいCMなどの教材を紹介することを主な目的として開催された
4	LES CHEFS HUILES	ワガワガ・アート・ギャラリー	04.06.12	ワガワガ・アート・ギャラリーで開催された標記展示会のオープニングで琴の演奏のために招へいされた小野しょうこの旅費の助成を実施
5	日本動画協会DVDサブタイトル作成	日本動画協会	04.07.20～ 04.07.31	アニメ作品「人狼」を素材とし、セル・アニメーションの制作過程をまとめたDVD「セル・アニメーションの制作工程の記録」の英語字幕制作に対し助成。同DVDはシドニー日本文化センター主催「プロダクションIGアニメ展」でも放映
6	ブリスベン国際映画祭	太平洋フィルム・テレビ・コミッション・フェスティバル・イベント事務局	04.07.27～ 04.08.08	同映画祭に招へいされた『バイプレーター』の監督の渡航費用の一部を助成
7	邦楽合同演奏会	クイーンズランド豪日協会	04.08.01～ 04.08.15	メルボルン在住の和太鼓グループ「巴」および在ブリスベンの邦楽演奏家との合同演奏会に対し助成
8	Japanese Cultural Day in Auckland	オークランド・ニュージーランド日本協会	04.08.20～ 04.08.24	ニュージーランド、オークランドで開催された日本文化祭に招へいされたブリスベン在住の尺八演奏家へ助成
9	ドキュメンタリー映画祭(マッコリー大)	マッコリー大学	04.09.15	マッコリー大学主催のドキュメンタリー映画祭に対し助成
10	THE FLOW AGAINST THE GRAIN	Histoire de Voir	04.10.12～ 04.11.12	シドニー日本文化センターが入居しているチフリー・プラザのエントランス・ホールで開催されたシドニー在住の各国料理の著名シェフの肖像画の展覧会（日本出身のシェフは、Tetsuya Wakuda, Toshi Ishii）に対し助成

	事業名	協力対象団体	期間	内容
11	シドニーフェスティバル	シドニー・フェスティバル事務局	05.01.01～ 05.01.31	シドニー・フェスティバルの一環としてシドニー・オペラ・ハウスのスタジオで行なわれた、日本のテクスタイル作家のインスタレーションとミュージカル「メモリー・オブ・カラー」の共演に対し助成
12	アデレードフィルムフェスティバル	アデレード国際映画祭事務局	05.02.18～ 05.03.03	アデレード国際映画祭に対し助成
13	マルチカルチュラルフェスティバル	アーリー・ミュージック・エンタープライズ	05.02.19～ 05.02.20	キャンベラで開催されたマルチ・カルチュラル・フェスティバルに対し助成
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
1	フィルムライブラリー	在外公館	04.04.01～ 05.03.31	太洋州フィルム・ライブラリーより16ミリフィルムの貸し出し。豪州国内外合計24件・48本を提供
【その他】				
1	オーストラリアアジア研究学会(ASAA)出席		04.06.29～ 04.06.30	隔年開催の同大会に、オーストラリア内外のアジア研究、アジア言語教育関係者が集った。シドニー日本文化センターからは日本語教育担当職員が出席し、アジア言語教育に関わる情報収集を行なった

10. トロント日本文化センター	(1)主催・共催
------------------	----------

合計額 6,673,600円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	「歌枕」展		トロント日本文化センター	トロント	04.05.08～ 04.07.08	5月1日から31日にかけてトロントで行なわれた第8回 CONTACT 写真祭の一環として開催したもので、ロンドンを中心に活躍する写真家ジョン・トラン氏が歌枕の地を訪れ、日本の和歌・文化を育んだ風土の現在の姿を撮影した作品約30点を和歌の英訳と共に展示
2	高円宮写真展	在京カナダ大使館	トロント日本文化センター	トロント	04.07.20～ 04.08.14	高円宮殿下がクイーンズ大学（キングストン）留学中、カナダ旅行時に撮影された写真29点を、殿下による説明文、高円宮妃殿下によるエッセイおよび殿下ご臨席のもと開催されたトロント日本文化センター開所式の写真10点と共に展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	アニメポスター展		トロント日本文化センター	トロント	04.09.13～ 04.10.27	トロント国際映画祭の開催にあわせ、9月13日から10月27日の間、アニメポスター展「少女パワー」を開催。同展では日本のアニメに登場するヒロインに焦点をあて、宮崎駿監督作品をはじめ計39点のアニメポスターを展示した
4	現代グラフィックデザインポスター展		トロント日本文化センター	トロント	04.11.25～ 05.03.24	グラフィックデザインポスター展シリーズ第7弾として亀倉雄策作品展「Graphic Giant: Yusaku Kamekura Poster Exhibition」を開催。展覧会では、亀倉氏のポスター作品から厳選した代表作60点余りを展示した
【講演・シンポジウム】						
1	日本研究レクチャー I		トロント日本文化センター	トロント	04.11.12	John Meehan (レジャイナ大学歴史学部準教授) による講演「Pacific Beginnings: Canada Encounters Japan, 1929-1941」を開催
2	日本研究レクチャーII		トロント日本文化センター	トロント	05.01.21	井川スミス文子(元マギル大学教授)を招き、「Clay Figurines of Kamegaoka 亀ヶ岡式土偶」をテーマとした講演会を実施
3	日本関係資料担当司書ワークショップ		トロント日本文化センター	トロント	05.01.29	カナダの大学図書館で日本関連図書を専門に扱う司書12名を集めて、現状報告と情報交換を行なった
4	日本研究レクチャーIII		トロント日本文化センター	トロント	05.03.18	Lammare (マギル大学教授)を迎え、「OTAKU アニメのプロデューサー的ファン」というテーマで講演会を実施。Lamarreは、マギル大学の元東アジア研究学部部長で、平安文学、無声映画やアニメを専門としている
【映画】						
1	歌舞伎舞踊DVD上映会	演劇専門書店 Theatre Books Marty Gross Film Productions	トロント日本文化センター	トロント	04.05.29	坂東玉三郎歌舞伎舞踊DVDの上映会を開催。トロントではこれまで写真資料でしか紹介されることがなかった坂東玉三郎の舞台を映像で紹介し、「鶯娘」「楊貴妃」「鏡獅子」「娘道成寺」から各20分程度選りすぐりの場面上映した

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	劇映画・文化映画上映会		トロント日本文化センター	トロント	04.07.21～ 04.08.04	日本の様々な側面を紹介するドキュメンタリー上映会「Documentary Japan」を7月21日から8月4日にかけて開催。在日韓国家族の葛藤を描いた長編ドキュメンタリー「Osaka Story」の他、日本の文化・社会問題・歴史等を紹介するドキュメンタリー計17本を上映した
【日本語教育】						
1	日本語アートコンテスト	にほんごアートコンテスト実行委員会	トロント日本文化センター	トロント	04.10.02	2003年度国際交流基金在外邦人日本語教師研修においても研究された「にほんごアート」を、オンタリオ州の初中等日本語学習者に対して、コンテスト形式で紹介したところ、2004年6月30日の締め切りまでに計6校から135点の作品が提出された。そのコンテスト入賞者の表彰式、およびレセプションを開催
2	日本語教師情報交換会		トロント日本文化センター	トロント	04.11.13	トロント近郊の日本語教師を対象にした情報交換会。オークリッジ高校教師ドナ・ロビンソン氏による、教室内アクティビティについてのワークショップ「Interactive Overheads」、および日本語国際センターの日本語教師研修参加者による体験報告会を行なった。参加者は19名
【図書館運営】						
1	図書館運営費		トロント日本文化センター	トロント		第1四半期来館者数：5,637名 第2四半期来館者数：6,188名 第3四半期来館者数：5,718名 第4四半期来館者数：5,104名

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【その他】						
1	企画開発事業 (現況・ニーズ調査)		プリティッシュ コロンビア大学 アルバータ大学 アルバータ大 学、アルバータ 教育省 マギル大学 セントメリー大 学	バンクー バー エドモン トン モントリ オール ハリ ファック ス		エドモントン・アルバータ出張：アルバータ大学東アジア研究学科、高円宮日本教育研究センターを視察し、アルバータ教育省を訪問した モンリオール・ハリファックス出張：マギル大学やセント・メリー大学のJapan Studiesを専門とする教授らと面会し、今後の助成システムや各大学におけるJapan Studiesの現状について対談 バンクーバー・エドモントン出張：日本研究調査出張として、プリティッシュコロンビア大学とアルバータ大学を訪問。各大学の東アジア研究学部や図書館の現況などを話し合った
【本部事業受入】						
1	アジア映画紹介 ブースAsian Square	本部主催	トロント日本文化センター	トロント	04.09.09～ 04.09.18	国際交流基金海外日本映画祭主催事業として財団法人日本映画海外普及協会（ユニジャパン）がアジア映画紹介ブース「Asian Square」をトロント日本文化センターイベントホールに設置。 ブース設置期間中には、トロント日本文化センターとユニジャパンの共催で日本映画「誰も知らない」の是枝裕和監督を迎えたレセプションを開催した。総来場者数は111名

10. トロント日本文化センター	(2)助成・協力
------------------	----------

合計額 1,497,597円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	企画開発事業 (小規模助成)	アルバータ大学 マギル大学		アルバータ大学：2005年1月21～22日にThe Prince Takamado Japan Centre for Teaching and Researchで開かれた、日本研究フォーラム「Building Bridges Between Disciplines」の費用の一部を助成。 マギル大学：2005年1月6～8日に開かれた、JPEX:Japanese Experimental Film and Video, 1955-now（学会とフィルム上映会）の費用の一部を助成

	事業名	協力対象団体	期間	内容
2	在外助成 (Image Festival)	Image Festival	04.04.15～ 04.04.24	例年200本を超えるインディペンデント系映画・ビデオ・映像作品を上映するImages Festivalが4月15日から24日にかけて、トロント市内Innis Town Hallで開催された。例年積極的に日本の作品を紹介しており、今年は辻直之監督『闇を見つめる羽』、狩野志歩監督『Lily in the Glass』、西川ともなり監督『Apollo』の3本の短編実験映画が上映された
3	在外助成 (Open Studio)	Open Studio	04.06.24～ 04.07.24	東京在住のアーティスト中田夏子とバンクーバー在住のカナダ人アーティストMaria Anna Parolinの作品展「SuperNatural」が6月24日から7月24日にかけてOpen Studio (トロント) で開催。トロント日本文化センターはオープニングに合わせて来加した中田の旅費の一部を助成
4	在外助成 (リアル・アジア国際映画祭)	トロント・リアル・アジア国際映画祭	04.11.24～ 04.11.28	トロントで毎年開催されるトロント・リアル・アジア国際映画祭を助成。本映画祭は、北米を含む世界各国で制作されたアジア関連映画を上映し、トロント市民のアジアへの関心・認識を深めることを目的としている。2004年度は全17本中4本の日本映画『AZUMI』(北村龍平監督)、『ERA ERA』『POTOLITAM』(清水好美監督)、『FLYING』(長池弘史監督) が上映された
5	在外助成 (New Music Concerts)	New Music Concerts	05.01.09	トロントのCBCグレンゲールドスタジオで開かれた、笙奏者宮田まゆみによる演奏会を助成。この演奏会は、トロントの世界的なフルート奏者、ロバート・エイトケンの主宰による「ニューミュージックコンサート」で、細川俊夫や鈴木和彦が作曲した作品をフルート、アコーディオン、弦楽器とカルテット形式で演奏。また、笙のソロ演奏により伝統的な日本の宮廷音楽である「雅楽」が披露された
6	在外助成 (トロント大学)	トロント大学	05.03.05	トロント大学の東アジア研究学部の大学院生による第5回Annual Graduate Conferenceに小規模助成を行なった。会議は、「Movement: The Cultural Dynamics of East Asia」というテーマで、日本、中国、韓国を研究する学生・教授らが集まり、研究論文の発表、パネルディスカッションなどを行なった
7	在外助成 (Flicks International Film Festival)	Flicks International Film Festival	05.04.07～ 05.04.10	サスカチュワン州サチュカトゥーン市で行なわれたFlicks International Film Festivalに助成。国内外から子供や家族向けの作品を集めて上映する映画祭で、今年は日本からは『NITABO』(西澤昭雄監督) を上映
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
1	文化備品巡回展 (松永真展)	Triangle Gallery of Visual Arts	04.06.18～ 04.08.28	カルガリー (アルバータ州) のTriangle Gallery of Visual Artsで「The Graphic Appetite:松永真ポスター展」が行なわれた。2003年度にトロント日本文化センターで行なった松永真ポスター展で展示した作品のうち約60点を貸与
【その他】				
1	クイーンズ大学 図書寄贈式	クイーンズ大学	04.06.15	クイーンズ大学 (オンタリオ州キングストン) で高円宮殿下特別図書寄贈式典が行なわれた。クイーンズ大学主催、トロント日本文化センター協力事業。本式典では、故高円宮殿下の日加間交流へのご貢献を記念し、殿下がご留学されたクイーンズ大学に図書335点を寄贈した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
2	アジア演劇研究者 (ATHE)懇親会	Association of Theatre in Higher Education	04.07.30	高等教育機関演劇会議「Association of Theatre in Higher Education」(7月29日～8月1日)の開催に合わせ、日本演劇関係者・研究者を招いたレセプションを実施。出席者は27名

11. サンパウロ日本文化センター	(1)主催・共催
-------------------	----------

合計額 17,980,449円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	「能面」展示	ニッケイ新聞社	サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.09.01～ 04.09.10	サンパウロに滞在経験のある久保田松仙師範の能面個展。1989年にサンパウロ市文協ビルで能面個展を行なったこともある。 「能面」をテーマにし、展示オープニングの9月1日にDarc Kusanoの講演、そして9月4日に専門家Angela Nagaiの講演を行なった
2	「パノラマ・デザイン」企画	アニエンビ・モルンビ大学	アニエンビ・モルンビ大学多目的ホール	サンパウロ	04.11.03～ 04.11.05	日本のグラフィックデザインの現状を展示および講演によって紹介。展示はサンパウロ日本文化センター所蔵のポスター展(原研哉、佐藤卓、松永真、田中一光)の一部の約60点によって構成された
3	「亀倉雄策ポスター」展	大竹富江インスティテュート	大竹富江インスティテュート・ホール	サンパウロ	05.02.01～ 05.03.20	日本のグラフィックデザイン界の先駆者でもあり、国際的にも高く評価されたデザイナー-亀倉雄策(1915-1997)のポスター展。戦後日本の復興から現代まで40年間の日本の歴史をデザイン史を通して表現した展示事業。トロント日本文化センターとの共同企画
4	「ブラック・レイン」ライブ・パフォーマンス・映像インスタレーション	大竹富江インスティテュート(共催) 協力:キタニ、SENAC、クアント、CSV,	大竹富江インスティテュート	サンパウロ	05.02.02～ 05.03.20	平成15年度アーティスト・フェロウシップとして日本で芸制作動を行なったブラジル人若手新進アーティストのレイチェル・ロザレンのマルチメディア作品(複合媒体)「ブラック・レイン」の展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
1	「Cherry Blossom Fantasies」公演会	サンパウロ州立住宅博物館	サンパウロ州立住宅博物館・テラス	サンパウロ	04.06.06～ 04.06.06	ニューヨーク在住ブラジル人フルート奏者Cecilia Bordallo CharlierおよびピアニストのFulvio Ferrariの共演による日本現代音楽とヨーロッパ印象派の比較音楽研究の発表。 Eugene Bozzaによる日本伝統音楽、例えば「さくら、さくら」の編曲版等も紹介された
2	「ざくろ・ボンサイ」公演会	サンパウロ州立住宅博物館	サンパウロ州立住宅博物館・テラス	サンパウロ	04.08.15～ 04.08.15	「ざくろ・ボンサイ」公演は日本の民謡、童謡をブラジルのリズムに再アレンジした曲、ブラジル・インディオの唄やオリジナル曲で構成された音楽コンサート。ヨーロッパ、アジア、アフリカ、ブラジルの曲がミックスされ、ジャンルも民謡からジャズ、ブラジル音楽にいたるハイブリッドなコンサートであった
3	「千田栄子オペラ歌手」リサイタル	在パラグアイ大使館	アスンシオン市パラグアイ日本人造りセンター劇場	サンパウロ	04.09.01～ 04.09.01	アスンシオン市営交響楽団と田中光道（テノールオペラ歌手）とのコンサートにブラジル在住ソプラノ歌手千田栄子の派遣によって、パラグアイ・ブラジル・日本との交流促進事業に協力する「アスンシオン市営交響楽団・邦人オペラ歌手共演リサイタル」を実施
4	「DUO CONTINUO」公演会	サンパウロ州立住宅博物館	サンパウロ州立住宅博物館・テラス	サンパウロ	04.09.12～ 04.09.12	ドイツ在住日本人ピアニスト奏者中村麗とブラジル人パーカッションニスト、リカルド・マリーニによるピアノと打楽器のデュエットで日本とブラジルの現代音楽を紹介
5	「ざくろ・ボンサイ」テレビ収録公演	サンパウロ州立住宅博物館（共催） TV Cultura（共催）	サンパウロ州立住宅博物館・テラス	サンパウロ	04.09.18～ 04.09.18	8月15日にサンパウロ州立住宅博物館で300人を集めて実施されたコンサートのテレビ収録公演。Tozando Brasil とToyota do Brasilの協力を得て、4月10日午後11時半からTV Cultura (TVクルトゥーラ)局 (= 代表的な公的文化芸術教育放送局) によって放映された

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
6	「OMSTRAB 訪日帰国公演とトーク」	協力：ベトロプラス、文化庁、ARO、サンパウロ市庁舎、ガレリア・オリード	オリード市立文化センター	サンパウロ	04.11.27～ 04.11.28	8月、「東京芸術見本市2004」に参加するため訪日したOMSTRAB公演団の帰国後公演。 OMSTRAB公演団の6人は日本の印象を挿入した公演とトークを実施した。日系ダンサーのレチシア・セキトの特別参加も有り、ダンス、身体によって生じる音、太鼓等リズム感に溢れたパフォーマンスであった
7	「AIBI」プロジェクト	Aibiプロジェクト実行委員会	カーザ・アイビ	サンパウロ	05.03.05～ 05.03.06	国際交流基金元フェロー柳生アリセによる狂言、マイム、音楽を用いた演劇作品の制作を含む複合企画発表のための経費の一部を負担。フェノロサが訳したお能および李白の作品を詩に書き換え、その朗読や、江戸川乱歩の「人間椅子」の演劇作品や、彫刻、絵画パフォーマンス等バラエティーに富んだ企画
8	「京都・大野一雄へのオマージュ」公演		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.03.10～ 05.03.10	舞踏家大野一雄の100年記念の一環として日本の舞踏家橋本景子およびタマドゥア・ダンス・カンパニーの公演を実施
9	「綴音サンパウロ公演」邦楽コンサート		日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.03.17～ 05.03.17	「在米日本文化専門家派遣事業」の一環として実施された邦楽コンサート。アメリカ各地で活動している琴と尺八の邦楽演奏者4名（石樽雅代、JAMES NYORKU SCHEFER, MAYUKO MATSUDA, CHARLES WEI-TING TANG) をニューヨークからブラジルに派遣し邦楽コンサートを実施
【講演・シンポジウム】						
1	「フェロー帰国報告」講演会		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.05.13～ 04.05.13	国際交流基金招へい(文化芸術)フェローシッププログラムにより日本に滞在したRachel Rosalenのメディア・アート講演および上映会
2	「Letters-日本に渡ったブラジル女性たち」講演会		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.05.19～ 04.05.22	ブラジルから日本へ出稼ぎ労働者、あるいはその家族として日本へ渡った女性たちのブラジル帰国後の経験を語るドキュメンタリー「CARTAS」の上映会

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	「禅とイメージ」講演会・ワークショップ		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.05.20～ 04.05.26	「禅と像」をテーマに曹洞宗国際ブラジル布教師心月孤圓師、写真家Carlos Moreiraおよびメディア・アーティストRachel Rosalenによる講演。MoreiraとRosalenが写真家Henri Cartier Bresson、映画監督Tarkovskyなどの作品に見られる映像概念を紹介し、孤圓師が禅宗の観点から分析をした
4	「マルタ・ソアレスO BANHO制作過程について」の講演		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.06.02～ 04.06.02	1994年のアーティスト・フェロースhipに参加したダンサー、マルタ・ソアレス女史の新作をビデオにて発表
5	日本理解のための文化講演会		サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	04.09.29～ 05.02.03	分野に限らず、サンパウロ訪問中の日本人研究者による一般社会人向けセミナー・講演会を実施した
6	「合気道 x ダンス」講演会・ワークショップ		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.03.02～ 05.03.05	コンテンポラリーダンスに合気道の応用をテーマにするワークショップおよび講演会（2月25日）。3月2日から4日の2日間は合気道専門家と有名ダンサーが共に表現手法を交差させながらデモンストレーションを行った
7	「日本人の身体IV」企画	協力：ゲーテ・インスティテュート、カトリック大学東洋学研究センター、キタニ、ソニー、SENAC	サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.10.04～ 05.10.05	中牧教授の基調講演（「祝祭性と身体性—キーワードとしての動詞」）、当企画のキュレーターであるクリスチーネ・グライナー博士の指導のもと、ブラジル演劇界のアントニオ・アラウージョ、美術評論家、キュレーター、そして今年度文化人短期招聘者のアギナルド・ファリアス、美術評論家、大学教授のミゲル・シャイア、ダンサー、元フェローのマルタ・ソアレスたちの対談・講演が実施された
8	「舞踏譜」和栗由紀夫氏講演		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.11.10～ 05.11.10	舞踏家和栗幸雄がサンパウロカトリック大学フェローとしての滞在中に催した講演会。和栗氏が制作したCDRom「舞踏譜」および舞踏創始者土方巽について紹介した

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【日本語教育】						
1	日本語協議会	在サンパウロ総領事館 国際協力事業団 サンパウロ支所 ブラジル日本商工会議所、ほか	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	ブラジル日本語教育機関関係の代表からなる協議体として、各分野の連携と情報交流を図り、ブラジル全体としての日本語教育の振興を図るため、前年度の決議に基づいた専門部会を開催したほか、各分科会でフィードバックを行ない、その成果を第5回日本語協議会で発表をした
2	日本語教材開発・研究調査			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	ブラジルに適した日本語教材の開発研究に支援した。特に、初級前半の日本語学習者の日本語で書き直した配布教材：「シンデレラ」の印刷製本と配布、日本語国際センター制作教材「教科書を作ろう」のポルトガル語版の翻訳構成などが主な活動
3	日本語教材等図書寄贈			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	日本語講座が開かれている学校への日本語教材の寄贈
4	大学研究会（日本語教育、日本文学）			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	ブラジル日本語教師用に、ポルトガル語・日本語によるバイリンガル日本語教育マニュアルを作成中
5	CEL・CELEM日本語教師研修会	サンパウロ州教育局 パラナ州教育局	ファシナウドセウ研修センター サンパウロ日本文化センター	ファシナウドセウ（パラナ） サンパウロ	04.04.12～ 04.04.16	サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修を実施。2004年度は、パラナ州教育局主催の全外国語教員セミナー（ファシナウドセウ）に、サンパウロ州CELの日本語教師を参加させる形で協力支援したほか、CEL・CELEMの新人日本語教師特別研修を実施した
6	全国大学生サンパウロ研修	バイア州立大学、 セアラ州立大学、 リオデジャネイロ州立大学、 バレドリオドスシノス大学、ほか	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	04.07.12～ 04.07.23	ブラジル全国23の大学日本語講座より各1名を選抜してサンパウロ日本文化センターでのグループ集中講座に参加させ最新の教材と自律学習への指針を与えると同時に、各地大学日本語講座の交流と活性化を図った

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
7	CEL・CELEM 日本語学習ポスターコンクール			サンパウロ	04.09.30～ 04.10.20	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の日本語講座（CEL・CELEM）を中心として、中等教育課程で日本語講座を有する学校に対し、日本語講座の広報・学習奨励として、日本語学習呼びかけのポスター絵のコンクールを行ない、優勝者をはじめとする入賞作品の絵をカレンダーにして、参加校を含め、全国の日本語学校に配布した
8	第10回全伯日本語スピーチコンテスト	汎アマゾンニア日伯協会 在ベレーン総領事館	ジンナイ講堂	ベレン	04.11.19～ 04.11.21	ブラジル各州（全8地区）で行なわれる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施し、一部の地区大会の支援を行なった
【図書館運営】						
1	図書館運営			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	サンパウロ日本文化センター図書館として、専門のリファレンスサービス要員が一般利用者を含む閲覧サービスを実施。文化芸術事業など、基金事業の展開に合わせた所蔵資料の特別展示を行なったほか、サンパウロ文学アカデミーの日本関係図書の寄贈を受け、特別文庫を設置した。日本語および欧米諸言語の日本関係図書、日本語の雑誌、視聴覚資料など所蔵図書は、12,239冊（視聴覚2,633点・雑誌50タイトル）で、来館者数は8,412人（平成16年度）、登録者は1,008人（平成17年3月31日現在）である
【出版・広報】						
1	広報業務委託費			サンパウロ	04.04.01～ 04.09.30	サンパウロ日本文化センターの事業活動をマスメディアに取り次ぐ業務
2	ニューズレター発行			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	サンパウロ日本文化センター季刊誌「AQUARELA」。2004年4月発行。発行部数2500部

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	ホームページ管理			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	ホームページによる広報。サンパウロ日本文化センターのイベント紹介。各種基金プログラム、事業、イベント情報、図書館およびニュースレターAQUARELA,ガイドライン等をポルトガル語で紹介。 平成16年度（年間） アクセス回数：172.193（前年度より37%増加） アクセス人数：116.393（前年度より40%増加）
4	ポルトガル語ガイドライン作成			サンパウロ	04.07.01～ 05.10.30	平成16年度公募プログラム・ガイドライン英語版をポルトガル語版に翻訳、作成、配布
5	留学生サロン	早稲田大学 在サンパウロ総領事館 日伯文化連盟	サンルイス学校 イベントセンター	サンパウロ	05.02.01～ 05.02.01	早稲田大学の協賛により、英米、ドイツ、スペイン、フランス語圏の語学留学等留学見本市に、在サンパウロ総領事館、日伯文化連盟とともにブースを出展、基金事業を広報した
【その他】						
1	文化備品貸出			サンパウロ、プレジデンテ・プルデンテ、アラサツバ、ロンドリーナ、マリンガ、モンテス・クラロス、他	04.04.01～ 05.03.31	サンパウロ日本文化センターが所有する文化備品を希望する団体への貸し出し。貸し出し実績は12件
2	「JAPAN WEEKS 2004」企画	在サンパウロ総領事館		サンパウロ	04.06.04～ 04.08.23	「JAPAN WEEKS」は今年が3回目であり、15イベントで構成され、その内5件が国際交流基金事業。今年のオープニングはリアル銀行にて生け花、書道の展示、茶道および剣術のデモンストレーション等を含み、盛大に行なわれた

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	「サンパウロにおける日本文化ガイドブック」	JBC出版社（共催） ナコンビ、イロリ、ヤノ、キン、おりがみ、アズルミュージク、トラデプラス協力	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.06.29～ 05.06.29	1993年に出版された「サンパウロにおける日本文化ガイドブック」の更新版のため日本文化状況調査を平成15年度に実施し、平成16年度にその出版物の記念会を複合企画として実施した
【本部事業受入】						
1	「Na Trilhados Samurais」映画祭	サンパウロ市立文化センター 在サンパウロ総領事館	サンパウロ市立文化センター	サンパウロ	04.07.20～ 04.07.25	アメリカ映画『ラスト・サムライ』の封切で日本の時代劇が注目される中、時代劇映画の上映会を企画。参加作品は国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵作品およびブラジルFL所蔵作品併せて7本。4本ポルトガル語字幕、3本英語字幕。上映回数18回。観客数1,933人
2	「第2回南米地域フェロー懇談会」	在アルゼンチン大使館 広報文化センター	在アルゼンチン大使館広報文化センター	ブエノス・アイレス	05.03.19～ 05.03.20	南米6カ国（ブラジル、アルゼンチン、チリ、コロンビア、パラグアイ、ペルー）から16名の元フェローを集めた第2回目の南米地域フェローのフォロー事業。基調講演に、サンパウロ・カトリック大学の元フェローのクリティニー・グライナー教授を迎え、文化芸術分野、国際関係・国際法分野、宗教・思想・哲学分野の三つの分野ごとの分科セッションを取り入れ、今後の南米地域のフェローの交流と日本研究振興のための次なるステップを探った

11. サンパウロ日本文化センター	(2)助成・協力
-------------------	----------

合計額 1,187,766円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	「日伯工芸美術展」	ブラジル日本文化協会	03.11.07～ 03.11.12	第8回日伯工芸美術展はブラジル在住の工芸作家名の点による展示。出展作品は、陶器、金工、木工、染色、タペストリー、人形、七宝焼等。219点の応募作品から173点選出された。基金は展示カタログ作成費を助成

	事業名	協力対象団体	期間	内容
2	CEL・CELEM 勉強会支援	CEL勉強会、 CELEM勉強会	04.04.01～ 05.03.31	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の州立学校日本語講座の教師に対する、日本語教育、日本語の授業やテクニクに関する勉強を行なう会。CEL(サンパウロ州)は月に一回集まり、国際交流基金の講師が一人つく。CELEM(パラナ州)は、年10回行なわれ、3カ月に一回、国際交流基金から講師が派遣された
3	CELEM勉強会 講師派遣	CELEM勉強会	04.04.01～ 05.03.31	CELEM(パラナ州立学校外国語講座)の日本語教師が日本語教育に関しての専門書を読んだり、使用教材についてのディスカッションしたりする場にサンパウロ日本文化センターの日本語講師を派遣。以前は、月一回、国際交流基金の派遣教師を交えて行なっていたが、去年は、3カ月に一回講師を派遣して自立化を図った
4	「第42回ブラジル 生け花合同 展」	ブラジルいけ花 協会	04.06.04～ 04.06.09	生け花展、デモンストレーション、ワークショップを主とする「第42回ブラジル生け花合同展」がリアル銀行で実施された。展示は、大・中の作品13瓶、小品95瓶で構成され、デモンストレーションおよびワークショップは1日に2回、計10回行なわれた。国際交流基金は招待状、パンフレットの印刷費を負担し助成協力
5	ブラジル銀行・ Rumos da Danca企画	ブラジル銀行文 化センター	04.06.17～ 04.07.11	ブラジル銀行が主催するダンス・フェスティバルに参加する企画の内、2件が日本あるいは日系文化をテーマにした事業であり、それらに対する公演謝金、制作費の一部を負担することによって公演に参加した。 本事業のキューレーションはダンス評論家Ana Francisca Ponzioにより、ダンス公演の制作過程への協力を重要視する方針からなる事業である。本事業は国際交流基金派遣助成を得たコレオグラファーの小池博史、他1名によるワークショップも実施した
6	日本学会支援	リオデジャネイ ロ連邦大学	04.07.02～ 04.07.03	リオデジャネイロ連邦大学が主催する大学日本語教師の全国大会に対し、助成
7	第7回日本語遊 悠会	リオデジャネイ ロ州立大学、リ オデジャネイロ 連邦大学、リオ デジャネイロ日 伯文化協会、ほ か	04.09.11	在リオデジャネイロの五つの主要日本語教育機関が中心となる年に一度の日本語祭りであり、日本教育機関の横のつながりを深めることと、日本語教育関係者・学習者双方の奨励事業。日本語を使用した演劇やイラストなど、さまざまなイベントがゲームやコンテスト形式で催された
8	「相撲・歴史と 文化」企画	セスキ商業連盟 社会サービス文 化センター	04.09.27～ 04.10.02	元・玉ノ井部屋、若東ほかブラジルと関係を持つ日本からの3名の力士による相撲デモンストレーションおよび一般用のクリニック、ブラジルフィルムライブラリー映画『しこふんじゃった』および文化映画『国技館』の上映会、土俵作りワークショップ、写真展、相撲大会によって構成された複合企画。基金は映画の貸し出しおよび相撲大会パンフレット印刷費の負担によって協力
9	「神楽」公演会	ブラジル広島文 化センター	05.03.21～ 05.04.09	日本文化紹介助成の一環として、広島県津浪神楽団の派遣指導員尾坂秋三と末田健治による「神楽」公演およびワークショップを実施。 ワークショップは3月21日～24日、27日～28日、3月30日～4月1日、4月4日～9日に行なわれた。また、公演は4月2日(ブラジル日本文化協会)、4月3日(サンパウロ市立文化センター)、および4月10日(カンピーナス日伯文化協会)にて実施された。 元フェローのアンジェラ・永井による能公演「雪」も披露された

12. マニラ事務所 (1)主催・共催事業

合計額 3,311,929円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	第7回アジア漫画展	The Podium	The Podium	マンダロン市	04.06.03～ 04.06.21	"Getting a Job in Asia" をテーマに、8カ国 8名の漫画家の作品80点を展示。また、期間中にフィリピン漫画家協会のメンバーによる、児童を対象としたワークショップを実施
2	ポスターに見る日本展	シャングリラ・プラザ	シャングリラ・プラザ・モール	マンダロン市	05.02.10～ 05.02.26	「Discover Japan Through Contemporary Posters」というテーマで、日本の商業広告ポスター75点を展示し、ポスターを通じての日本の現代社会・生活の紹介を試みた。毎年2～3月に行なわれる日比友好祭事業の一環として実施
【公演】						
1	フルート・ピアノコンサート	アリアンス・フランセーズ MCO財団	フランシスコ・サンチャゴ・ホール	マニラ	04.07.10	アリアンス・フランセーズとの共催で、パリ在住の日本人フルーティスト石橋輝樹、バンコック在住のピアニスト中川恵里のジョイントコンサートを開催。フィリピン人クラリネット奏者Ariel Sta Anaがゲスト出演した
2	英語落語	在フィリピン大使館	カルロス・ロムコ劇場	マニラ	05.02.21～ 05.02.22	2003年度に実施していずれも好評だった英語落語の第3回目。桂かい枝が英語落語・玉すだれの実演を行なった他、漫画家いわみせいじが観客を壇上に招いてイラスト・似顔絵共に描く等、会場は和やかな笑いに包まれた
【講演・シンポジウム】						
1	日本研究シンポジウム	在フィリピン大使館 デ・ラ・サール大学ユチェンコセンター	デ・ラ・サール大学ユチェンコホール	パサイ市	05.03.10～ 05.03.11	「日本とフィリピン；地域と世界における新しいパートナーシップを目指して」をテーマに、フィリピンの主要大学・研究機関から代表的な日本研究者、学生が集まり、研究発表・ディスカッションが実施された

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【映画】						
1	日本映画祭（第1回）	フィリピン文化センター フィリピン大学映画研究所 The Podium SM シネマ	フィリピン大学映画研究所 フィリピン文化センター The Podium SM メガモール	ケソン市 パサイ市 マンダルーヨン市	04.09.07～ 04.10.12	日本の比較的新しい映画作品6本『ウォーターボーイズ』『たそがれ清兵衛』『ハッシュ』『ジュブナイル』『どこまでも行こう』『がんばっていきまっしょい』を上映した。若者層を中心に多くの観客を集めた
2	日本映画祭第2回(黒澤明特集)	フィリピン文化センター フィリピン大学映画研究所 MCO財団	フィリピン大学映画研究所 フィリピン文化センター アントニオ・モリーナ ホール	ケソン市 パサイ市 マカティ市	05.02.23～ 05.03.11	黒澤明の代表的作品8本（『羅生門』『生きる』『悪いやつほどよく眠る』『七人の侍』『まあだだよ』『姿三四郎』『天国と地獄』『野良犬』）を上映した。期間中のべ3,000名の観客を集めた
【日本語教育】						
1	第32回日本語スピーチコンテスト	デ・ラ・サール大学セント・ベニルデ校 マニラ日本人会 フィリピン日本人商工会議所	デ・ラ・サール大学セント・ベニルデ校	マニラ	05.02.19～ 05.02.19	大学や日本語学校で日本語を学ぶ12名が「ビギナー部門」「オープン部門」の2部門に分かれて参加。「折り紙から別の世界へ」「健康は財産」等様々なテーマでスピーチした
【出版・広報】						
1	事務所紀要の発行				04.04.01～ 05.03.31	平成14年度に引き続き、マニラ事務所紀要『JFManila Journal』の第2号を300部発行し、国内の日本研究者、日本語教育関係者に配布した
2	ニューズレター				04.04.01～ 05.03.31	『JFManila News』というタイトルで年3回、各3000部発行。マニラ事務所活動の案内、国際交流基金フェローの寄稿、国際交流基金事業に対する批評等を掲載し、国際交流基金事業の広報に努めた
【その他】						
1	公募助成事業広報・審査				04.04.01～ 05.03.31	多数の申請がある知的交流会議等助成事業を効率的に受理・審査するため、申請機関を対象とした説明会、および申請案件のコンサルタントに対する評価依頼等を行なった
2	フェロー懇談会		シャングリラホテル	マカティ市	05.03.31	過去のフェローを集め、滞日中の成果や現在の活動状況についての報告・情報交換を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【本部事業受入】						
1	津軽三味線コンサート	フィリピン文化センター	フィリピン文化センター マンダリン・オリエンタルホテル	パサイ市 マカティ市	04.10.23～ 04.10.25	津軽三味線奏者の新田親子（新田弘志、新田昌弘）の演奏会を実施。フィリピンのエスニック系バンドであるマキリン・アンサンブルも参加して共演した

12. マニラ事務所	(2)助成・協力事業
------------	------------

円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	小規模助成事業の実施	フィリピン大学国際地域研究センター等	04.04.01～ 05.03.31	日本研究・知的交流分野に関わる有意義なプロジェクトにつき、事業実施経費の一部を助成した。フィリピン大学国際地域研究センターが実施したジャーナリスト白木百合子氏の講演会「日本の文化と社会」他、全部で11件の催しに対して助成
2	シネマニラ映画祭の開催		04.07.01～ 04.07.14	国際映画祭「Cinemanila」の開催にあたって、オープニング開催経費の一部を助成した。日本映画ではオープニングで北野武監督の映画『ZATOICHI』が上映されたほか、『バイプレーター』も上映作品の一つ
3	日比トリオコンサート	フィリピン元私費留学生協会	04.11.20	日本人バイオリニスト川原千真、チェリスト田崎瑞博、フィリピン人ピアニストのGreg Zuniega3名による共演コンサートを実施。演奏会はマニラの他、ルソン島のバタンガス、ミンダナオ島のダバオでも実施された。クライスラー、バッハ、メンデルスゾーンの曲以外に、日本およびフィリピンの音楽も演奏され、演奏曲の背景説明も行なわれた
4	学術会議「アジア・オセアニア地域の中のフィリピン」	フィリピン大学アジアセンター	05.03.02～ 05.03.03	フィリピンを「東南アジア」の一員としてではなく、広くオセアニア地域を含んだ「アジア大洋州」の一員として捉え、フィリピンと「アジア大洋州」地域とのつながりを歴史、文化、政治、経済等の様々な局面から討議した学術会議

13. ニューデリー事務所 (1)主催・共催事業

合計額 4,554,780円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	橋口譲二氏ワークショップ展示会		インディア・ハビタット・センター	ニューデリー	04.07.28～ 04.08.05	本部助成事業で訪印した橋口譲二一行は7月1日～27日にかけてパラナシおよびラダックにおいてインドの青少年を対象とした写真と絵画のワークショップを行なったが、その成果をデリー市民にも見てもらうため事務所で展覧会実施をアレンジした
2	第7回アジア漫画展		国立人類博物館 ラリット・カラ・アカデミー	ボパール ニューデリー	04.09.01～ 04.10.15	日本で展示が行なわれたのち、アジア各国を巡回する展覧会。インドのラビカント・ナンドウーラ氏を含むアジア各国の漫画家による作品が展示された。今年度はボパールとデリーの2都市で開催
【公演】						
1	歌舞伎レクチャーデモンストレーション	スピック・マツケイ	トリヴェニ・カラ・サンガム モダン・スクール インディア・インターナショナル・センター	ニューデリー	04.08.02～ 04.08.25	国際交流基金助成事業で訪印した中村鴈治郎をはじめ歌舞伎グループ一行がインド国立演劇学校の学生を対象として3週間の演技ワークショップを実施した機会をとらえ、ニューデリーの一般市民や一般生徒を対象としたレクチャー・デモンストレーションをニューデリー事務所でアレンジした
2	少林寺拳法ワークショップ		中学高校8件、 NGO1件	ニューデリー	04.08.21～ 04.08.25	インド人師範による少林寺拳法ワークショップをデリー市内の青少年を対象に各学校およびNGOで行なった。インド人師範は少林寺拳法チェンナイ支部およびムンバイ支部所属
3	守屋純子ジャズ公演		シュリラムセンター	ニューデリー	04.10.01～ 04.11.11	国際交流基金助成事業で訪印した守屋純子はじめジャズ一行が11月日本文化月間オープニングレセプションにおいて11月9日に大使公邸で公演を行なった機会をとらえて、8日に一般市民を対象とした公演をアレンジした。バンドのメンバーはピアノの守屋、ベースの小井政都志、ドラムの高橋徹、サックスの近藤和彦

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	ヒンディー詩の朗読会		ニューデリー事務所	ニューデリー	04.05.07	日本文学研究者で元デリー大学教授ブディラジャによる詩の朗読会。「さくら」をテーマとして詩を朗読したほか、ビデオや写真パネルを用いて日本人にとっての桜の存在について紹介した
2	企画開発事業：南アジアのイスラム研究（日知事業）		ニューデリー事務所	ニューデリー	05.01.10～ 05.03.07	アジアセンター知的交流事業のうち、ニューデリー事務所の企画開発事業として開始した事業の3年目。1年目、2年目はインド人の研究者同士でセミナーを行なったが、3年目の今年では日本でのイスラム専門家として宮田律助（静岡県立大学教授）を招へいし、日本におけるイスラム研究について、またインド側の強い要請により日本人のイスラム観について講演を行なった
3	南アジアのイスラム研究セミナー（在外事業費）		ニューデリー事務所	ニューデリー	05.01.10～ 05.03.07	アジアセンター知的交流事業のうち、ニューデリー事務所の企画開発事業として開始した事業の3年目。1年目、2年目はインド人の研究者同士でセミナーを行なったが、3年目の今年では日本でのイスラム専門家として宮田律助（静岡県立大学教授）を招へいし、日本におけるイスラム研究について、またインド側の強い要請により日本人のイスラム観について講演を行なった
4	企画開発事業：フェローフォーローアップ（日知事業）		インドシア・インターナショナル・センター	ニューデリー	05.01.10～ 05.03.21	元国際交流基金フェロー、元国際交流基金助成のフェロー、ニューデリー事務所と関わりのある当地知識人を集めて日印が今後取り組むべき課題について、2日間にわたる発表と討論を行なった
5	バンガロール大学講演会（望月JNU客員教授）	バンガロール大学日本語講座	バンガロール大学日本語講座	バンガロール	05.03.07～ 05.03.09	国際交流基金客員教授短期派遣事業で訪印した望月善次（ネルー大学客員教授・岩手大学教授）によるバンガロール大学日本語講座での講演会をアレンジした。講演内容は「日本人の心のインデックス：石川啄木」
6	プネ大学講演会（川村デリー大学客員教授）	プネ大学日本語講座	プネ大学日本語講座	プネ	05.03.25～ 05.03.27	国際交流基金客員教授短期派遣事業で訪印した川村湊（デリー大学客員教授・法政大学教授）によるプネ大学日本語講座での講演会をアレンジした。講演内容は「近現代の日本文学」

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【映画】						
1	アッサム州 16mm映画祭	OKDインス ティテユート グワハティ・シ ネクラブ ディブルガル大 学	ラキラム・バル ア・サダン公会 堂 ディブルガル大 学	グワハ ティ (アッサ ム州) ディブル ガル (アッサ ム州)	04.10.06～ 04.10.15	西アジアフィルムライブラリーの7 作品をインド北東部アッサム州の2 都市で上映。インド北東部州で行 なった初の国際交流基金事業。7作 品は『羅生門』『回路』『ハッシュ』 『ウォーターボーイズ』『彼岸花』『み んなのいえ』『明日』
【出版・広報】						
1	記者懇談会		ニューデリー事 務所	ニューデ リー		メディアに国際交流基金事業を知っ てもらい、それぞれの新聞やテレビ でとりあげてもらおうことを目的に、 今年度は2回のプレスリリースを行 なった
2	ウェブサイト運 営				04.04.01～ 05.03.31	2004年5月にニューデリー事務所 ホームページを開設し、インター ネットを通じて、国際交流基金事業 の紹介に努めた。広大な国土をもつ インドにおいて、インターネットを 活用した広報は今後ますます重要に なってくる
3	インド人著者に よる日本関係図 書出版広報				04.04.01～ 05.03.31	インドにおける日本文化紹介の促進 を目的に、インド人著者の日本文化 関係図書を事務所で購入し、インド 一般市民に対しこれら図書のPRを 行なっていく。今年度はウニタ助教 授（デリー大学）編集の日印文学研 究書「Imaging India, Imaging Japan」、ジョージ准教授（ネルー大 学）翻訳の宮沢賢治童話英語版の2 件に対してPRを行なった
4	ブレティン				04.04.01～ 05.03.31	ニューデリー事務所広報誌。変形 A4サイズで3,000部発行し、メーリ ングリストおよび希望者に無料配 布。今年度は年2回発行した
5	「India and Japan」出版記 念ブックリリー ス（フェローコ ンファレンス報 告書）		ニューデリー事 務所	ニューデ リー	05.01.10	2003年度実施（2004年3月）のフェ ローコンファレンス発表ペーパーが 一冊の本として出版されたので、そ の記念ブックリリースを行なった。 2003年度フェローコンファレンスは 元国際交流基金フェローのフォロー アップ事業として実施されたもの で、また初のフェロー同窓会とし ての意味合いも持つ

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【その他】						
1	企画開発事業： 案件発掘・視察 評価・フォロー アップ出張（日 知事業）				04.04.01～ 05.03.31	企画開発型助成事業の形成・促進のため地方および周辺諸国へ視察出張を行なう。今年度はアッサム州グワハティ、ウツタル・プラデシュ州ラクナウ、スリランカの出張3件を実施
2	企画開発事業： 助成案件コンサル タント（日知 事業）				04.12.01～ 05.03.31	2005年度日本研究知的交流部企画開発助成事業公募申請案件のうち15件について、インド人専門家にそれぞれの申請プロジェクトの妥当性について審査コメントを依頼

13. ニューデリー事務所 (2)助成・協力

合計額 1,133,411円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	中崎真由美氏作品展助成	SANSKRITI PRATISHTHAN	04.04.12～ 04.04.14	ニューデリー事務所1階スペースにてSANSKRITI PRATISHTHAN主催で中崎真由美作品展を実施。同氏はアムステルダム在住の若手芸術家で、オランダ財団フェローシップとして4月末までインドに滞在しており、本展覧会はこの訪印の成果の中間発表といえるもの
2	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：ICPI	International Centre for Peace Initiatives	04.06.19～ 04.09.09	International Centre for Peace Initiativesはインドの安全保障分野に関するシンクタンクで、同分野における日本を含む海外とのネットワーク強化を図るため、国際会議を6月19日、20日にデリーで実施したほか、9月5日～9日に研究員を日本に派遣した
3	インド国際日本文学研究集会助成	ネルー大学 国文学研究資料館	04.10.29～ 04.10.30	過去国際交流基金派遣でデリー大学客員教授だった伊藤鉄也（国文学研究資料館教授）とアニタ・カンナ（ネルー大学准教授）のあいだで構想された研究集会。国際交流基金の国際会議出席助成（派遣）事業。2日間にかけて行なわれ、1日目は研究者と学生を対象としたアカデミックな会議で、2日目の午後からは日本人会の協力を得て日本文学のクイズ大会を行なった
4	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：シャダダナン・ナイール氏	コーチン科学工科大学シャダダナン・ナイール氏	04.11.27～ 04.11.28	東京大学主催の国際シンポジウム「Participatory Strategy for Soil and Water Conservation」に参加するコーチン科学工科大学 K. Shadananan Nair に対し、ニューデリー事務所は国際航空運賃を助成した。同シンポジウムには海外の25の大学・研究機関および5つのNGOから参加があり、約50のプレゼンテーションが行なわれた

海外事務所

	事業名	協力対象団体	期間	内容
5	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：オスマニア 大学	オスマニア大学	04.11.27～ 04.11.28	インド南部ハイデラバードに所在するオスマニア大学において「Development and Displacement: Afro-Asian Perspectives」というテーマのもと、アジア・アフリカ各国から参加者が集い、2日間の国際セミナーが開催された。ニューデリー事務所は参加者の国際航空運賃の一部を助成した
6	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：ネルーファ ウンデーション	ネルーファウン デーション	05.01.14～ 05.01.30	インド西部アーメダバードに所在するネルーファウンデーションにおいて、アジア各国で街並み保存に取り組む実務者を対象とするワークショップ「the 3rd International Field School on Asian Heritage」(IFSAH)が開催された。ニューデリー事務所はこれに参加する東京大学西村幸夫教授の国際航空運賃を助成した
7	デリー折り紙大 会助成	Akriti Creations	05.01.30	デリーのインド人青少年を対象とした折り紙大会に対する助成。大会は6～9歳と10～15歳の二つのグループに分かれて実施され、合計41名の青少年が参加した。入賞者および参加者には賞品と賞状が授与された。大会には事務所が助成したほか、マクドナルド社も協賛し、また大会の内容は地元テレビ局によって報道された
8	生け花インター ナショナル助成	生け花インター ナショナル・グ ルガオン支部	05.02.19	インド人制作の池坊、草月、大原の3つの流派の合同展示に対する助成。デリーの衛星都市であるグルガオンで行なわれ、約45作品が展示された
9	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：デリー大学	デリー大学スワ ミ・シラダナン ド・カレッジ	05.03.04～ 05.03.06	デリー大学スワミ・シラダナンド・カレッジにおいて環境問題と開発に関する国際会議「Environment and Development: Challenges and Opportunities (ICEDCO-2005)」が開催された。ニューデリー事務所は参加者2名分の国際航空運賃の一部を助成した
10	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：マドゥー・ カンナ准教授	マドゥー・カン ナ准教授 (IGNCA)	05.03.24～ 05.03.30	東京でおこなわれたthe 19th World Congress of the International Association for the History of Religions (IAHR 2005)に参加するIndira Gandhi National Centre for the ArtsのDr. Madhu Khanna准教授に対し、国際航空運賃の助成を行なった
11	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：ラナ.P.B. シン教授	バラナス・ヒン ドゥー大学ラナ .P.B.シン教授	05.03.24～ 05.03.30	東京で行なわれたThe 19th World Congress of the International Association for the History of Religions (IAHR 2005)に参加するバラナス・ヒンドゥー大学Dr. Rana P. B. Singh教授に対し、国際航空運賃の助成を行なった
12	日印学生会議助 成	日印学生会議実 行委員会 Bharat Japan Maitri Parishad	05.08.10～ 05.08.31	デリーとコルカタの2都市で日本とインドの学生が交流し、3つの分科会に分かれて議論を行なう第8回日印学生会議に対する助成

14. ニューヨーク事務所 (1)主催・共催

合計額 7,550,168円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	ブロードウェイ・ミュージカル『太平洋序曲』関連事業	マサチューセッツ工科大学	スタジオ54	ニューヨーク	04.11.12～ 05.01.30	マサチューセッツ工科大学（MIT）との共催により、ブロードウェイ・ミュージカル『太平洋序曲』（演出：宮本亜門）の上演会場に日米両国の出会いに関するメディア・インスタレーション「黒船とサムライ」（監修：MITジョン・ダワー教授・宮川繁教授）を設置
【公演】						
1	在米日本専門家中南米派遣プログラム（ジャズピアノとモダン・パントマイム公演）	在ドミニカ共和国大使館 在ホンジュラス大使館 在ニカラグア大使館	文化省芸術院マヌエル・ルエダ講堂 国立シバオ劇場 サンペドロスーラ市文化センター マヌエル・ポニージャ国立劇場 国立ルベンダリオ劇場 トレスムンド劇場	サントドミンゴ サンティアゴ サンペドロスーラ テグシガルバ マナグア グラナダ	05.02.27～ 05.03.09	在米日本専門家を中南米地域に派遣し、同地域の文化交流事業を促進するプロジェクトの一環として、ジャズ・ピアニストの三上クニとモダン・パントマイムの森山はる香の2名をドミニカ共和国、ホンジュラス、ニカラグアの3カ国に派遣し、各国2都市づつ計6回の公演を実施した
【講演・シンポジウム】						
1	米国日本研究図書館等情報専門家会議	NCC（北米日本研究資料調整評議会）	デューク大学	ダーラム	05.01.07～ 05.01.08	米国の日本研究関係の学者・研究者を下支えしている図書館等情報関係専門家が一堂に会し、2日間にわたり意見交換を行なうとともに、現状と課題、今後の連携のあり方について話し合った
2	元博士論文執筆者フェローによる論文発表会		ハイアット・リージェンジー・ホテル	シカゴ	05.04.01	第57回全米アジア学会（AAS）年次総会において、過去5年以内に国際交流基金博士論文執筆者フェローとして本邦に招へいされた若手日本研究者5名による論文発表会を実施。また、発表者の博士論文レジュメを編集した小冊子を2000部作成

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【映画】						
1	大学巡回映画会	ウェイクフォレスト大学 ノースカロライナ大学シャーロット校 デューク大学 エモリー大学 ライス大学	ウェイクフォレスト大学 ノースカロライナ大学シャーロット校 デューク大学 エモリー大学 ライス大学	ウィンストン・セーラム シャーロット ダーラム アトランタ ヒューストン	05.02.01～ 05.03.27	日本文化が紹介される機会が比較的少ない地域において、世界的に著名な日本人映画監督の作品を通じて、学生や一般市民の間で日本への関心を高めることを目的とした映画上映会を実施
【出版・広報】						
1	ウェブサイト運営				04.04.01～ 05.03.31	ニューヨーク事務所の概要、公募プログラムの案内、ニューズレター電子版等を掲載
2	ニューズレター発行				04.04.01～ 05.03.31	ニューヨーク事務所発行のニューズレター “Bridges”(年2回発行、カラー印刷、4,000部作成)。米国において主催または助成する各種事業を、国際交流基金事業に必ずしも馴染みのない大学・研究機関、文化・芸術団体の関係者に向けて分かりやすく広報することを主眼とした
【その他】						
1	米国における日本研究関連団体活動実態調査		カンザス大学 デューク大学 ジョン・キャロル大学 ワシントン大学 セントルイス校 コロンビア大学	カンザスシティ ダーラム クリーブランド セントルイス ニューヨーク	04.10.28～ 05.03.29	以下の5つの会議に参加し、活動実態調査を実施した。 (1) ゴジラ学術会議(カンザス大学、日本研究会議等助成案件) (2) 米国日本研究図書館等情報専門家会議(デューク大学、日本研究会議等助成案件) (3) 中西部日本セミナー(ジョン・キャロル大学、日本研究会議等助成案件) (4) 能楽における平家物語(ワシントン大学セントルイス校、日本研究会議等助成案件) (5) 日本と世界における源氏物語(コロンビア大学、日本研究会議等助成案件)
2	第57回全米アジア学会年次総会における広告事業		ハイアット・リージェンシー・ホテル	シカゴ	05.03.31	第57回全米アジア学会(AAS)年次総会において、基金事業の広報と日本研究関係者との人脈維持・形成を目的としてレセプションを開催

14. ニューヨーク事務所 (2)助成・協力

合計額 3,397,919円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【助成】			
1	「グレープフルーツ：1964年の小野洋子」展	Asian American Writers' Workshop	04.04.02～ 04.05.15	小野洋子の初期のインストラクション（指示）作品を集めた回顧展。在ニューヨークの美術専門家、山村みどりの監修により、イセ文化基金ニューヨークギャラリーにおいて開催
2	「太平洋の出会い—アメリカ捕鯨、万次郎、そして日本開国—」展	New Bedford Whaling Museum	04.04.16～ 05.03.31	日米交流150周年、ボストン日本協会100周年を記念して、ジョン万次郎の数奇な人生と、アメリカ捕鯨産業が日本の開国に与えた影響を考察する展覧会を万次郎ゆかりの地、マサチューセッツ州ニューベッドフォード市において開催
3	ニューヨーク新進芸術家<シリーズII>	Inoue Chamber Ensemble	04.04.17	在ニューヨークのピアニスト、井上和子率いる井上室内アンサンブルがニューヨーク天理文化協会において公演を行なった
4	「歌舞伎絵看板—鳥居清光の世界—」展	Japan-US Partnership for the Performing Arts	04.06.25～ 04.08.20	平成中村座ニューヨーク公演にあわせ、ニューヨーク市立舞台芸術図書館内のギャラリーにおいて、鳥居派九代目、鳥居清光氏による歌舞伎絵看板の個展を開催
5	NCC（北米日本研究資料調整評議会）助成	NCC（北米日本研究資料調整評議会）	04.07.01～ 05.06.30	北米の日本研究関係司書の協議団体であるNCC（北米日本研究資料調整評議会）への活動費助成
6	スクールオブハードノックス・ヒッツ・マンハッタン	City Parks Foundation	04.08.09～ 04.08.13	在ニューヨークの舞踊家・振付家、中馬芳子率いるスクールオブハードノックスが新作『7x7x7』をニューヨークのセントラルパークおよびパフォーマンス・スペース122で発表
7	和辻哲郎と西洋思想	New School University	04.09.10	ニューヨークのニュースクール大学主催シンポジウム。日本より大庭健（専修大学教授）および荻部直（東京大学助教授）を招へいし、哲学者の和辻哲郎に西洋哲学思想が与えた影響と、逆に和辻哲郎の思想が現代西洋哲学に与える意味について討議
8	「藤城清治—影絵の世界—」展	The Nippon Club	04.09.13～ 04.10.09	ニューヨークの日本クラブ・ギャラリーにおいて日本を代表する影絵作家、藤城清治の傘寿を記念する個展を開催
9	伊藤さちよ—日本舞踊の古典と現代—	Sachiyo Ito & Company	04.09.18	在ニューヨークの日本舞踊家、伊藤さちよがニューヨークのペース大学芸術センターにおいて公演を行なった
10	ラ・ママ国際人形劇フェスティバル	La MaMa Experimental Theatre Club	04.09.23～ 04.09.26	ニューヨークのラ・ママ実験劇場で開催された国際人形劇フェスティバルに在ブラハの人形劇作家、沢則行が参加、「森の伝説」ほかの公演を行なった
11	ジャパン・フェスト2004	Japan Fest	04.09.25～ 04.09.26	ジョージア日米協会とジョージア日本人商工会の共催により、日米交流150周年を記念して日本文化祭をアトランタのストーン・マウンテン・パークで開催

	事業名	協力対象団体	期間	内容
12	第5回ヒューストン雷太鼓フェスティバル	Kaminari Taiko of Houston	04.10.01～ 04.10.02	在ヒューストンの雷太鼓が同市ハーマン・パークの野外無料コンサートに出演、2日間で延べ約8,500人の観客を前に、日本の伝統芸能を太鼓と日本舞踊のショーケースで紹介
13	日米150周年記念シンポジウム	Japan America Society of Minnesota	04.10.02	ミネソタ日米協会が主催する日米交流150周年記念シンポジウム。午前のセッションでは日米関係史をテーマに、午後のセッションでは日米文化交流をテーマにパネリストが討論。あわせてドキュメンタリー映画の上映も実施
14	山根貞夫講演会「深作欣二監督と仁義なき戦い」	The Japan America Society of Chicago	04.10.10～ 04.10.14	シカゴ国際映画祭において深作欣二監督『仁義なき戦い』が特別上映されるのにあわせ、日本映画評論家であり、深作監督の評伝の著者でもある山根貞夫を招き、講演会を開催
15	第3回聴覚障害者のための国際映画祭	Chicago Institute for the Moving Image	04.10.15～ 04.10.18	シカゴ映像研究所が主催する聴覚障害者のための映画祭。同映画祭2003年度最優秀作品賞に輝いた『I Love You』の大澤豊監督と、同監督の次回作『I Love Peace』の主演女優、忍足亜希子を招き、聴覚障害者に日本映画の魅力を紹介
16	『エレファント・ヴァニッシュ』公開勉強会・討論会	University Musical Society	04.10.18	世田谷パブリックシアター+コンプリシテ共同制作『エレファント・ヴァニッシュ』のアンダー公演にあわせ、ミシガン大学がMatthew Strecher東京大学客員教授を招き、アンダー地区図書館において原作者・村上春樹の作品に関する公開勉強会兼討論会を開催
17	東京のアルデコとモダニズム	The Art Deco Society of New York	04.10.25	ニューヨーク・アルデコ協会の主催による1920～30年代東京のアルデコとモダニズム様式建築に関する講演会をビークマン・タワー・ホテルにおいて開催。マイアミ・デザイン保存連盟会員のDennis WilhelmとMichael Kinerkの両氏が、これまで米国に紹介される機会の少なかった日本近代建築史上の業績を、視覚資料を用いながら解説
18	日本芸術祭	New York Dance & Arts Innovations	04.11.13	在ニューヨークの日本人バレエ団、ファウン・ダンス・トゥループほかの主催により、日本芸術祭をブルックリン市グリーンポイント地区で開催
19	第21回モービル市国際フェスティバル	Mobile International Festival	04.11.18～ 04.11.20	世界70カ国の文化芸術に触れる機会を地域住民に提供するアラバマ州モービル市主催国際フェスティバルに、フロリダ州オーランドの太鼓演奏グループ「祭座」と同州ペンサコーラの日本舞踊グループ「舞の会フロリダ支部」が出演
20	感謝祭神輿パレード	Japanese Association of Greater Houston	04.11.24～ 04.11.25	ヒューストンで毎年開催される感謝祭のパレードにグレーターヒューストン日本人会の会員を中心とする日米両国の関係者が神輿を担いで参加
21	日本能楽会シカゴ公演	The Art Institute of Chicago	04.12.03	日米交流150周年を記念し、1874年に第18代米大統領のグラント将軍がアメリカ人として初めて鑑賞した能の演目を文献に基づいて再現、梅若六郎丈を団長とする日本能楽会のメンバーがシカゴ美術館において公演を行なった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
22	倉橋義雄・文子邦楽コンサート	Japan-America Society of Dallas・Fort Worth	05.01.23～ 05.01.25	テキサス・アジア協会、ヒューストン日米協会、ダラス・フォートワース日米協会の共催により、倉橋義雄(尺八)と倉橋文子(箏)による邦楽のコンサートをテキサス州ヒューストンおよび同州リチャードソンにおいて開催
23	「太平洋の出会い」ブックプロジェクト	Spinner Publications	05.03.01～ 05.10.31	日米交流150周年、ボストン日本協会100周年を記念して、ジョン万次郎の数奇な人生と、アメリカ捕鯨産業が日本の開国に与えた影響を考察する展覧会にあわせて開催された国際シンポジウムの発表内容をまとめ、報告書として電子出版
24	日本映画特集	The Japan Center at Stony Brook	05.03.03～ 05.03.17	ストーニーブルック日本センター(ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校)の主催により、題名にサムライのついた映画3本(『七人の侍』『たそがれ清兵衛(英語題名:トワイライト・サムライ)』『ラスト・サムライ』)の連続上映会を開催
25	蒐集:江戸時代の美術とその所有者たち	DePaul University	05.03.30～ 05.03.31	デュポール大学美術・美術史学部の主催による江戸時代の日本美術に関するシンポジウム。日米欧の日本美術史、カルチュラル・スタディーズ、歴史学の専門家が参加
26	一戸小枝子ダンス・カンパニー35周年記念公演	Saeko Ichinohe Dance Company	05.03.31	ニューヨークを拠点に日米文化交流を目的として活動を続けている振付家、一戸小枝子率いるダンス・カンパニーによる創設35周年記念公演。ニューヨークのハンター・カレッジ内、ケイ・プレイハウスにおいて開催
【後援事業】				
1	"Zero Over Berlin"発刊記念シンポジウム	Vertical	04.07.14	冒険小説家である佐々木譲の著作『ベルリン飛行指令』の英訳本"Zero Over Berlin"の発刊にあわせ、版元のヴァティカル社が著者をニューヨークに招へい、同書の内容や時代背景を著者へのインタビュー形式で紹介。ニューヨーク日本クラブにて開催
2	ニューヨーク国際七五三	The International Shinto Foundation	04.10.09～ 04.10.10	日米両国のより深い相互理解に寄与することを目的として、子どもの成長を感謝し将来の幸福を祈るという日本古来の伝統文化行事である七五三をニューヨークのインターフェイスセンターにて開催
3	フランス人作曲家へのオマージュ	Faune Dance Troupe	05.06.19～ 05.06.20	在ニューヨークの日本人バレエ団、ファウン・ダンス・トゥルーブによるフランス人作曲家の特集公演。ニューヨークのトライベッカ芸術センターにて開催
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
1	フィルムライブラリー	ピッツバーグ大学ほか9機関	04.04.01～ 05.03.31	ニューヨーク事務所が所蔵する文化映画等各種映像資料を米国内の大学・美術館等外部機関における非営利上映のために貸し出した

15. ロサンゼルス事務所 (1)主催・共催

合計額 13,736,368円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	日本物語朗読	University of Alaska, Fairbanks	University of Alaska, Fairbanks	アラスカ州フェアバンクス	04.03.13～04.03.13	日本昔話の語り部であるKuniko Yamamotoがお面をかぶり、音楽や歌に合わせて古事記などの日本の伝説や昔話を生き生きと語った
2	ポップカルチャー・シンポジウム	アメリカン・シネマテック、在ロサンゼルス総領事館	エジプシャン・シアター	ロサンゼルス	04.09.26～04.09.26	近年米国で若者を中心に注目を集めているアニメ、漫画、Jポップ、日本を素材とした映画などを包括的に取り上げ、米国社会に与える影響、日本文化としての意味合い、日米文化交流、文化創造の観点から見た意義、将来の展望についてパネル・ディスカッションを行なった
3	版画レクデモ		日米文化会館	ロサンゼルス	05.03.19～05.03.19	木版画の専門家であるKeiji Shinoharaを招き、浮世絵についてのレクチャーおよびデモンストレーションを行なった
【映画】						
1	三島由紀夫映画上映(2003年度)	在アンカレッジ総領事館	アラスカ大学アンカレッジ	アンカレッジ	04.03.13～04.03.14	三島由紀夫の名作『潮騒』の上映が2回にわたり行なわれた。また特別講演としてDr.Paul Dunscombが作品についてのレクチャーを行なった
2	黒澤映画祭(アンカレッジ)	在アンカレッジ総領事館	The Anchorage Museum of History & Art	アラスカ州アンカレッジ	04.06.22～04.06.23	2日間にわたり、黒澤明監督の『天国と地獄』『乱』の2作品を上映
3	サムライ・フィルム・フェスティバル	日米文化会館	アラタニ日米劇場	ロサンゼルス	04.08.15～04.08.15	時代劇全盛期の映画を特集し、在ロサンゼルスの日系人とアメリカ人の両方を対象とした日本映画紹介を開催した。当日は銀幕デビュー50周年の戦後日本映画の大スター、市川雷蔵主演映画を3編上映。在米日系人のお祭りである「二世ウィーク」の一環として行なわれた

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	ショートショート・フィルム・フェスティバル	ショート・ショート・フィルム・フェスティバル実行委員会	エジプシャンシアター	ロサンゼルス	04.10.19～ 04.10.19	1999年から日本で始められた短編映画祭。若手映画監督を育てることを目的の一つに掲げる本映画祭は年毎に注目を集め、今年からアカデミー賞の公認映画祭として認定された。今回ロサンゼルスでは全世界から集まった公募作品の中から新人の作品を中心に11作品を上映。すべての上映作品には英語と日本語の字幕が付けられ、また上映前には授賞式が行われた
【日本語教育】						
1	日本語夏期ワークショップ	米国日本語教師会連合(AATJ)	ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	04.07.01～ 04.07.31	「米国・カナダ・英国初中等日本語教師研修」参加者のための訪日出発前予備研修と帰国後のまとめ研修を行なった。予備研修では、日本での本研修に備えて、事前に基礎知識を導入し、まとめ研修では、本研修では終わりきれなかった教材作成を完成させ、最終的な発表を行なった
2	第1回全米日本語教育シンポジウム		ホテルニューオータニ	ロサンゼルス	04.08.01～ 04.08.02	全米レベルでの教師間の情報交換およびネットワーク拡充、各州における教育環境の向上を目的、全米各地の日本語教師会代表者を集め、教師の教育能力・資質向上を図るための方策について議論を行なった。今回のテーマは2002年に採択された "No Child Left Behind (NCLB)" 議定書にかけて、NCLBの新しい方針が今後米国における日本語教育にどのような影響を及ぼすか、教師養成および日本語教育促進という2つの観点から考察
3	日本語教育コンサルティング委員会		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	05.01.15～ 05.01.15	平成17年度米国向け日本語関係プログラムを対象に、米国在住の日本語専門家から成る本委員会が事前評価を行なった
4	米国日本語教師実態調査(フェーズ1.)		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	05.02.01～ 05.02.28	フェーズ1. として、南カリフォルニア大学日本語講師の熊谷由佳講師とUCLA社会額大学院博士課程、中尾賀要子氏の協力を得、米国日本語教師実態調査実施へ向けての事前調査と準備を行なった

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【図書館運営】						
1	図書・教材ライブラリー運営		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	04.04.01～ 05.03.31	日本語教育専門の図書館運営。ロサンゼルス地域以外の日本語教師には郵送による貸し出しサービスを実施
【出版・広報】						
1	日本語教育広報キット「日本語教育Advocacy Kit」作成		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	03.11.01～ 04.03.31	初中等レベルでの日本語クラスの増加・維持を目的として、日本語教育普及のためのビデオおよびパンフレットを作成し、全米の日本語教師会等の関係機関に送付した
2	ニューズレター「Breeze」の発行		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	04.04.01～ 05.03.31	全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情を調査、報告する情報紙として『BREEZE』を刊行。本年度は第30号および第31号（オンラインにより配布）を発行した
3	日本語学習誌「Wahoo!」の発行		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	04.04.01～ 05.03.31	中学・高校で日本語を学習する生徒を対象に作成した日本語学習誌。中学・高校に加えて、全米各地の日米協会・在米公館にもオンラインにより配布

15. ロサンゼルス事務所	(2)助成・協力
---------------	----------

合計額 2,496,232円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	乾杯:日本の酒文化	Pacific Asia Museum	04.03.07～ 04.06.20	カリフォルニア州パサディナ市にあるパシフィック・アジア美術館での日本酒に関する展示会。お酒を呑む人々の様子を描いた日本画、角樽、徳利、酒について述べられた俳句など、酒に関する美術品を集めたユニークな展示が行われた
2	鼓童USAワークショップツアー2004	Kodo Arts Sphere America	04.03.17～ 04.03.28	日本の鼓童から金子竜太郎氏を迎え、アメリカ西海岸を中心に2週間にわたり7都市で太鼓のワークショップが行われた。"Open Door Policy"として共催団体の内部・外部から参加者を募った
3	中西部地区日本語教師会大会	中西部地区日本語教師会	04.04.03～ 04.04.04	インディアナ州パデュー大学において、米国中西部地区の日本語教師を対象に2日間の研修会を実施した。牧野成一（プリンストン大学教授）、森美子（ジョージタウン大学教授）、畑佐由紀子（アイオワ大学助教授）が日本語教育に関する基調講演を行なった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
4	実践日本語国際会議	サンフランシスコ州立大学	04.04.03～ 04.04.04	言語学的な見地からみる第二外国語としての「日本語」と、実践的な現場の教師の見地からみる「日本語教育」との間のギャップを埋めることを目的に開催された国際会議。研究者が日ごろ行なっている研究内容の分析結果および研究経過を報告し、その言語学的理論をいかに実践的な日本語教育（教授法）に取り入れていくべきかを、現場の教師たちと盛んに意見交換を行なった
5	コロラド州日本語教師会ワークショップ	コロラド州日本語教師会	04.04.09～ 04.04.10	コロラド日本語教師会が地元の日本語教師を対象に2日間のワークショップを開催した。1日目は開発されたばかりの新教材を幾つか紹介し、2日目はカリフォルニア大学サンディエゴ校から當作康彦教授を招き、「Teaching Listening Comprehension」と題して実践的な教師研修を行なった
6	シアトル さくら祭	SCBKCF Committee	04.04.16～ 04.04.18	日米国交150周年を記念しMusic Interweave2004と題し、シンガーソングライターの先駆者として活躍した日本音楽家たちの初アメリカ公演を含め、音楽を通しての交流が行なわれた。また日米の伝統美術と現代美術の展覧会や、ボランティアによる60点以上の美術展覧会、800人以上の市民により日本絵画、工芸展、舞台芸術、格闘技などが披露された
7	オハイオ州日本語教師会ワークショップ	オハイオ州日本語教師会	04.04.24～ 04.04.24	ゲストスピーカーにシュナイダー恵子(Albuquerque Technical Vocational Institute, New Mexico)、Thomas Lea(Princeton高校)を招き、「The Usefulness of Classroom Teaching Methods and Activities, Using Technology」をテーマに、テクノロジーを使った教授法についてのワークショップを行なった
8	VC FILMFEST 2004	Visual Communications	04.04.30～ 04.05.06	4月30日～5月6日にカリフォルニア州ロサンゼルス市の7カ所でアジア映画祭を開催した。毎年開催されるVCFilmFestの第20回目を記念し、中国正一監督『815』や『座頭市』シリーズなどの日本映画を中心に上映会を行なった。また5月1日の上映会では中国正一監督を招待し、観客との質疑応答を通じ、交流が図られた
9	オーロラ基金主催スピーチコンテスト+映画上映会	オーロラ基金	04.05.02～ 04.05.22	オーロラ基金主催の高校生を対象とするスピーチコンテスト全米大会がオレンジ郡のカリフォルニア大学アーバイン・ヒタチ・ケミカル・リサーチセンターで行なわれた。地方大会(8州)の上位入賞者が集まって優勝を競うもので11人の参加者があった。また、同時期に別会場にて松井久子監督作品の『ユキエ』『折り梅』の映画上映会も実施した
10	ニューイングランド日本語教師会ワークショップ	ニューイングランド日本語教師会	04.06.12～ 04.06.13	東部ニューイングランド地方の初・中・高等教育に携わる日本語教師を対象に教師研修会を行なった
11	カリフォルニア外国語教師会ワークショップ	カリフォルニア外国語教師会	04.07.31～ 04.08.06	カリフォルニア州の日本語教師(初中等レベル)を対象に約1週間の教師研修を行なった。日本語教授法のスタンダードに沿った、効果的なレッスン・プランやアクティビティーを紹介し、日本語学習者のパフォーマンスを高めるためのノウハウを、いろいろな角度から指導した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
12	日米風あげ大会	南カリフォルニア日米協会	04.09.19～ 04.09.19	シール・ビーチでの風揚げ大会。日米の国旗が交互に連なった135メートルもの長さの風が揚げられるなど、スケールの大きい様々な模様の風が空に舞った。江戸風の風師である土岐幹男を日本から招待し、風作成のワークショップも開催。またビーチに設置されたステージの上では禅太鼓による公演も行なわれた
13	2004 ジャパン・アーツ・デー	ジャパン・アーツ・デー実行委員会	04.11.03～ 04.11.03	日米国交150周年を記念して、「2004ジャパン・アーツ・デー」と称し、日本文化紹介事業が行なわれた。その事業の一環として、キャスパー市内の現地高校の劇場にてデンバー太鼓の演奏会が開催
14	北東部日本語教師研修会	北東部日本語教師会 (NECTJ)	04.11.06～ 04.11.06	2006年から始動するAP日本語テストについて、カレッジボード (NY) のThomas Mattsから開発状況が報告され、AP日本語の全体像を参加者に示した。また、新しく制定されたNo Child Left Behind法令についても、日本語教師に与える影響などについて興味深いディスカッションを行なった
15	小津安二郎回顧映画祭	UCLA Foundation	04.11.06～ 04.11.21	UCLAのキャンパス内の劇場とLA郡立美術館で、11月～12月の2カ月間、小津安二郎監督作品のうち24作品に加え、最近小津監督に寄せて制作された台湾映画監督による1作品を上映した。上映作品は小津の初期から後期にわたる傑作を集め、貴重な無声映画も上映した
16	日本ピアノ音楽100年のコンサート	アリゾナ大学図書館	04.11.15～ 04.11.15	ジュンコ・ウエノ・ギャレットによる講演リサイタルを開催し、日本で始めて演奏されたピアノ曲の紹介や1990年代に作曲されたレパートリーの演奏とその解説を行なった
17	はぎのみほ展	Art2102	04.11.18～ 04.12.20	「アイデンティティ」をテーマに、2人の同姓同名アーティスト「はぎのみほ」による展示会を開催した。一人目のはぎのみほは彫刻作品絵画を、もう一人のはぎのみほは額縁を展示した。また大阪大学の萩野美穂(はぎのみほ)教授が展示会に対してのコメントを寄せた
18	篠田太郎展	California Institute of the Arts	05.02.03～ 05.04.03	「埋められた宝」と題し、1970年代に篠田がカリフォルニア州のベニス市に住んでいた頃の子供時代をモチーフに、The California Institute of the Artsでの滞在中に制作した新作が展示された
19	ジョージア州公共放送「いらっしゃいプログラム(改定版)」	ジョージア州公共放送	05.03.01～ 05.03.31	高校生のための日本語の遠隔教育プログラム「いらっしゃい(改訂版)」の作成にあたり、その第一段階として、中等教育レベルの遠隔教育の専門家であるTimothy Cook氏を招き、今後どのようにプログラムに改良を加えていけば良いか具体案を話し合った
20	溝口健二監督作品映画祭	アメリカン・シネマテーク	05.03.04～ 05.03.12	溝口健二監督7作品をロサンゼルス市とサンタモニカ市の二劇場で上映。『雨月物語』(1953)『残菊物語』(1939)『赤線地帯』(1956)『祇園の姉妹』(1936)『山椒太夫』(1954)『浪華悲歌』(1936)『西鶴一代女』(1952)が上映された
21	北カリフォルニア日本語教師フォーラム	カリフォルニア日本語教師会 (CAJLT)	05.03.18～ 05.03.18	カリフォルニア大学サンタバーバラ校より齊藤アボットよし子を招きNo Child Left Behind法令についての最新情報を紹介した。NCLB法令の導入による、今後の日本語教育への影響を把握し、具体的に日本語教師として何をしていかなければならないかについて、活発に意見を交換しあった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
22	南西部日本語教師ミーティング	Georgia Institute of Technology	05.03.19～ 05.03.20	初中等から高等レベルまでの全ての教師を対象に行なった日本語教授法ワークショップ。18名による研究発表のテーマは、「Pedagogy」「Linguistic・Acquisition」「Japanese Teaching, Media, and Technology」。メインの研究発表以外でも、アセスメントや評価方法についてのパネルディスカッションを行なう等、様々なトピックが網羅された
23	北東部日本語スピーチコンテスト	北東部日本語教師会	05.03.29～ 05.03.29	アメリカ北西部地域の高校生を対象に行なった日本語スピーチコンテスト。学習者にとっては、日頃の成果を発揮できる貴重な場となり、同時に他の学校で同じように日本語を学んでいる生徒とも触れ合う機会となった

16. メキシコ事務所 (1)主催・共催事業

合計額 1,847,048円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【日本語教育】						
1	日本語教師研修会ブラッシュアップコース	メキシコ日本語教師会	日墨協会 国立工科大学イスタカルコ校	メキシコシティー	04.10.02～ 05.03.19	メキシコ人教師の日本語運用能力の向上を目指して企画されたもの。今回は読解力のレベルアップというテーマに絞り、授業形式については自律学習を目指し、隔コマごとに日本語教師も加わりアドバイス等を行ないながら進めた。合計20人のメキシコ人教師が受講者として登録した
【図書館運営】						
1	図書館運営				04.04.01～ 05.03.31	蔵書数：4,440冊 来館数：836人 貸出冊数：3,299冊
【出版・広報】						
1	広報誌				04.04.01～ 05.03.31	広報誌「El Patio」年間3,000部発行
2	HP更新					アクセス件数：年間 70,169件

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【本部事業受入】						
1	日本の現代建築展	イベロアメリカ大学	イベロアメリカ大学	メキシコシティー	05.02.18～ 05.03.09	国際交流基金が制作した巡回展「日本の現代建築：1985-1996」展の開催に際して、オープニング記念事業・レセプションをイベロアメリカ大学と共催。開幕間近の愛知万博のメキシコ館の内部デザイン設計グループによるプレゼンテーションを記念事業として実施した

16. メキシコ事務所	(2)助成・協力
-------------	----------

合計額 322,408円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	かぐや姫CD制作助成	メキシコ国立自治大学 (UNAM) 哲学文学部	04.05.11～ 04.06.25	日本の有名な昔話である「かぐや姫」を文学作品としてメキシコ人に紹介し、同時に日本語学習者の教材としても活用できるCDの制作費を助成。「かぐや姫」の物語の絵は、「影絵」を用い、薄い紙に影になる紙を貼り物語のファンタジーをうまく表現した
2	「Post Folk」展	Monotm	04.07.30～ 04.08.20	日本、メキシコ、ペルー、コロンビアの4カ国のアーティスト、あわせて7名が出品し、メキシコ第2の都市グアダハラで開催された現代美術展
3	Exposicion Nacional de Arte Bonsai 2004	Sociedad de Bonsai A.C.	04.11.19～ 04.11.21	助成対象機関はメキシコ盆栽協会等と共催し、メキシコシティのワールドトレードセンターにて盆栽の展示会「Exposicion Nacional de Arte Bonsai 2004」を開催した。同展示会では、芸術としての盆栽を展示するのみならず、外国から専門家を招待し講演を行ったり、デモンストレーション、デザインコンテスト、ワークショップなどを開催した
4	在メキシコ日本文化専門家（空手）のドミニカ共和国への派遣助成	空手道 糸東会 メキシコ	05.03.16～ 05.03.21	在メキシコの空手専門家村上邦夫師範のドミニカ共和国への派遣費用を助成し、同国の空手家に対する技術指導及びデモンストレーションを行なった。20日に開催した全国の空手家を集めたセミナーにおいては、予想を上回る150名の有段者が参加し非常に盛況であった
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
1	文化備品貸出（輸送費補助）	在メキシコ大使館、チャピング自治大学、トロンプ美術館、メキシコ上院議会、グアダハラ州立大学等	04.04.16～ 05.03.15	各地で開催された「日本週間」イベント等（合計10回）に、事務所文化備品を貸出した。モンテレイ市で開催された日本週間においては、輸送費の一部を助成した

17. ロンドン事務所 (1)主催・共催

合計額 9,414,599円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	後藤春美講演会		ロンドン事務所	ロンドン	04.05.21～ 04.05.21	新渡戸フェローとしてオックスフォードに留学中の後藤春美（千葉大学）による、1920～30年代の日英外交関係に関する講演
2	「Makoto Nomura: His Most Unconventional World of Art? Talk and Workshop」		ロンドン事務所	ロンドン	04.07.01～ 04.07.01	本事業は、音楽や教育の専門家約30名の参加を得て実施された。作曲家である野村誠の過去のプロジェクトの映像を見た後は、参加者が持参した日用品を用い即興で作曲するというユニークなワークショップを行った
3	「Contemporary Art and the Museum in Japan」	クリストフ・グルーネンバーク（Tate Liverpool館長）	ロンドン事務所	ロンドン	04.11.14～ 04.11.14	南篠史生（森美術館副館長）およびテレサ・グリードウ（ロイヤル・カレッジ・オブ・アート現代美術キュレーション部長）の対談を実施
4	「The Tower of London」出版記念講演会	Peter Owen Publishers	ロンドン事務所	ロンドン	05.01.18～ 05.01.18	16年度に出版翻訳助成を受けた『The Tower of London』の出版記念イベントを開催。『The Tower of London』は日本文学研究者のダミアン・フラナガンが、夏目漱石の作品の中で英国滞在にまつわる中短編のみを集めて英訳したもの
5	「Biographical Portraits Volume V」出版記念講演会	Japan Society	ロンドン事務所	ロンドン	05.01.18～ 05.01.18	元駐日英国大使Sir Hugh Cortazziが編者となった明治以降の日本史に関する書籍の出版記念講演会を、英国ジャパン・ソサエティと共催
6	「Japanese Performing Arts: Here, Then and the Future」シリーズ		ロンドン事務所	ロンドン	05.02.23～ 05.02.24	日本の舞台芸術の動向を様々な観点と多彩なゲストを迎えて英国に向け紹介する連続講座。 第1回：日本の舞台芸術の歴史と現状を明治期から現代まで紹介する講演会 第2回：日本の現代戯曲を英国で上映する際に直面する問題点等を話し合うセミナー 第3回：藤間万恵氏と西川蓑乃助氏を講師に迎え日本舞踊のワークショップを2回実施

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【映画】						
1	日本映画祭	Cornerhouse、ICA、Watershed、Showroom	Cornerhouse ICA Watershed Showroom	マンチェスター、ロンドン、ブリストル、シェフィールド	05.01.23～05.02.24	テーマは「Japanese Film after Mr Pink: Japanese Directors of the post-Tarantino Generation」。90年代に一世を風靡した米国のクエンティン・タランティーノ監督の影響を受けた、あるいは流れを汲むと考えられている日本の若手監督6人の作品（『ワイルドライフ』『鯨肌男と桃尻娘』『ラブドガン』『Monday』『アドレナリンドライブ』『青い春』）の巡回上映を行なった
【日本語教育】						
1	BATJ共催セミナー	BATJ	ロンドン事務所 他	ロンドン、ブリストル	04.04.01～05.03.31	BATJ（英国日本語教育学会）との共催で、日本語教育に関するセミナー、ワークショップ、研修会を実施。ロンドン事務所以外でもワークショップ（1月：ブリストル大学）を実施
2	ARION Group セミナー		ロンドン事務所	ロンドン	04.04.27～04.04.27	イギリス教育省の招待により集められたイギリス各地の教育専門家が当施設を訪問。主に初等教育における日本語教育の広がり、教師向けの研修などについてのブリーフィングおよびディスカッションを行なった
3	JLCスピーチコンテスト	主催：JLC 共催：日本大使館	日本大使館	ロンドン	04.06.26～04.06.24	JLC、日本大使館との共催で、中等教育機関の生徒を対象にしたスピーチコンテストを行なった。キーステージ3、4の各カテゴリーで、6名ずつが本選に参加した。当日は120名の観客を動員
4	リフレッシュャー コース（非母語話者を対象とした日本語研修会）		ロンドン事務所	ロンドン	04.07.19～04.07.21	非母語話者の日本語教師を対象とした3日間の集中研修。日本語能力の4技能全ての向上を目的とした
5	Primary Inset Training Day	Japan21	ロンドン事務所	ロンドン	04.09.15～04.09.15	Japan21と共同開発した初等向け日本語教育スキームを試行する学校の担当教師と日本人ボランティアに対し、教材の使い方、授業の進め方などに関するセミナーを実施
6	JET Career Information Day		SOAS	ロンドン	04.09.24～04.09.24	帰国したJETプログラム参加者向けの就職フェアに出展。日本語教師になるために必要な資格や日本語教育に関する情報を提供した

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
7	日本語教育業務委託	Lydia Morey		ダブリン	05.01.14～ 05.01.15	アイルランド日本語セミナーに講師1名を派遣
8	Head Start(日本語教育紹介・日本語体験の研修会)		ロンドン事務所	ロンドン	05.01.24～ 05.01.26	初等、中等教育機関の外国語主任クラスを対象にした、日本語コース設置を促すための講座
9	CiLT共催セミナー	CiLT, the National Centre for Languages	CiLT	ロンドン	05.10.07～ 05.10.07	CiLTと共催で、中等向け日本語教育の現場におけるインタラクティブ・ホワイトボード活用に関するセミナーを実施
【図書館運営】						
1	図書館運営		ロンドン事務所	ロンドン	04.04.01～ 05.03.31	来館者数のべ2,422名。 収蔵資料数：図書5,000点、ビデオテープ452本 カセットテープ513本 CALL教材249点
【出版・広報】						
1	ウェブサイト関係費				04.04.01～ 05.03.31	最新事業情報、実施済み主催・助成事業の報告、分野別事業情報、公募プログラム情報、ニューズレター等を掲載。また、日本語部門のサイトの大幅なデザイン変更を行い、よりユーザーフレンドリーなサイトを目指した
2	ニューズレター制作費				04.04.01～ 05.03.31	ニューズレター『Perspectives』を年3回、各1,000部発行し、主催・共催事業の告知と実施報告を中心に基金事業の紹介を行なった。 日本語部門は、ニューズレター『まど』を3回、各1,500部発行
【その他】						
1	フォローアップ調査(日本研究フェロシッププログラム)	Caroline Lewis (調査業務委託)		ロンドン	05.12.01～ 05.03.31	フェローとのネットワーク存続と人材活用に資する日本研究・知的交流企画開発事業として、英国における1985年以降の日本研究フェローの最新動向を調査し、ダイレクトリーを作成

17. ロンドン事務所 (2)助成・協力

合計額 1,783,801円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	Reflection of Japanese Modernism	セインズベリー 日本藝術文化研究所	04.05.04～ 04.05.06	国際的に活躍する建築の専門家が、世界における日本の近代建築の興隆について、各自の経験と批判的評価を披露するシンポジウム。講演者は、磯崎新、鈴木博之教授など5名の建築専門家
2	Research Student Forum	Birkbeck College	04.05.20～ 04.05.21	英国内の各大学で日本研究を専攻する大学院レベルの学生を主体とした研究発表会。ロンドン大学SOASを会場に約50名の学生・研究者が参加
3	Yukio Mishima's Sotoba Komachi and the Damask Drum	Stone Crabs Productions	04.08.10～ 04.09.05	三島由紀夫作の能『卒塔婆小町』および『綾の鼓』を翻案した現代劇の公演
4	Manga Live !	Institute of Contemporary Arts (ICA)	04.09.03～ 04.09.04	日本の漫画の英国人専門家および日本人漫画家を招き、漫画の現状を主題としたセミナーを実施。また、ゲストによるトークイベント、制作実演、参加者体験を行なった
5	Spin Cycle (Hiraki Sawa)	Spike Island	04.09.11～ 04.10.24	ブリストルのアートスペースSpike Islandが、3カ月のアーティスト・イン・レジデンスにさわひらきを招待。レジデンス期間中に制作された10件以上の作品を披露する展覧会を開催した
6	Akita Kanto In London	Thames Festival	04.09.15～ 04.09.20	ロンドン市主催の世界各地のアーティストのストリート・パフォーマンスが楽しめる巨大イベントMayor's Thames Festival (テムズ・フェスティバル)において、秋田竿灯の実演を披露
7	CSRJ Symposium	Centre for the Study of Japanese Religions, SOAS	04.09.16～ 04.09.17	ロンドン大学SOASの日本宗教研究センターが「Stars & Planets in Japanese Religious Practices and Art」と題する2日間のワークショップを主催。日本の文化や歴史に影響を与えた「星」(宗教、占星術、暦等)をめぐる学際的アプローチを試みる
8	Real World:The Dissolving Space of Experience	Modern Art Oxford	04.09.25～ 04.11.28	米国・欧州・日本の新進気鋭のアーティスト6名の作品を紹介する特別展。日本からは杉戸洋が招待された
9	Instal	The Arches	04.10.16～ 04.10.17	スコットランドの都市グラスゴーで開催された実験音楽祭Instalにおいて、日本のアバンギャルド系ミュージシャン (Vajra、EXIAS-J、浦邊雅祥、三上寛など) が公演

	事業名	協力対象団体	期間	内容
10	UK-Japan Business Seminar Series	The Sheffield Chamber of Commerce	04.11.19～ 04.11.19	「UK-日本ビジネス・セミナー・シリーズ」の一環として開催されたセミナー。1872年、当時世界的な鉄鋼都市であったシェフィールドに岩倉使節団が訪問した時の様子や、そこからシェフィールドが日本の産業発展に与えた影響など、日本とシェフィールドとの交流の出発点が、歴史・文化・経済等の複数の視点から紹介された
11	Kill Your Timid Notion	Dundee Contemporary Arts	04.12.10～ 05.02.11	実験音楽、映像およびインスタレーションの祭典、キル・ユア・ティミッド・ノーション・フェスティバルにおいて、日本人アーティストSachiko Mが英国人アーティストAnthony McCallとコラボレーションを実施。公演を行なった
12	Saki Satom Exhibition	Gasworks Gallery	05.01.27～ 05.02.28	英国在住の日本人ビデオ・アーティスト、サキサトムの初の個展。展覧会とあわせて、これまでの作品の総合的なカタログも初めて出版
13	Tomoko Takahashi-Public Access Programme	The Serpentine Gallery	05.02.22～ 05.04.10	2000年のターナー賞ノミネート以来、英国でも定評のあるタカハシトモコの個展。期間中は作家自身によるトークやコミュニティ向けワークショップ、美術学生向けディスカッションフォーラムも実施
【助成事業】				
1	Joji Hirota and Kazumi Kimura Concert	The Spirit of Taiko Association	04.07.03～ 04.07.03	ロンドン市内クラッパム地区で開催されるClapham Festivalのイベントとして、英国在住の太鼓奏者廣田丈自と、北海道から参加した歌手の木村香澄の公演を2回、および廣田による太鼓ワークショップを開催
【会場提供】				
1	WJEC Day	WJEC	04.09.21～ 04.09.21	Welsh Joint Education Committeeが認定する日本語資格試験についてのセミナー

18. ブダペスト事務所 (1)主催・共催事業

合計額 4,033,690円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【展示】						
1	海外巡回展（日本人形展D）（事務所分）		芸術の家 ヘリコン宮殿美術館 市立博物館付属展示館	ペーチ ケストハイ シヨプロ ン	04.04.01～ 05.03.31	「日本人形展」展覧会をハンガリー国内3カ所で開催した。 展示作品数は約40点

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	凧独楽展		工芸美術館	ブダペスト	04.05.11～ 04.05.30	2004年3月にブダペスト事務所に移管された、ブダペスト事務所所蔵展示セットである「凧独楽展」の展示。移管後初めての展示であり、ケルン日本文化会館、カイロ事務所からも展示作品を借り受け、規模の大きい展示を行なった。展示作品数は、凧、独楽それぞれ約60点
【公演】						
1	勅使河原三郎公演	トラフォ劇場 マジヤールズズキ（協賛）	トラフォ劇場	ブダペスト	04.10.16～ 04.10.17	トラフォ劇場にて勅使河原三郎のダンス公演「Bone in Pages」を実施した
【講演・シンポジウム】						
1	日本文化講演会		ブダペスト事務所	ブダペスト	04.07.28	甲斐睦朗（国立国語研究所所長）に「日本語から見える日本社会の変化」と題する講演を実施した。内容は、日本で話題になっている日本語の諸問題
【映画】						
1	日本映画ウィーク	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	ウルクモズゴート映画館	ブダペスト	04.07.08～ 04.07.14	「日本文学作品を原作とする映画」のテーマの下、欧州フィルムライブラリーより7作品を選び、一週間にわたり上映を行なった。上映作品は『夜明け前』『野麦峠』『それから』『野菊の墓』『次郎物語』『二十四の瞳』『螢川』の7作品である
2	日本映画祭（35ミリ）	グランドカフェ・セゲド映画館、ウラーニア映画館	グランドカフェ・セゲド・ウラーニア映画館	セゲド ブダペスト	05.01.15～ 05.02.20	国際交流基金事業にて欧州巡回上映中の35mmフィルム映画9作品の上映を行なった
【日本語教育】						
1	日本語講座		国際交流基金ブダペスト事務所	ブダペスト	04.10.01～ 05.03.31	秋の新学期開始にあわせ、日本語講座を開講・運営した。初級Ⅰ、初級Ⅱ、初級Ⅲの3レベルを設定し、人数が多い初級Ⅰのみ2クラス、他は1クラスの構成となった。各クラス週2回、前期（10月～2月）、後期（2月～6月）ともに授業回数は30回であり、最終週には習熟度をはかるための試験を実施した
【出版・広報】						

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
1	ニューズレター 発行				04.04.01～ 00.03.31	事務所広報誌『縁側』を発行

18. ブダペスト事務所 (2)助成・協力

合計額 658,033円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	事務所助成金	ハンガリー相撲連盟、ペーチギャラリー、日本ハンガリー合唱交流委員会	04.04.01～ 05.03.31	ハンガリー相撲連盟の「欧州相撲選手権」開催への広報経費への支援(5月)、ジャパンフェスティバルにおける日本人演奏家のツインバロンコンサートの宿泊費、移動費への支援(8月)、ペーチギャラリーの日本作家展覧会「刻一刻」展への広報経費、会場設営費への支援(9月～10月)
2	日本研究企画開発事業(日知小規模助成)	Fundacja Polsko- Japansoka YAMATO	05.03.17～ 05.03.17	ポーランドのプシェミシルにおいて、平成15年度基金「民主化・開放化支援特別フェロー」で訪日したMERKLEJN, Iwona Reginaが、「日本のメディア・システム」というタイトルで講演を行なった
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
1	事務所所蔵展示品外部貸し出し	近隣公館、外部団体	04.04.01～ 05.03.31	平成16年4月～5月、エステルゴムの学校にて「日本の世界遺産」展を開催。 平成16年9月～平成17年1月は、「日本の世界遺産」「日本人の日常生活」展を、クロアチアに貸出し。 平成17年2月～3月は、マコーのヨーゼフ・アティラ美術館において「日本の世界遺産」展を実施した

19. カイロ事務所 (1)主催・共催事業

合計額 3,589,396円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	日本文学サロン	カイロ大学文学部アハマド・ファトヒ助教授	カイロ事務所	カイロ	04.04.08～ 04.10.11	エジプト人の文学愛好家、翻訳者、学生が集まり、日本文学の作品鑑賞、作家・作品研究を試みる集い。アハマド・ファトヒ（カイロ大学文学部助教授・日本文学専門）との協力でカイロ事務所で開催。平成16年度は、沖縄文学をテーマに作家・目取真俊の作品を取り上げ、4月8日、9月27日、10月4日、10月11日の4回開催した
2	考古学講演会	日本エジプト学協会	カイロ事務所図書室	カイロ	05.01.26～ 05.01.26	民間グループ(日本エジプト学協会)との共催による、各国の考古学者を招いての公開講演会。聴衆は、エジプト人およびカイロ在住の日本人その他外国人
【映画】						
1	映画専門家招聘 (カイロ日本映画週間)		文化省 芸術創造センター	カイロ	05.02.18～ 05.02.24	国際交流基金主催の「2005カイロ日本映画週間」(2005年2月20日～23日)に合わせて、パリ在住の日本人映画専門家(川喜多清政)をカイロに招き、4日間の上映期間中、毎晩、作品上映前に観客向けに同氏が日本映画全般と作家・作品についての解説を行なった
【日本語教育】						
1	日本語教育レクチャー		カイロ事務所	カイロ	04.04.01～ 04.04.01	日本語教育専門の森下雅子(早稲田大学)を講師に招き、「日本語学習者の会話能力をいかに測るか」とのテーマで、在カイロの日本語教育関係者を対象にレクチャーを実施
2	教科書『エジプト人のための日本語音声』制作協力	カイロ大学文学部日本語日本文学科(ハナーン・ラフィーク講師)			04.04.01～ 04.09.30	カイロ大学日本語日本文学科講師ハナーン・ラフィーク執筆のアラビア語話者向け日本語音声教材『エジプト人のための日本語音声』の教科書本体編集およびCD音声録音・編集など、制作編集過程に協力した
3	日本語教師養成講座		カイロ事務所	カイロ	04.04.01～ 04.11.30	エジプトの日本語教師不足状況の改善を図るため、日本語教師志望者、関心を有する者を対象に、日本語教師養成講座を運営

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	「ことばと文化」講座		カイロ事務所	カイロ	04.04.01～ 05.03.31	中級・上級の日本語学習者を対象として日本語講座を開講。様々の話題でディスカッションを行なう上級コースをはじめ、中級コース、日本語能力試験1級・2級準備講座等。平成16年度は、8コースを開講し、計75人が受講
5	2004中東日本語教育セミナー	中東日本語教師連絡会	Moevenpick Cairo Pyramids	カイロ	04.08.28～ 04.08.29	中東各地の日本語教師が年1回カイロに集まり、教師研修のセミナーと、広域ネットワーク（中東日本語教師連絡会）の年次会合を開催する。2004年のセミナーは、中東10カ国41名の日本語教育関係者が参加。研修セミナーの講師には、伊勢田京子氏（東京海洋大学）を招いた
【図書館運営】						
1	ライブラリー運営		カイロ事務所	カイロ	04.04.01～ 05.03.31	カイロ事務所内図書室の一般向け閲覧サービス（年会員制）。平成16年度は、述べ4,038人の利用者があった
【出版・広報】						
1	ニューズレター				04.04.01～ 05.03.31	従来のカイロ事務所の広報定期刊行物を刷新し、新しいアラビア語広報誌『WAVES』を創刊。若い世代向けに現代的な日本文化イメージを紹介するため、エジプト人のグラフィック・デザイナーを起用し、写真・グラフィックスを多用することとした。平成16年度は、創刊号および第2号を刊行
【教室事業】						
1	茶道同好会	茶道同好会	カイロ事務所、在エジプト大使館広報文化センター	カイロ	04.04.01～ 05.03.31	毎週、日本人とエジプト人の愛好家による茶道の会を開催。会場は、カイロ事務所と大使館広報文化センターを季節で分けて使用。カイロ事務所では、10月～翌年4月の間、毎週火曜日に開催した。10月7日には「秋のお茶会」、2月24日には「春のお茶会」を催し、一般エジプト人向けの茶道紹介活動を行なった

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【その他】						
1	日本文学エッセイコンテスト				05.02.07～ 05.03.31	エジプトの高校生による、吉本ばなの小説『TUGUMI』アラビア語訳の読書感想エッセイのコンテスト。カイロ市内の数十校の高校に『TUGUMI』アラビア語訳を寄贈、学校経由および個人参加により、高校生の感想エッセイを公募し、約50作品が集まった
2	アレクサンドリア日本文化週間	在エジプト大使館広報文化センター、アレクサンドリア・センター・オブ・アーツ	Center of Arts, Alexandria	アレクサンドリア	05.03.08～ 05.03.14	エジプト第2の都市アレクサンドリアにおいて、複数のイベントを集中的に実施する日本文化週間を開催。初日には生け花デモンストラーション（国際交流基金事業）を開催し、その後、期間中、日本映画上映（5夜）、生け花作品、日本人形、日本文化遺産写真パネル等の展示会等を実施した
【本部事業受入】						
1	イラクへの児童書寄贈（在外事業費分）				04.04.01～ 05.03.31	イラクへの児童図書寄贈事業（国際交流基金事業）のため、カイロ事務所がエジプトでアラビア語児童図書を選び、発注、購入（7タイトル×1,500セット）
2	日本映画週間（カイロ）（在外事業費分）	エジプト文化省芸術創造センター	芸術創造センター（Artistic Creativity Center）	カイロ	05.02.20～ 05.02.23	最近の日本映画作品を35ミリ版にアラビア語字幕を付して紹介。山田洋次監督『たそがれ清兵衛』、『隠し剣鬼の爪』、天願大介監督『AIKI』、崔洋一監督『刑務所の中』の4作品を、2回ずつ上映した。4日間全8回の上映